

報告事項 ア

令和6年度教科用図書選定審議会の答申について

令和6年度教科用図書選定審議会の答申について、別紙のとおり報告します。

令和6年9月11日

鳥取県教育委員会教育長 足羽英樹



令和6年4月25日

鳥取県教育委員会  
教育長 足羽英樹様

鳥取県教科用図書選定審議会  
会長 塩津英樹



令和7年度に使用する中学校教科用図書、特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書並びに県が設置する義務教育諸学校において使用する教科用図書の採択に関する事項について（第1次答申）

令和6年4月25日付けで諮問のあった令和7年度に使用する中学校教科用図書、特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書並びに県が設置する義務教育諸学校において使用する教科用図書の採択に関する下記の事項について、別添のとおり答申します。

記

- 1 令和7年度に使用する中学校教科用図書の採択基準について
- 3 令和7年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の採択基準について
- 5 市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の校長が採択する場合に県教育委員会が行うべき役割について
- 6 県が設置する義務教育諸学校において使用する教科用図書の採択方法について

## 令和7年度に使用する中学校教科用図書の採択基準

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律及び同法施行令並びに同法施行規則の示すところに基づき、令和7年度に中学校（特別支援学校の中学部を含む）において使用する教科用図書について、市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の校長の行う採択に関し、基準を定める。

- 1 中学校（特別支援学校の中学部を含む）で使用する教科用図書の採択は、学校教育法附則第9条の規定による一般図書（特別支援学校・学級用）を除き、「中学校用教科書目録（令和7年度使用）」に登載されている教科書のうちから採択する。
- 2 採択地区内の市町村教育委員会は、協議して同一の教科用図書を採択するため、採択地区協議会を設けるとともに、採択に関する協議は、県教科用図書選定審議会と対等の立場で行うものとする。
- 3 採択は、県教育委員会の提供する「選定に必要な資料」に基づき、地域や児童生徒の実態等を考慮し、十分な調査研究のもとに市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の校長が行う。

## 令和7年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の採択基準

- 1 特別支援学校の小学部及び中学部において令和7年度に使用する教科用図書は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第13条第6項の規定により、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書を除き、「小学校用教科書目録（令和7年度使用）」「中学校用教科書目録（令和7年度使用）」「特別支援学校用（小・中学部）教科書目録（令和7年度使用）」に登載された教科書のうちから採択する。
- 2 小学校、中学校及び義務教育学校の特別支援学級において令和7年度に使用する教科用図書は、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書を除き、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第14条に定めるところにより、小学校及び義務教育学校（前期課程）においては令和5年度、中学校及び義務教育学校（後期課程）においては令和6年度に採択された同一の教科用図書とすること。
- 3 特別支援学校及び特別支援学級において使用する学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択については、県教育委員会の提供する「選定に必要な資料」に基づき、児童生徒の障がいの状態や特性及び心身の発達の段階等を十分考慮すること。

## 市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の 校長が採択する場合に県教育委員会が行うべき役割

県教育委員会は、市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の校長に対し、次のことに留意し採択を実施するよう指導、助言又は援助するものとする。

### 1 専門的な調査研究の充実について

- (1) 選定資料が、学習指導要領に示された「目標」及び「内容」に則して各教科書の特徴等がわかるものとなるようにすること。
- (2) 学校教育に経験豊かな者のうちから、適切な数の調査員を選任し配置すること。

### 2 適正かつ公正な教科書採択の推進について

- (1) 採択権者は公正確保の徹底を図るとともに、自らの権限と責任において適正な採択を行うこと。
- (2) 採択地区協議会で協議して採択する場合は、関係市町村教育委員会の意向が十分反映されるよう工夫すること。
- (3) すべての検定済教科書を対象とした調査研究を行うとともに、調査員の権限と責任の範囲を明らかにすること。

### 3 開かれた教科書採択の推進について

- (1) 採択結果及び採択理由、選定資料、会議録、協議会委員及び調査員の氏名等を採択事務の支障のない範囲で公表すること。
- (2) 教科書展示会の来場者の意見を教科書採択事務の改善等に活用すること。

## 県が設置する義務教育諸学校において使用する教科用図書の採択方法について

各学校においては、「教科書選定委員会」を設置し、児童生徒の実態（特別支援学校においては障がいの状態や特性及び心身の発達の段階等）に応じて最も適当と思われる教科用図書を選定し、県教育委員会に採択申請を行う。県教育委員会は各学校長からの採択申請に基づいて審査を行い、採択する。

### <根拠法令>

#### 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律（教科用図書の採択） 第十三条第二項

都道府県立の義務教育諸学校において使用する教科用図書の採択は、あらかじめ選定審議会の意見をきいて、種目ごとに一種の教科用図書について行なうものとする。

#### 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律（教科用図書の採択） 第十三条第六項

第一項から第三項まで及び前項の採択は、教科書の発行に関する臨時措置法（昭和二十三年法律第百三十二号）第六条第一項の規定により文部科学大臣から送付される目録に登載された教科用図書のうちから行わなければならない。ただし、学校教育法附則第九条第一項に規定する教科用図書については、この限りでない。

#### 学校教育法附則第九条

高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校並びに特別支援学級においては、当分の間、第三十四条第一項（第四十九条、第四十九条の八、第六十二条、第七十条第一項及び第八十二号において準用する場合を含む。）の規定にかかわらず、文部科学大臣の定めるところにより、第三十四条第一項に規定する教科用図書以外の教科用図書を使用することができる。

令和6年6月25日

鳥取県教育委員会

教育長 足羽英樹様

鳥取県教科用図書選定審議会  
会長 塩津英樹



令和7年度に使用する中学校教科用図書、特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書並びに県が設置する義務教育諸学校において使用する教科用図書の採択に関する事項について（第2次答申）

令和6年4月25日付けで諮問のあった令和7年度に使用する中学校教科用図書、特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書並びに県が設置する義務教育諸学校において使用する教科用図書の採択に関する下記の事項について、別添のとおり答申します。

記

- 2 令和7年度に使用する中学校教科用図書の選定に必要な資料について
  
- 4 令和7年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の選定に必要な資料について

令和7年度に使用する中学校教科用図書の  
選定に必要な資料

令和6年度作成

鳥取県教科用図書選定審議会

国語

教科名 国語	種目名 国語	発行者番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい国語
--------	--------	---------	-------	-------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法 (活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 巻末に新出漢字の画数、部首、筆順、音訓、用例、慣用句等がまとめられ、複数の書き方がある場合は、( )を用いて示されている。(1年P282-293、2年P286-297、3年P283-291)</p> <p>イ 「広がる言葉」では、語彙に関するテーマが設定され、関連した練習問題で語彙が広がるよう工夫されている。(1年P47、2年P65、3年P39等)</p> <p>ウ 新出漢字として学んでいない常用漢字が「本文で学ばなかった漢字」として取り上げられ、五十音順に配列されている。(3年P292-295)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 説明文教材や古典教材の「てびき」において、「読むこと」と「書くこと」を関連付けて学習できるよう構成されている。(1年P158-159、2年P162-165、3年P150-151等)</p> <p>イ 各教材に「言葉の力」が示され、学習のポイントと何を学ぶかが把握できるよう工夫されている。(1年P32、2年P24、3年P24等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 授業の流れがイメージできるよう、「読むこと」や古典教材では「てびき」が示され、「書くこと」や「話すこと・聞くこと」の教材では学習の手順や活動の具体例が示されている。(1年P33-34、2年P130-131、3年P172-175等)</p> <p>イ 4人のキャラクターの吹き出しの中に生徒目線での問いかけが示され、興味を持つことができるよう工夫されている。(1年P92、2年P88、3年P20等)</p> <p>ウ 「読書案内」では、各学年15~17のテーマで中学生におすすめの本が紹介され、進んで読書に取り組めるよう工夫されている。(1年P268-271、2年P276-279、3年P272-275)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各学年とも本編8単元と資料編で編成され、巻末に『「言葉の力」一覧』と「学びを支える言葉の力」が示され、3年間の学習の見直しを持ったり既習事項を振り返ったりすることができるよう工夫されている。(各学年裏見返し)</p> <p>イ 最終単元の後には「文法解説」、資料編には読書教材、図書の紹介、漢字、参考資料が掲載されている。(1年P230-301、2年P226-305、3年P224-317)</p> <p>ウ 他教科と関連する教材にマークが示されている。(1年P78、2年P216、3年P50等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 古典教材には本文の左横に現代語訳を入れる配慮が見られる。(2年P124-125、P128)</p> <p>イ 脚注欄等の小さめの文字の振り仮名がゴシック体で示されている。(1年P17、2年P17、3年P16等)</p> <p>ウ 多様性と共生社会を扱った教材が適配置されている。(1年P220-229)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 情報整理等の方法「思考のヒント」が記載されている。(1年P280-281、2年P284-285、3年P280-282)</p> <p>イ 「読書と情報」「情報と論理の学び」のコーナーにおいて、メディアリテラシーについて説明されている。(1年P76-77、2年P76-77、3年P62-63等)</p> <p>ウ 二次元コードが各所に配置されるとともに、「デジタルコンテンツの使い方」として教科書の使い方や家庭学習の仕方がわかるよう工夫されている。(各学年P11-12)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 各学年巻頭の「未来への扉」では、「未来を考えるための九つのテーマ」としてSDGsが取り上げられ、三領域の各教材末に関連するテーマが示されている。(各学年P9-10、1年P47、2年P27等)</p> <p>イ 最終単元の「未来への扉」では、身に付けた言葉の力を生かして今日的な課題について考える教材が配置されている。(1年P220-229、2年P216-225、3年P214-223)</p>

教科名 国語	種目名 国語	発行者番号 15	略称 三省堂	書名 現代の国語
--------	--------	----------	--------	----------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 「語彙を豊かに」や巻末の「語彙の広がり」などを通して語感を磨き、様々な言葉に触れられるよう工夫されている。(1年P183、2年P133、3年P328-331等)</p> <p>イ 巻末に新出漢字の画数、部首、音訓、用例、同訓(音)異字、類義語、対義語等がまとめられ、複数の書き方がある場合は( )を用いて示されている。(1年P330-341、2年P332-341、3年P332-339)</p> <p>ウ 3年の巻末に「本文で扱わなかった漢字」が配置されている。(3年P340-341)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「読むこと」の教材末「学びの道しるべ」では、学習の過程が示され、見通しが持てるよう工夫されている。(1年P137、2年P224-225、3年P188-189等)</p> <p>イ 「学びの道しるべ」に「思考の方法」が掲載され、考えを整理したり深めたりする方法が各学年9種類示されている。(1年P218、2年P180、3年P94等)</p> <p>ウ 各学年の第6単元に「情報を関係づける」が置かれ、連続型テキストと非連続型テキストとを関連付ける力を意識した構成がなされている。(1年P145-157、2年P145-160、3年P149-160)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 「読むこと」の教材末に「私の本棚」が設置されているほか、巻末「読書の広場」の「小さな図書館」でも6テーマ47冊の書籍が紹介され、読書に親しめるよう構成されている。(1年P164、1年P244-249、2年P179等)</p> <p>イ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材末に「生かそう」が置かれ、国語の他教材や生活への応用の仕方が示されている。(1年P113、2年P185、3年P49等)</p> <p>ウ 「学びの道しるべ」に「振り返りのキーワード」が示され、学習の振り返りが焦点化できるよう構成されている。(1年P25、2年P55、3年P41等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 本編1・2年9単元、3年8単元と資料編で編成され、「領域別教材一覧」として「つきたい力」と「教材名」が示されている。(各学年P2-11)</p> <p>イ 最終単元の後に「文法のまとめ」が示され、資料編では読書教材、図書の紹介、漢字語句、学習用語辞典、参考資料等が掲載されている。(1年P230-359、2年P238-359、3年P226-359等)</p> <p>ウ 各単元名が3年間通じて統一されている。(各学年P2-5)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 古典教材には、一文ずつ対応するよう下段に青字で現代語訳が示されている。(1年P119、2年P112-113、3年P130-131等)</p> <p>イ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材、「読むこと」の「学びの道しるべ」では、上段・下段で情報が区別されている。(1年P36-39、2年P56-59、3年P40-41等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードが配置されるとともに、必要に応じて活用できるよう「二次元コード参照先コンテンツ一覧」が紹介されている。(各学年P358-359)</p> <p>イ 考える糸口や進め方をつかめるよう、情報整理のための「思考の方法」が掲載されている。(各学年P16-20)</p> <p>ウ 資料編では著作権と引用について説明されている。(1年P302-303、2年P308-309、3年P306-307)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 金融教育、消費者教育、環境教育に関連する教材が設置されている。(1年P97-105、2年P145-160、3年P99-110等)</p>

教科名 国語	種目名 国語	発行者番号 17	略称 教出	書名 伝え合う言葉 中学国語
--------	--------	----------	-------	----------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 教材末「みちしるべ」の「言葉・情報」では、教材文に関連した語句の説明や語彙を豊かにするための課題が示されている。(1年P101、2年P36、3年P104等)</p> <p>イ 巻末に新出漢字の画数、部首、筆順、音訓、用例(6分割)、慣用句、熟語等がまとめられている。(1年P325-334、2年P340-350、3年P327-334)</p> <p>ウ 巻末には「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」が配置され、語彙を豊かにできるように工夫されている。(1年P318-321、2年P334-337、3年P320-323)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「読むこと」の単元では、「目標」「学びナビ」「本文」「みちしるべ」「振り返り」の5ステップで構成されているものがある。(1年P246-262、2年P22-37、3年P76-81等)</p> <p>イ 「読むこと」の教材末「みちしるべ」には「自分の考えを伝え合おう」が配置され、意見交流しやすいよう工夫されている。(1年P169、2年P62、3年P127等)</p> <p>ウ 「学びのチャレンジ」として、全国学力・学習状況調査やPISAなどを踏まえ、情報と文章を関連付けて考え、判断し、表現する問題が掲載されている。(1年P192-204、2年P212-224、3年P210-220)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 学習の見通しが持てるよう教材前に「学びナビ」が示されている。(1年P45、2年P22-23、3年P18-19等)</p> <p>イ 各単元の教材の内容に関連する図書を「広がる本の世界」で紹介し、教材への理解を深めるとともに、読書活動が充実するよう工夫されている。(1年P32、2年P44、3年P47等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 本編1・2年9単元、3年8単元と、「言葉と文法」及び「言葉の自習室」で編成され、「言葉の地図」では、「〇年生で学ぶ内容と身につけたい言葉の力」が示されている。(各学年P12-14)</p> <p>イ 巻末に『「学びナビ」一覧』が提示され、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」それぞれの学びの具体が示されることで学年が上がるごとに学びが積み上がるよう工夫されている。(1年P315-317、2年P331-333、3年P317-319)</p> <p>ウ 「書くこと」の教材末には「学びを生かす」が示され、生活や他教科への応用の仕方が説明されている。(1年P105、2年P41、3年P85等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 古典教材には、現代語訳が下段に黒字で示されたり、本文の左側に青字で示されたりしているものがある。(1年P118-122、2年P124-131、3年P122等)</p> <p>イ 多様性と共生社会を扱った教材が掲載されている。(2年P96-105)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードの「まなびリンク」でデジタル教材が提供されている。(各学年P14等)</p> <p>イ 各学年に「情報・メディアと表現」として、情報の扱い方や特徴を理解できるよう教材が設置されている。(1年P66-71、2年P86-90、3年P110-113)</p> <p>ウ メディアリテラシーや著作権についての教材が設置されている。(1年P66-71、2年P326-327、3年P62-69)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 各学年にSDGs教材「持続可能な未来を創るために」として、今日的な課題について考える教材が配置され、他教科等との関連も図られるよう配慮されている。(1年P80-89、2年P96-105、3年P222-231)</p>

教科名 国語	種目名 国語	発行者番号 38	略称 光村	書名 国語
--------	--------	----------	-------	-------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 「語彙を豊かに」「語彙ブック」を設け、語彙を広げ語感を磨くことで自分の思いや考えを的確に表現し、相手や目的に応じた適切な言葉を選ぶ力を伸ばすことができるよう工夫されている。(1年P76、2年P74-75、3年P247-254等)</p> <p>イ 巻末の新出漢字の画数、部首、筆順、音訓、用例、慣用句、ことわざ等がまとめられ、手書きの楷書の習慣による字体がある場合は〈 〉を用いて示されている。(1年P308-320、2年P308-320、3年P306-314)</p> <p>ウ 3年の巻末に「本文で扱っていない常用漢字」が配置されている。(3年P314-316)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 各領域等で活用できるよう「思考の地図」において、場面や目的に応じて様々な考え方で課題解決ができるよう示されている。(各学年P9-10)</p> <p>イ 各学年で身に付けた資質・能力を活用して問題に取り組む「国語の力試し」が配置されている。(1年P262-266、2年P262-266、3年P242-266)</p> <p>ウ スピーチや話し合いによく使われ、思考や分析を深める話型や表現を「言の葉ポケット」に示すことで、表現する際の支援となるよう工夫されている。(1年P37、2年P35、3年P34等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各学年「読書案内 本の世界を広げよう」が2か所設置され、それぞれ6つのテーマで本が紹介されている。(1年P90-92、2年P87-89、3年P94-96等)</p> <p>イ 学習のポイントと身に付けるべき資質・能力の見通しが持てるよう「学びへの扉」や「学びのカギ」が配置されている。(1年P28-29、2年P26-27、3年P26-27等)</p> <p>ウ 教材末に「振り返る」が設定され、3つの視点で自分の学びを評価できるよう工夫されている。(1年P37、2年P26、3年P189等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 「学びへの扉」では、見開きの右に学習過程を示し、左に教材で身に付ける資質・能力を「学びのカギ」として焦点化し、それらを使用して課題解決できるよう工夫されている。(1年P114-115、2年P50-51、3年P118-119等)</p> <p>イ 巻頭に他教科、SDGsとの関連が示されている。(各学年P6-8)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 1年では古典教材本文の左横に青字で現代語訳が書かれ、2年では下段に黒字で現代語訳を増やし、3年の後半部分では注釈のみとし、段階に応じて学習できるよう工夫されている。(1年P157-164、2年P148-151、3年P162-163等)</p> <p>イ 多様性や多文化共生を意識し、様々な背景を持つ生徒が登場する写真やイラストが掲載されている。(1年P34、2年P83、3年P136-138等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 巻末の「ICT活用のヒント」でICT機器の使い方等が提示されている。(1年P340-341、2年P340-341、3年P336-337)</p> <p>イ メディアリテラシーについて学習する教材が配置されている。(1年P78-83、2年P76-81、3年P76-85)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア SDGsを題材に、全学年を通して情報活用能力を養う教材として「情報×SDGs」が設置されている。(1年P78-83、2年P76-81、3年P76-83)</p> <p>イ 災害時の情報収集や情報の読み取りについて考える教材が掲載されている。(2年P76-81)</p>

書写

教科名 国語	種目名 書写	発行者番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい書写
--------	--------	---------	-------	-------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 「とん」「すう」「びたっ」「すっ」「ぐっ」等の擬態語で筆の運びが表現され、穂先の向きが導入ページから色を変えて表現されるとともに、視覚的に運筆の流れが理解できるよう筆順・筆脈が記されている。(P10-11、P14、P25-26等)</p> <p>イ 学年ごとに全国学力・学習状況調査や高校入試を参考に作成された「書写テスト」が設けられており、付属の二次元コードにアクセスすると取り組める、紙面にない問題も含まれている。(P44、P70、P88)</p> <p>ウ 使用頻度の高い行書の動き「二」「十」「口」「人」の4つのパターンが取り上げられ、繰り返し意識付けができるようその後の単元でも示されている。(P26-27、P28、P46等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 学習の流れが、「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」の3ステップでポイントを押さえるよう示されている。(P14-15、P24-27、P46-47等)</p> <p>イ どのように書写で身に付けた力を生かすかを考え、話し合う単元として「生活に広げよう」が設定されている。(P39-41、P65-67、P83-85等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 題材ごとに対応した「目標」「振り返ろう」が配置されている。(P14-15、P54、P83-85等)</p> <p>イ 手で文字を書くことの価値や意義について3年間を通して考えられるよう、冒頭に「文字を『書く』って、なんだろう」という問いを持たせている。(P1)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 学年ごとに何を学ぶのかを分かりやすくするために、1年「身につける」、2年「使い分ける」、3年「使いこなす」と、目次等に各学年のテーマが明示されている。(P2-3、P5、P45等)</p> <p>イ 国語や社会科で扱われている教材や資料が取り上げられ、関連する教科の教科書紙面の画像にアクセスできるようリンクマークで示されるとともに、「書写活用ブック」に他教科で活用できる書写の力が具体的な例を挙げて示されている。(P34-35、P60-61、書写活用ブックP2等)</p> <p>ウ 小学校で学んだことが「これまで学んできたこと」として振り返られるよう工夫されている。また、高校書道部が取り上げられることで、興味・関心が高まるよう工夫されている。(P6-7、P104)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 利き手の左右に関わらず手本を見ながら書けるよう、手本を紙面上部、書き込み欄が下部に配置されている。(P12、P32-33、P46等)</p> <p>イ 小さな文字や吹き出しには手書き文字に近いUD書体を使用されるとともに、色の区分が減らされ、誰にでも見やすい色が使用されている。(P10-11、P56-57、P80-81等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 手書きと活字との違いや多種多様なフォントが取り上げられ、目的に応じた書体を使ったページが設けられている。(P16-17、P62-63、P72-75等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 防災教育やバリアフリー、環境教育につなげられる写真資料等が取り上げられている。(P65、書写活用ブックP8、書写活用ブックP10等)</p> <p>イ 伝統的な製法を続けている主な産地として因州和紙が取り上げられている。(P58)</p>

教科名 国語	種目名 書写	発行者番号 15	略称 三省堂	書名 現代の書写
--------	--------	----------	--------	----------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 基本の点画の書き方について、「始筆」「送筆」「終筆」が角度や言葉で説明されるとともに、穂先の向きや筆圧については穂先のイラストで示されている。(P14-15、P34、P36等)</p> <p>イ 1・2年生では毛筆の学習を、3年生ではこれまで学んだことを、硬筆に生かす書き込みページが小単元の終わりにまとめて配置されている。(P28-29、P50-53、P72-73等)</p> <p>ウ 身に付けたことを確認できるよう、2年生の終わりに「学力テスト問題」が配置され、解答と解説も掲載されている。(P66-67、P103)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 1・2年生では、基本となる学習のポイントが示され、文字の中でそのポイントがどこに使われているかを見つけ、解説動画で確認し、毛筆に生かすという構成になっている。(P26-27、P38-39、P46-47等)</p> <p>イ 各学年の最終ページに協働的な学びを促す「やってみよう」が配置されている。(P44、P64、P74)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 振り返りを自分の言葉で書き入れる「振り返ろう」が設けられている。(P21、P53、P73等)</p> <p>イ 「書き方を学ぼう一覧」に3年間で学習したポイントがまとめられており、3年間を通した振り返りができるよう工夫されている。(P117-120)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 「書き方を学ぼう」において学習すべき内容が学年をまたいでも全体の流れをつかめるよう、各題材のページに単元全体の流れを示すタブが掲載されている。(P12、P38、P46等)</p> <p>イ 国語とのつながりが、目次と該当するページの冒頭に教科名で示され、書写の学習内容が活用できるよう工夫されている。(P28、P64、P74等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 「左利きの学習者のために」という解説動画が示されている。(P8)</p> <p>イ 点画の組み立てが、毛筆体でなく、単純化された線や図形、識別しやすい配色を用いて示されている。(P12、P18-21、P26等)</p> <p>ウ 硬筆の手本にもルビが振られている。(P42、P58、P72等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 活字と手書き文字の違いについて、複数の書体や点画の向き等を比較して示されるとともに、手書きと活字が効果的に使い分けられている例としてポスターが掲載されている。(P22、P69)</p> <p>イ 「進化する筆記具」として、タブレットとタッチペンが取り上げられている。(P85)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 看板職人、タイプデザイナーと文字を扱う仕事が紹介されるとともに、イラストレーター等文字を扱うその他の仕事についても触れられている。(P70-71)</p> <p>イ 書写の学習内容を生かして、地域の魅力をまとめ、情報誌を作るページが配置されている。(P64-65)</p>

教科名 国語	種目名 書写	発行者番号 17	略称 教出	書名 中学書写
--------	--------	----------	-------	---------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 行書の筆使いのみに特化した手本が題材はじめの右ページに掲載されている。(P42)</p> <p>イ 『まなびリンク』を活用しよう」として、動画資料やワークシートの使い方が示されるとともに、毛筆の手本動画や、毛筆を生かした硬筆の手本動画も示されている。(P4、P18-19、P46等)</p> <p>ウ 3年間の学習のまとめとして「書写テストで確認」のページが配置されている。(P116-117)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 学習の流れが「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」の4段階でまとめられている。(P45、P73、P97等)</p> <p>イ 各題材で、硬筆での試し書きから始め、毛筆での学習を経て、最後に硬筆でまとめる学習の流れになっている。(P20、P67、P97等)</p> <p>ウ 冒頭の「学習の進め方」に、「話し合い活動をととした学び方」が配置され、書写における話し合い方のポイントが示されている。(P11)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各題材の「振り返ろう」に、目標が達成できたか確認できるようチェックボックスが配置されている。(P40-41、P66-67、P96-97等)</p> <p>イ 当該学年で学習することや身に付ける力が扉ページに文章で示されるとともに、「書写を通して学んでいくこと」として、3年間を通して学習する内容や身に付けたい力が図で示されている。(P12-13、P65、P95)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 生活につながるよう、楷書の学習に入る前にノートについての学習、行書に入る前に身の回りの行書に触れる学習活動が配置されている。(P14-15、P38-39)</p> <p>イ 国語や社会科のノート、理科のレポート等が活用場面として取り上げられている。(P14-15、P32-33)</p> <p>ウ 高等学校での学習内容が「発展」マークを付してコラムの資料として取り上げられている。(P88-89、P94、裏見返し)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 左利きの硬筆の持ち方が動画で示されるとともに、左利きの道具の置き方が写真で示されている。(P5、P8)</p> <p>イ 半紙の余白や名前の位置等を意識しやすいよう、手本のページに手本の文字以外の情報が入らないよう配慮されている。(P44、P66、P96等)</p> <p>ウ UDフォントそのものの解説がある。(P55)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 活字の歴史について、ヨーロッパの活版印刷にも触れ、デジタルの活字が活用されるまでの変遷が掲載されている。(P54-56)</p> <p>イ 学習でのタブレット活用の例が示されるとともに、コラム「書くことの変遷」の中で、「効果的な学習・伝達のために」として、デジタルペンによる手書きについて触れられている。(P11、P64)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア SDGsに関わる内容に、SDGsアイコンが掲載されている。(P56、P78)</p> <p>イ 資料や材料の産地に地域名が掲載されたり、各県の城の石碑の文字が取り上げられたりしている。(P24-25、P39、P102-103等)</p> <p>ウ 道具についてのコラムでは、鳥取県の因州和紙、城の文字では若桜鬼ヶ城が掲載されている。(P25、P103)</p>

教科名 国語	種目名 書写	発行者番号 38	略称 光村	書名 中学書写
--------	--------	----------	-------	---------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法（活動）	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 基本の点画の学習では「トン」「スー」「びたっ」等の擬態語と穂先のイラストや数字で運筆、穂先の向き、筆圧が示されている。(P39、P41、P55等)</p> <p>イ 手本に付属する二次元コードから運筆や同じ筆遣いを活用できる文字の手本を見ることができる。(P43、P69、P77等)</p> <p>ウ 切り離しできる「別冊書写ブック」第3学年に「書写テストに挑戦しよう」が配置されている。(P20-21)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 学習の流れが、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の3ステップで示されている。(P40-41、P78-79、P94-95等)</p> <p>イ 各題材の冒頭部分で文字の原理・原則を考えたり話し合ったりする活動ができるよう、「考えよう」が設定されている。(P40、P66、P94等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各教材に設定された「目標」の下に「振り返ろう」があり、振り返った後にチェックできるよう工夫されている。(P40、P66、P90等)</p> <p>イ 「別冊書写ブック」に、「3年間の目標」「3年間の学習を振り返って」を記入する欄が配置されている。(P1)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 同じ出版社の国語の教科書に掲載されている題材と連動させている。(P62-63、P84-85、P106-107等)</p> <p>イ 総合的な学習の時間、特別活動、学校生活への活用を示したページが配置されている。(P80-81、P98-99、P116-118)</p> <p>ウ 小学校での学習が図で示され、振り返られるようにするとともに、高等学校「芸術」で扱う王羲之が取り上げられている。(P36、P165)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 左利き用の道具の配置の仕方が紙面に掲載されるとともに、左手で書く人用の動画を生徒が自分で見ることができるようになっている。(P31、P33)</p> <p>イ どの題材でも視線の上下なく、右から左に見ることができるよう学習の流れが示されている。(P40-41、P66-67、P94-95等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 様々なフォントや数字・アルファベット、自分らしい手書き文字について学ぶ題材が設定されている。(P94-97、P104-105、P137)</p> <p>イ タブレットを使う姿勢が示されるとともに、一人一台端末の学習での具体的な活用の仕方が掲載されている。(P31、P34-35)</p> <p>ウ デジタルと手書きの両方を常に意識できるよう、鉛筆とタブレットのキャラクターを登場させるとともに、ICTの良さや使い方について考えることができるよう工夫されている。(P58、P88-89、P116-117等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 「SDGs×書写」として、SDGsアイコンとともにSDGsの取組が示されている。(P33、P64、P141)</p> <p>イ コラム「全国フォント見つけ隊」「全国文字マップ」等で、各都道府県で見られる文字について着目させられるよう工夫されている。(P82-83、P90-93)</p> <p>ウ 「全国文字マップ」で「鳥取砂丘」の碑、「自分らしい文字」に水木しげるの字が掲載されている。(P92、P105)</p>

社会

(地理的分野)

教科名 社会	種目名 地理	発行者番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい社会 地理
--------	--------	---------	-------	----------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 本文中の難しい用語を解説する「もっと解説」が配置され、単元のまとめでは用語確認をする「ワードチェック」が設けられるなど、理解が深められるよう工夫されている。(P45、P54、P159等)</p> <p>イ 基礎的・基本的な技能を身に付ける「スキルアップ」や小学校の社会科で身に付けた技能を活用して活動する「えんぴつマーク」のコーナーが設けられている。(P17、P32、P53等)</p> <p>ウ 「まとめの活動」で基礎基本の定着を図ることができるよう、「確かめよう」のコーナーが設けられている。(P32、P74、P114等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 対話的な学びを通して多面的・多角的な考察ができるよう、小集団の参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーが設けられている。(P23、P127、P179等)</p> <p>イ 「まとめの活動」の中で、自分の考えを整理し、自分の言葉でまとめる「探究課題を解決しよう」が設けられている。(P75、P115、P195等)</p> <p>ウ 学習内容について考察し、思考を整理して深めることができるよう、「ベン図」「フィッシュボーン」「ウェビング」などの思考ツールが掲載されている。(P33、P127、P267等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 地域についてより身近に感じ、興味・関心を持って取り組むことができるよう、「聞かせて！中学生」のコーナーが設けられている。(P78、P184、P196等)</p> <p>イ 「世界の諸地域」「日本の諸地域」の各地域の学習の最初に「探究課題」が明示され、課題をつかみ探究しやすくなるよう工夫されている。(P81、P121、P187等)</p> <p>ウ 「まとめの活動」に「探究のステップでふり返ろう」が設定され、探究課題の解決に向かえるよう工夫されている。(P138、P180、P230等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 学習内容の定着を図るため、「導入資料」→「学習課題」→「本文」→「チェック&amp;トライ」の流れで構造化されている。(P96-97、P172-173、P250-251等)</p> <p>イ 国語、書写、数学、理科など他教科でも扱う内容には、関連を示すマークが付けられている。(P25、P80、P153等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 立体感や陰影のある表現を省いたフラットデザインやUDフォントを利用し、文字の視認性を高めている。</p> <p>イ 様々な宗教が取り上げられるなど、多様な文化への理解や敬意を深め、尊重する態度を養うことができるよう配慮されている。(P50-51、P52-53、P77等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 紙面に付した二次元コードを読み取ることで、内容の理解につながる動画など、たくさんのコンテンツが準備されている。(P62、P96、P136等)</p> <p>イ 情報通信技術（ICT）の進展による社会の変化や課題解決の取組事例が紹介されている。(P71、P103、P204-205等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 持続可能な社会の形成について、SDGsに関連付け、現代的な諸課題を理解、解決しようとする単元が配置されている。(P58-59、P142-143、P269-279等)</p> <p>イ 「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」など、現代的な諸課題を意識しながら学習が進められるよう工夫されている。(巻頭3-P1、P141、P243等)</p>

教科名 社会	種目名 地理	発行者番号 17	略称 教出	書名 中学社会 地理 地域にまなぶ
--------	--------	----------	-------	-------------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 「学習のまとめと表現」の「学習したことを確認しよう」や「ワードチェック」で、知識及び技能の定着を確実に図ることができるよう工夫されている。(P60、P124、P198等)</p> <p>イ 見開き右ページの終わりに学習を整理しながらまとめる活動ができる「確認」のコーナーが設けられている。(P7、P15、P51等)</p> <p>ウ 「地理の技」では、個人・グループでの活動を通して、地図やグラフの扱い方等、中学校で身に付けたい技能が習得できるよう工夫されている。(P7、P13、P139等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 見開きページごとに、「学習課題」に関わる説明等を言葉で表現したり、対話したりする活動を促す「表現」のコーナーが設けられている。(P33、P111、P183等)</p> <p>イ 思考・判断・表現する力を育むため、資料を読み解きながら考察する学習活動を行う「Think！」のコーナーが設定されている。(P87、P118、P193等)</p> <p>ウ 「持続可能な社会に向けて クロスロード」という特設ページの学習を通して、さらに深く思考させる「TRY！」が設けられている。(P78-79、P126-127、P200-201等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 見通しを持って学習に取り組むことができるよう、編や章の導入部に「章を見通した学習課題」が設定され、「見方・考え方」も示されている。(P5、P43、P145等)</p> <p>イ グループでの対話等を通してこれまでの学習を振り返り、自分でまとめることができるよう、「学習のまとめと表現」の「学習したことを活用してまとめよう」が設けられている。(P103、P125、P185等)</p> <p>ウ 「学習のまとめと表現」において、学習を振り返りながら考えを整理するために思考ツールが掲載されている。(P89、P199、P259等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 学習内容の定着を図るため、「導入資料」→「学習課題」→「本文」→「確認！」「表現！」の流れで構造化されている。(P46-47、P160-161、P224-225等)</p> <p>イ 巻頭に三分野の学習のあらましと関係をイメージ図で示し、各分野との連携を意識できるよう工夫されている。(巻頭Ⅱ)</p> <p>ウ ページ下に記載されている「関連」には、他地域や他分野に関連する学習項目が示されている。(P41、P99、P167等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 本文と資料をフォントやポイントの違いにより明確に区分したり、整理・パターン化したりレイアウトでデザインすることで視認性を高めている。</p> <p>イ 多文化共生の視点から、各地の先住民族が紹介されたり、そこに暮らす人々の声を取り上げられたりするなど、多様性を現代の視点から見つめることができるよう工夫されている。(P111、P126-127、P276-277等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 紙面の二次元コードから、動画、クイズ、統計資料などのコンテンツにアクセスできる。(P13、P88、P131等)</p> <p>イ 情報通信の発達と地域間の結びつきとの関わりや、情報発信に関わる学習、情報格差の問題について取り上げられている。(P57、P168-169、P242-243等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 世界地理の学習において、各州の地域的課題を示すことで、持続可能な開発目標への関連付けがなされている。(P72-73、P81、P110-111等)</p> <p>イ 自然災害と防災、開発と環境保全に関する具体的な事例を豊富に取り上げ、自分たちの暮らしとの関わりを考察できるよう工夫されている。(P156-159、P176-177、P260-261等)</p>

教科名	社会	種目名	地理	発行者番号	46	略称	帝国	書名	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
-----	----	-----	----	-------	----	----	----	----	-----------------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 重要な概念や分かりにくい用語について、同ページに「解説」が掲載されている。(P52、P190、P228等)</p> <p>イ 学習内容に関連した事例を紹介するコラム「地理プラス+」を掲載することで、学習した知識をさらに深められるよう工夫されている。(P9、P77、P161等)</p> <p>ウ 「地理的な見方・考え方」を働かせながら学習を深めていくために必要な技能を習得できるよう「技能をみがく」が設定されている。(P12、P17、P130-131等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 周囲との対話を促す「対話」アイコンを設定し、話し合い活動を通じて自身の考えをより深められるよう工夫されている。(P25、P152、P225等)</p> <p>イ 「学習を振り返ろう」では、「地理的な見方・考え方」を働かせながら単元を貫く問いに対して思考・判断・表現する場面を設定している。(P42、P63、P105等)</p> <p>ウ 目的や用途に合わせて活用できるよう、考えを整理する方法として複数の思考ツールが提示されている。(巻頭9、P127、P181等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 「第2部第2章世界の諸地域」及び「第3部第3章日本の諸地域」の各節の導入「写真で眺める」では、写真や地図の読み取りを通して学習の見通しが立てられるよう工夫されている。(P46-47、P80-81、P168-169等)</p> <p>イ 「アクティブ地理」では、地域に見られる課題を考案し、解決への取組について考える課題が設定されている。(P90-91、P150-151、P214-215等)</p> <p>ウ 「学習を振り返ろう」では、各章・節の振り返りの視点やヒントが示され、深い学びにつながられるよう工夫されている。(P13、P78-79、P126-127等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 「導入資料」→「学習課題」→「本文資料」→「確認しよう」→「説明しよう」の展開で構造化され、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるよう工夫されている。(P50-51、P86-87、P192-193等)</p> <p>イ 「小学校・歴史・公民・他教科との関連」が示されており、既習事項を踏まえて物事を多面的・多角的に捉えられるよう配慮されている。(P8、P30、P146等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア UDフォントが使用される等、読みやすさが工夫され、資料についても色使いや模様、記号等の使用により、視覚的に情報を捉えられるよう配慮されている。</p> <p>イ 多様な価値観や文化の共生を図る人々の姿を紹介することで、生徒の理解や寛容な態度を育むことができるよう工夫されている。(P61、P110-111、P243等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードで学習に役立つ動画やクイズ等のコンテンツへアクセスし、様々な学習場面や学習形態で活用できるよう工夫されている。(巻頭6、P26、P120等)</p> <p>イ 情報化や技術革新によって人々の暮らしがどのように変容したのか紹介されている。(P161、P198、P232等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア SDGsと地理的事象との関連について意識し、SDGsの達成に向けて主体的に取り組む態度を身に付けられるよう、「未来に向けて」が設定されている。(P156-157、P182、P264等)</p> <p>イ 各地方の自然環境に関連した災害とそれに対する対策の事例を「未来に向けて」で紹介し、地方における自然環境の特色と防災の関連がつかめるよう配慮されている。(P171、P237、P253等)</p>

教科名 社会	種目名 地理	発行者番号 116	略称 日文	書名 中学社会 地理的分野
--------	--------	-----------	-------	---------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 「トライ」「確認」では、基礎的な知識及び技能の定着をねらいとした学習活動が提示されている。(P9、P13、P153等)</p> <p>イ 学習に必要な技能が6種類に整理され、系統立てて習得できるよう「スキルUP」が設定されている。(巻頭9、P13、P26等)</p> <p>ウ 必要な情報の読み取り方等の技能を高めるため、資料を用いた活動を示す「資料活用」が設けられている。(P55、P99、P113等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「表現」「トライ」「スキルUP」「資料活用」等において、生徒が自分の言葉等で表現できるよう工夫されている。(P28、P134、P172等)</p> <p>イ 学習課題の解決に向けての手がかりとなる「地理的な見方・考え方」が示されている。(巻頭3-4、P4、P28等)</p> <p>ウ 「まとめと振り返り」では、習得した知識を活用しながら、章や節ごとの問いに答えられるよう、様々なまとめ方や思考ツールが提示されている。(P76-77、P128-129、P166-167等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各章の導入ページに章を貫く問いが立てられており、問いに対する疑問や予想について考えられるよう工夫されている。(P3、P27、P145等)</p> <p>イ 話し合い等の対話的な活動が想定される問いには「学び合い」マークが設けられている。(P43、P77、P105等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 単元の学習の見通しを持って「学習課題」に取り組み、「まとめと振り返り」で改めて問いについて考える構造になっている。(P4、P6、P24等)</p> <p>イ 既習事項や関連する事項を確認・活用できるよう、小学校、歴史や公民とのつながりを示した連携コーナーが設けられている。(P18、P20、P172等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 視認性が高まるようUDフォントやカラーUDを取り入れるなど工夫が見られ、振り仮名や重要語句の太さ等についても配慮されている。</p> <p>イ 多文化共生社会の重要性を認識し、自他の国や文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育むことができるよう工夫されている。(P40-41、P122-125、P245等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードが掲載され、動画や資料、ワークシート等の「教科書QRコンテンツ」にアクセスできるよう工夫されている。(P3、P68、P134等)</p> <p>イ 情報化の進展による諸地域の発展の様子から、その良さや課題について考えられるよう工夫されている。(P52-53、P87、P198-199等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 全体を通して持続可能な社会について考えられるよう、巻頭でSDGs、カーボンニュートラル、Society5.0の概念について解説され、本文や「持続可能な地域をめざして」「地理+α」の各所で取り扱われている。(巻頭1-2、P66、P159等)</p> <p>イ 生命や安全の確保に主体的に取り組んでいくことができるよう、様々な災害や防災・減災、課題や復興について体系的に学習できるよう構成されている。(P150-155、P176-177、P262-263等)</p>

社会

(歷史的分野)

教科名 社会	種目名 歴史	発行者番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい社会 歴史
--------	--------	---------	-------	----------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 本時の学習時代が視覚的につかめるように、右ページに年表スケールが掲載されている。(P25、P27、P29等)</p> <p>イ 学習で身に付けた知識を整理し活用できるように、見開き2ページの左下に「チェック」が掲載されている。(P24、P26、P28等)</p> <p>ウ 「スキル・アップ」や「えんぴつマーク」が配置され、歴史学習に必要な知識及び技能を身に付けられるよう工夫されている。(P43、P100、P155等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 学習内容をまとめる「トライ」が設けられ、語句や字数を意識させることで思考力、判断力、表現力等を深められるよう工夫されている。(P27、P29、P43等)</p> <p>イ 章末には、学習内容を考察する「まとめの活動」が設けられ、「ウェビング」「ステップチャート」など、多様な思考ツールを活用して思考を整理し、学びを深められるよう工夫されている。(P60-62、P94-96、P140-142等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 歴史学習の基礎となる見方・考え方や技能について、巻頭に詳しく掲載されている。(巻頭-P3、P8-13、P14-15)</p> <p>イ 各章ごとに「探究課題」や「探究のステップ」が導入のページに記載されており、見通しを持って学習に向かうことができるよう構成されている。(P23、P65、P99等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 単元の導入では、「小学校の社会で習ったことば」の記述があり、小学校の学習の内容を振り返り、意欲的に学習に向かうことができるよう工夫されている。(P22、P64、P98等)</p> <p>イ 「学習課題」や二次元コードの「チェック&amp;トライ」等、1時間の学習の流れが紙面の定位置に配置され、学習に取り組みやすくなるよう工夫されている。(P32、P34、P36等)</p> <p>ウ 社会科の他分野や他教科との関連についてリンクマークが付され、多面的・多角的かつ教科等横断的な学習ができるよう工夫されている。(P29、P57、P196等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア UDフォントが使用され、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させられるよう配慮されている。</p> <p>イ グラフや地図などでは、凡例を使用せずに図中に直接示すようにしたり、読みづらい破線や点線を減らしたりするよう工夫されている。(P37、P51、P102等)</p> <p>ウ 同和問題やアイヌ民族、琉球王国、在日韓国・朝鮮人の歴史等が扱われ、人権尊重、多文化共生の意識を高められるよう配慮されている。(P86-87、P120-121、P218-219等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードを読み取ることで接続されるデジタルコンテンツでは、「年表を読み取ろう」などの資料の見方や「インターネットで調べよう」など、歴史を学ぶために必要な技能について説明した動画が紹介されている。(P10、P16、P18等)</p> <p>イ 我が国におけるメディアの発達とそれに伴う社会や文化の変容について、本文や「もっと知りたい!」で取り上げることで、現在の情報環境の成り立ちを歴史的に捉えられるよう配慮されている。(P196、P216、P258-259等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマが提示され、現代的な諸課題を意識しながら学習を進められるよう工夫されている。(P2-3、P193、P265等)</p> <p>イ 歴史上の災害やそれを乗り越えてきた人々の姿、歴史上の防災対策を、本文ページや「もっと知りたい!」で取り上げることで、防災・減災への意識や態度を養うことができるよう工夫されている。(P130、P217、P268-269等)</p>

教科名 社会	種目名 歴史	発行者番号 17	略称 教出	書名 中学社会 歴史 未来をひらく
--------	--------	----------	-------	-------------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 見開きページの右下に学習したことを整理しながらまとめる「確認！」のコーナーが設けられ、学習事項が確実に定着するよう工夫されている。(P23、P25、P27等)</p> <p>イ 「歴史の技」コーナーでは、歴史学習の中で活用する機会の多い資料について、資料活用の方法や手順が示されている。(P25、P41、P68等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「表現！」が設定されており、学習内容を自分の言葉で説明したり対話したりすることで、深い学びへとつなげられるよう工夫されている。(P33、P35、P37等)</p> <p>イ 「歴史の窓」では、本文とは視点を変えて学習内容を捉えなおし、歴史的事象についての多面的・多角的な思考や理解を促すことができるよう工夫されている。(P81、P103、P131等)</p> <p>ウ 章末に「学習のまとめと表現」が設けられ、歴史的な見方・考え方を働かせて時代の転換点や特色を考察し、表現する学習活動を行うことができるよう工夫されている。(P20-21とP56-58、P60-61とP92-94、P96-97とP140-142等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 「学習課題」が疑問文で記載されており、学習内容を理解し、見通しを持って学習活動を行うことができるよう工夫されている。(P36、P38、P40等)</p> <p>イ 「章の問い」や章の学習の見通しにつながるよう、導入ページ「学習のはじめに」「Look!」が設置され、生徒が資料を読み取りながら興味・関心を高めることができるよう工夫されている。(P20-21、P60-61、P96-97等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 単元を通して探究していく「章の問い」や、単元全体の学習を振り返り、自分の言葉で表現する「学習のまとめと表現」が設定されており、生徒が見通しを持って学習活動を行うことができる単元配列になっている。(P20-21、P56-58、P92-94等)</p> <p>イ 他教科との関連について示されたり、地理・公民との関連を示す「関連マーク」が付されたりして、3分野の学習の連携や振り返りが図られるよう工夫されている。(P11、P106、P138等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア より多くの人に見やすいUDフォント、カラーUDが使用されている。</p> <p>イ 同和問題の歴史的・科学的認識が深まるよう配慮されるとともに、女性やアイヌ民族、琉球など様々な立場についての理解が深められるよう工夫されている。(P80-81、P164-165、P220-221等)</p>
	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードを読み取ることで接続される「まなびリンク」では、情報収集のための「役立つリンク集」や資料活用の方法や手順を動画で説明している「歴史の技」、学習したことを復習することができる「クイズ」などのコンテンツがある。(P13、P19、P25等)</p> <p>イ 「まなびリンク」には「学習者用端末の使い方」の資料や「インターネットを活用しよう」の動画があり、インターネットの利用のルールや情報リテラシーの指導を支援するデジタルコンテンツが紹介されている。(P13)</p>
その他	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 郷土の伝統と文化への関心を高める観点や学び方の手がかりについて「身近な地域の歴史を調べよう」のコーナーで示され、学習に役立てることができるよう構成されている。(P12-18、P54-55、P176-177等)</p> <p>イ 「歴史学習の終わりに～歴史を振り返って、未来を構想しよう～」では、現代の課題を考察し、未来を構想する学習の中で、SDGsの観点から考えることもできるよう配慮されている。(P287-291)</p>

教科名 社会	種目名 歴史	発行者番号 46	略称 帝国	書名 社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
--------	--------	----------	-------	------------------------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 章末の「学習事項の確認」で学習内容を振り返る活動を設定することで、知識及び技能が習得できるよう工夫されている。(P60、P102、P158等)</p> <p>イ 各時代の政治のしくみが見開きページ左下に掲載されており、各時代の比較ができるよう工夫されている。(P40、P70、P186等)</p> <p>ウ 「技能をみがく」コーナーが設けられ、「歴史的な見方・考え方」を働かせる上で必要な技能が習得できるよう工夫されている。(P7、P35、P39等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 各時代にある「タイムトラベル」のイラストや資料から学習内容を見通し、文章だけではイメージしづらい時代の特色をつかめるよう工夫されている。(P26-27、P36-37、P52-53等)</p> <p>イ 見開き2ページの右下に「説明しよう」が設定されており、言語活動を繰り返し行い、思考力、判断力、表現力等を育成できるよう配慮されている。(P31、P39、P43等)</p> <p>ウ 「アクティブ歴史」では、課題解決学習を通して対話的に学習できるよう設定されている。(P34-35、P76-77、P156-157等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各章の冒頭で、『学習する時代の見通し』をもとに『学習する時代の見通し』に戻ってみよう』が設定され、章のはじめに立てた予想から、学習した時代に対する考えの深まりを振り返ることができるよう工夫されている。(P15、P62、P63等)</p> <p>イ 章末には「章の振り返り」が配置され、「タイムトラベル」を活用した振り返りから歴史的な見方・考え方を働かせ、時代の特色や現代とのつながりについて思考できるよう工夫されている。(P61-62、P103-104、P159-160等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 単元を貫く「章の問い」「節の問い」「学習課題」、章末の「学習を振り返ろう」と問いが構造化されており、章や節の学びを通して自分にどのような力が付いたのか客観的に認識できるよう工夫されている。(P15、P16、P60-61等)</p> <p>イ 写真や地図にのちのちの記載があり、小学校や各分野との関連が意識できるよう工夫されている。(P17、P22、P24等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 図版が色で囲まれ、どこまでが同一の図版か読み取りやすくなるよう配慮されている。(P38、P39、P54等)</p> <p>イ コラム「未来に向けて」において、人権や多文化に関する諸問題について理解を深めることができるよう配慮されている。(P93、P201、P241等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 動画や博物館、図書館等のホームページの「リンク集」「用語解説」「ワークシート」など、個別最適な学びが支援できるようなデジタルコンテンツが設定されている。(巻頭6、P15、P310等)</p> <p>イ 社会の新たな潮流について、人や物・情報の移動や交流が活発になった一方、反グローバル化の動きが出ていることや国際情勢にも触れられており、今後の課題について考えられるよう記述されている。(P302-303)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア コラム「未来に向けて」では、持続可能な開発目標(SDGs)と歴史の関連を意識できるよう工夫されている。(P39、P49、P139等)</p> <p>イ 「これからの社会を構想しよう」では、SDGsについて社会的な課題として主体的・対話的に考えられるよう工夫されている。(P307-309)</p>

教科名 社会	種目名 歴史	発行者番号 81	略称 山川	書名 中学歴史 日本と世界 改訂版
--------	--------	----------	-------	-------------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 第1章「歴史との対話」では、歴史を学ぶための基礎知識と歴史の調べ方が示され、学習に必要な技能が習得できるよう工夫されている。(P5-13)</p> <p>イ 本文に出てくる意味が分かりにくい言葉には、同ページに「用語解説」や側注をつけ、生徒の理解を助けられるよう工夫されている。(P55、P109、P271等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 各章末の「まとめ」では、各時代の特色を踏まえた発問を通して、生徒の主体的・対話的な活動を促し、学習意欲を高められるよう工夫されている。(P60-61、P100-101、P152-153等)</p> <p>イ 「歴史を考えよう」では、生徒の興味・関心を高められるような美術作品や史料、地図などが取り上げられ、歴史の思考力を養うことができるよう工夫されている。(P56-57、P76-77、P134-135等)</p> <p>ウ 各単元の学習課題、「ステップアップ」、図版に付した発問など、様々な発問に対して自ら考え判断する力が身に付くよう工夫されている。(P38、P39、P41等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 1時間の授業につき見開き2ページに設定され、冒頭には学習内容を理解するための「学習課題」が記載されており、見通しを持って学習に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>イ 「歴史へのアプローチ」では、時代を通した視点、グローバルな視点からのテーマなどが取り上げられ、生徒の興味・関心を広げ多面的・多角的に考察できるよう工夫されている。(P32-33、P78-79、P144-145等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各章の冒頭に各時代の帯年表が入れられており、その時代の日本と世界の大きな流れを理解できるよう工夫されている。(P14-15、P62-63、P102-103等)</p> <p>イ 各章の冒頭に日本と世界のできごとを上下に分けて示したり、各時代の世界の様子を地図やイラストで示したりするなど、日本と世界の歴史の関連について理解しやすくなるよう工夫されている。(P14-15、P26-27、P80-81等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア UDフォントが使用されるとともに、カラーUDを取り入れることで、多くの人に見やすい教科書となるよう配慮されている。</p> <p>イ 女性を取り上げた人物コラムや「戦後の女性と社会」に関する年表など男女平等について配慮されている。(P159、P259、P273等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 「くわしく見てみよう」の二次元コードが掲載されており、博物館、資料館のウェブページや動画、拡大画像を見ることができるよう工夫されている。(P19、P25、P59等)</p> <p>イ デジタルコンテンツでは、歴史上の人物の音声や動画も準備されており、生徒の興味・関心を高めることができるよう工夫されている。(P197、P235、P249等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 「地域からのアプローチ」では、地域の歴史や伝統文化などに焦点が当てられ、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう工夫されている。(P46-47、P58-59、P68-69等)</p> <p>イ 持続可能な開発目標(SDGs)に関連する、現代の世界が抱えている課題や、それに対する解決策を考えさせることができるよう工夫されている。(P283)</p>

教科名 社会	種目名 歴史	発行者番号 116	略称 日文	書名 中学社会 歴史的分野
--------	--------	-----------	-------	---------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 見開きページ右下に「確認」が設定されており、学習した内容を振り返ることができるよう工夫されている。(P23、P25、P27等)</p> <p>イ 小年表や小地図が掲載され、事象の流れやできごとが起きた場所などが確認できるよう工夫されている。(P69、P83、P128等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 各編の「チャレンジ歴史」は、資料をもとに自分で考えたり、対話したりしながら歴史を学ぶことができるよう設定され、「学び合い」のマークによって、グループでの話し合いを促し、多面的・多角的に課題を考えることができるよう工夫されている。(P38-39、P74-75、P150-151等)</p> <p>イ 各編の「まとめとふり返し」では、時代の特色を考える活動が設定され、思考ツールの提案やステップに分かれた活動が提示されることで、活動の流れが見やすかつ思考しやすくなるよう工夫されている。(P62-63、P102-103、P152-153等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 第2～6編(章)の導入ページ「学習のはじめに」において、時代をイメージさせる「トライ」が設定され、何を学ぶのか捉えられるよう工夫されている。(P18-19、P64-65、P104-105等)</p> <p>イ 二次元コードを読み取ると、内容のまとめりごとのポートフォリオが活用できるようになっており、学びを自己調整したり、変容を見取れたりするよう工夫されている。(P21、P67、P107等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 内容のまとめりごとに「編の問い」「節の問い」「学習課題」が構造化されており、学習の見通しを持ったり、内容のまとめりごとに学習したことを整理できたりするよう構成されている。(P21、P22、P24等)</p> <p>イ 本文脚注において、小学校の学習、地理・公民や他教科との関連が示され、多面的・多角的に学習できるよう工夫されている。(P25、P27、P35等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 本文には、UDフォントが使用され、小学校6年生以上で学習する漢字の初出箇所並びに重要語句にはすべてルビが振られている。</p> <p>イ 同和問題の他、女性、アイヌ民族、在日外国人など基本的人権に関わる内容について、歴史的な経緯と現在の取組に触れながら記載されている。(P77、P234-235、P285等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードを読み取ると、「ポートフォリオ」「イントロダクションムービー」「確認小テスト」など、生徒の自学自習を支援するコンテンツが取り扱われている。(P22、P32、P46等)</p> <p>イ 「情報を読み取る」技能について、視覚的によりわかりやすく解説されている「スキルUP」が掲載されている。(P9、P40、P65等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 第6編第3節「グローバル化と日本の課題」において、環境、平和、防災などの課題が取り上げられ、持続可能な社会の発展に向けて、自分の考えを持って学習に取り組めるよう工夫されている。(P280-285)</p> <p>イ 特設ページ『歴史との対話』を未来に活かす』が設置され、現代の課題の背景や先人たちの取組について学ぶことで、歴史を踏まえて解決に向けて考えることができるよう工夫されている。(P292-299)</p>

教科名 社会	種目名 歴史	発行者番号 225	略称 自由社	書名 新しい歴史教科書
--------	--------	-----------	--------	-------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 各章末には「復習問題のページ」があり、一問一答や地図問題により基礎・基本の定着が図られるよう工夫されている。(P66、P102、P146等)</p> <p>イ 序章において、年代の表し方や時代区分、歴史の調べ方など生徒の技能を高められるよう工夫されている。(P8-15)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 見開きページの右下に「チャレンジ」が配置され、本時ごとに簡単な知識の整理ができるよう構成されている。(P21、P23、P27等)</p> <p>イ 各章のまとめの「時代の特徴を考えるページ」では、『歴史用語ミニ辞典』の作成」「時代比較の問題」「『ひとこと』作文」「意見交換会」などの学習課題が提示され、学んだことを自分で構造化する力を養えるよう工夫されている。(P67、P103、P147等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各章の〈予告篇〉では、学習内容について見通しを持つことができるとともに、「登場人物紹介コーナー」では、小学校で学んだ人物が中心に掲載され、小学校の学習内容と関連付けて意欲的に学習に向かうことができるよう工夫されている。(P19、P69、P105等)</p> <p>イ 章末の「対話とまとめ図のページ」において、2人の対話やまとめ図から章全体を振り返り、次章につなげられるよう工夫されている。(P68、P104、P148等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 見開きページ中に小さなコラム、複数ページにわたる大きなコラムが配置され、単元の大まかな説明だけでなく、歴史の深さを実感できるよう構成されている。(P27、P40-41、P94-95等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 図、写真、グラフなどが大きく提示され、見やすくなるよう配慮されている。(P43、P54、P59等)</p> <p>イ 男女のキャラクターが適宜配置され、そのセリフによって学習のポイントやヒントが示唆されるとともに、学習に取り組みやすいよう配慮されている。(P7、P50、P54等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 章末の「調べ学習のページ」において、インターネットの活用など、情報活用につながる教材が取り上げられている。(P100)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 「コラム・外の目から見た日本」が各時代に配置され、それぞれの時期に外国人が日本人の高い道徳性を公正に評価していることと自分をつなげることを通して、我が国への誇りと愛国心が育まれるよう工夫されている。(P35、P116、P196等)</p>

教科名 社会	種目名 歴史	発行者番号 227	略称 育鵬社	書名 新しい日本の歴史
--------	--------	-----------	--------	-------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 「課題」につながる重要なポイントを本文から抜き出すことで理解を深めることができるよう「確認」が設定されている。(P31、P35、P39等)</p> <p>イ 「歴史ズームイン」のページに、「見方・考え方」「TRY!」が設定されており、習得した知識を深められるよう工夫されている。(P32-33、P44-45、P128-129等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 学習内容を参考に説明する力を養うことができるよう「探究」が設定されている。(P35、P37、P39等)</p> <p>イ 時期や年代、推移、比較、相互の関係、現在とのつながりといった歴史的な見方・考え方を働かせるコーナーが設けられ、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。(P11、P28、P73等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各章の導入に「歴史絵巻」が設定されており、歴史を大観することで、小学校で学習した内容を振り返りながら、歴史学習への興味・関心を高められるよう構成されている。(P24-25、P64-65、P96-97等)</p> <p>イ 見開きページの導入資料には、資料を活用するきっかけとなる問いがキャラクターの吹き出しの形で設定されており、意欲的に学習に向かうことができるよう工夫されている。(P28、P30、P34等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 見開きページの左下に「歴史モノサシ」が提示されており、そのページで学習する内容がどの時代に位置するのかが分かるよう工夫されている。(P28、P40、P76等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 文字はUDフォントが使用され、振り仮名には読みやすいゴシック体が使用されている。</p> <p>イ グラフや地図などの資料については、色覚特性のある生徒でも識別しやすい色が使用され、地図では、色分けだけでなく地紋を入れるなど、色以外の情報からも読み取ることができるよう工夫されている。(P39、P41、P103等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 各章の冒頭にある二次元コードを読み取ることで、デジタルコンテンツを活用できるよう工夫されている。デジタルコンテンツは單元ごとに分かれており、動画や学習内容に関連する遺跡や研究所のホームページ、歴史資料と接続されている。(P25、P65、P97等)</p> <p>イ 「序章④身近な地域の歴史の調べ方」では、インターネットによる調査について、公的機関など信頼のおけるウェブサイトなどを参考にする事等の留意点が示されている。(P18-19)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 持続可能な社会の形成に取り組んだ先人の事例が資料やコラムで紹介され、生命や自然を尊重する態度を育成することができるよう工夫されている。(P128-129、P195、P270-271)</p> <p>イ 自然災害や感染症などについて、コラムで大きく取り上げられており、歴史的経緯を踏まえて思考できるよう工夫されている。(P221、P274-275、P276-277等)</p>

教科名 社会	種目名 歴史	発行者番号 229	略称 学び舎	書名 ともに学ぶ人間の歴史
--------	--------	-----------	--------	---------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 基礎的な知識の定着を図ることができるよう、各章末に「第〇章をふりかえる」が設定されている。(P34、P52、P104-105等)</p> <p>イ 「フォーカス」において、歴史の様々な場面に焦点を当て詳細を伝えることで、理解を深めることができるよう工夫されている。(P30、P56、P74等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 章末に「学習のまとめ」が設置され、歴史的事象を関連付けたり意見交換したりして、思考力、判断力、表現力等を育むことができるような課題が設定されている。(P52-53、P84-85、P134-135等)</p> <p>イ 「歴史を体験する」において、様々な体験や調べ学習を通して話し合ったり考えを深めたりすることができるよう工夫されている。(P34、P158-159、P178-179等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各章の冒頭ページでは、世界地図を中心にして、これから学習する時代に関する写真、絵、学習課題が提示され、課題意識が持てるよう工夫されている。(P10-11、P36-37、P54-55等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 教科書のサイズが大きく (A4判)、絵画資料、写真、統計資料など多様な資料が大きく鮮明な画像で掲載されている。</p> <p>イ 巻末ページに分野ごとの年表が掲載されており、知識の整理ができるよう工夫されている。(P282-293)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア カラーUDに配慮し、色、線、マークなどが見やすくなるよう工夫され、主体的な学習に配慮し、太字をなくしている。</p> <p>イ 女性の働き、社会運動などが取り上げられ、誰もが個人として尊重し合える社会について考えを深められるよう配慮されている。(P149、P170-171、P248等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 「歴史を体験する」では、インターネットを利用した調べ方について取り上げられている。(P104-105)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 文化遺産や作者の名前にとどまらず、文化を生み出した人々の願いと社会の状況、文化を継承した人々の営みなどが具体的に記述され、我が国と郷土を愛する態度を養えるよう工夫されている。(P50-51、P64-65、P190-191等)</p> <p>イ 第10章「現代の日本と世界」では、公的的分野の学習を視野に入れた現代的な課題と結びつくテーマが掲げられ、よりよい社会の実現に向けて考えることができるよう工夫されている。(P246-281)</p>

教科名 社会	種目名 歴史	発行者番号 236	略称 令書	書名 国史教科書 第7版
--------	--------	-----------	-------	--------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 本文中における意味が分かりにくい言葉には、随時、同ページに「注」が付され、生徒の理解を助けることができるよう工夫されている。(P18、P21、P22等)</p> <p>イ 「序 国史を学ぶにあたって」において、「年代や時代の表し方」「グループで歴史を調べよう」など歴史の学習を進める際に必要な技能を学ぶことができるよう配置されている。(P11-16)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 思考力の育成が図られ、ヒントを設けることで思考力が深められるよう学習課題ごとに「考えよう」が設定されている。(P21、P28、P31等)</p> <p>イ 各章末の「〇〇までのまとめ」では、各時代の政治・外交・文化等について様々な視点で考察できるよう工夫されている。(P118、P268、P410等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各章の各項(「イ」「ロ」「ハ」等)ごとに「課題」が設定されており、見通しを持って学習に取り組むことができるよう工夫されている。(P19、P21、P23等)</p> <p>イ 各章末に、「まとめ学習」が設定されており、章を通して学んだことの振り返りができるよう工夫されている。(P115-118、P179-182、P263-268等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各章の各項(「イ」「ロ」「ハ」等)が「課題」「本文」「考えよう」の流れで統一されている。(P19-21、P23-25、P26-27等)</p> <p>イ 学習内容に関連する文献史料や図版が掲載されており、巻末資料にも地図や美術品がまとめられている。(P127-128、P137-139、巻末資料等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 本文の内容に関連した史料や図・写真等が掲載されており、視覚的に表現することによって、わかりやすく伝わるよう工夫されている。</p> <p>イ 巻末資料の「日本美術図鑑」において、各時代の代表的な作品が大きくカラーで紹介されている。</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 「歴史小説・歴史漫画を読むときの注意」において、史実とフィクションを見極めることについて触れられている。(P460-461)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 世界平和の実現に向けた先人の取組に関する資料が掲載され、自分自身に関わる課題として捉えることができるよう工夫されている。(P368-369、P397-399、P451-453等)</p> <p>イ 日本の神話や天皇に関わる歴史が掲載され、我が国の伝統や文化に対する誇りや愛着を深めることができるよう工夫されている。(P38-39、P51、P63等)</p>

社会

(公民的分野)

教科名 社会	種目名 公民	発行者番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい社会 公民
--------	--------	---------	-------	----------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 本文中の理解させたい用語について、「もっと解説」が随所に設けられ、基礎・基本を確実に理解できるよう工夫されている。(P27、P58、P67等)</p> <p>イ 知識の定着を図るため、各章ごとに「確かめよう」が設定されている。同時に、二次元コードの活用により、クイズ形式で意欲を高めながら基礎・基本を定着させることができるよう工夫されている。(P32、P70、P122等)</p> <p>ウ 基礎的・基本的な技能の習得のために「スキルアップ」のコーナーが随所に設定されている。(P45、P83、P147等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 各章末に探究課題が設定されており、学んだことをもとに解決策を考え、自分事として考えることができるよう工夫されている。(P35、P72-73、P124-128等)</p> <p>イ 「深めよう」では、ツールミン図式等多様な思考ツールが示されていたり、既習内容を活用する課題が設定されていたりする等、思考を深められるよう工夫されている。(P34-35、P72-73、P124-125等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各章に導入の活動があり、思考ツールやクイズ等のデジタルコンテンツの活用により、意欲を高められるよう工夫されている。(P6-7、P38-39、P130-131等)</p> <p>イ 自分たちが暮らす地域にある課題を把握し、解決するための学習が設けられている。(P9、P120-121、P217-223等)</p> <p>ウ 章のまとめの「ふり返ろう」では、各節の問いを解決するような課題が設定されている。(P33、P71、P123等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 導入とまとめの活動が対応した課題が各章で設定されている。(P38-39とP70-73、P78-79とP122-125、P130-131とP176-179等)</p> <p>イ 巻頭には公民的分野で学習する内容が掲載されている。(巻頭3、P1)</p> <p>ウ 小学校での学びや他分野での学びを確認できるように、各章の冒頭に「小学校の社会で習ったことば」や地理的分野、歴史的分野との関連の記述が見られる。(P37、P77、P129等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア すべての生徒に見やすく読みまちがえにくいUDフォントが使用されるとともに、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫されている。</p> <p>イ 多様性理解の視点からパートナーシップ証明書が示されていたり、性の多様性(SOGI)の表現で示されたりする等、多様性への対応や配慮について工夫されている。(P52-53、P76)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 導入、展開、まとめといった学習の流れの中で、ワークシートやリンク集、チェック&amp;トライ等を活用することができるように、すべてのページに二次元コードが掲載されている。(P12、P58、P170等)</p> <p>イ 二次元コードの内容や種類がわかるような記述が示されている。(P12、P58、P170等)</p> <p>ウ インターネット上の問題やメディアリテラシーに関する内容のページが設定されている。(P59、P67、P87)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 終章の導入ではSDGsを理解させる活動が取り上げられ、国際社会が抱える諸課題への理解を促す工夫が見られる。(P216-218)</p> <p>イ 各章で今日的な課題について考える内容が提示されており、SDGs、環境教育、防災教育等に対して意識が高められるよう工夫されている。(P126-128、P180、P214-215)</p>

教科名 社会	種目名 公民	発行者番号 17	略称 教出	書名 中学社会 公民 ともに生きる
--------	--------	----------	-------	-------------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 必要な知識を身に付けるために、難しい用語が丸数字で示され、側注や巻末で解説されている。(P45、P57、P256-259等)</p> <p>イ 必要な技能を身に付けるために、別枠で「THINK!」という活動が設定されている。(P53、P75、P140等)</p> <p>ウ 章ごとに基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための「学習のまとめと表現」が設定されている。(P80-82、P126-128、P166-168等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 各章で意識させたい「見方・考え方」が章の導入部分で示されており、「見方・考え方」を働かした学びが行えるよう工夫されている。(P15、P41、P85等)</p> <p>イ 章末「学習のまとめと表現」では、「見方・考え方」を使って考えをまとめる方法が提示されており、「見方・考え方」を繰り返し働かせられるよう工夫されている。(P80-81、P126-127、P166-167等)</p> <p>ウ 資料等の読み取りやディベートの実施等多様な表現活動が設定されており、学習内容を深化させられるよう工夫されている。(P70-71、P112-113、P124-125等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各章に導入の活動があり、デジタルコンテンツ(語句クイズ)の活用により、学習内容の見通しが持てるよう工夫されている。(P41、P85、P131等)</p> <p>イ 章のまとめの活動に、「JUMP! 未来のためにできること」のページがあり、課題解決に向けて主体的に学べるよう工夫されている。(P82、P128、P192等)</p> <p>ウ 「持続可能な社会に向けて」では、社会の諸課題を考え、その解決に向けて協働して学べる内容(教材)が掲載されている。(P26-27、P34-35、P54-55等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 章ごとに、見通しを持って学習を進められるよう、「学習の見通し」が示されている。(P15、P41、P131等)</p> <p>イ 巻頭には、公民的分野で学習する内容が示されている。(P6-7)</p> <p>ウ 他分野や他教科との関連が確認できるよう工夫されている。(P44、P72、P132等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 見やすさや読みやすさに配慮したUDフォントの使用や、より多くの人に見やすいカラーUDの使用等工夫されている。</p> <p>イ LGBTQやハンセン病患者等、すべての人の権利が守られ、差別のない社会の実現に向けた学習活動ができるよう配慮されている。(P54-55)</p> <p>ウ 非正規労働や外国人・女性の雇用をめぐる事例から、公平な雇用環境の在り方に関心を高められるような内容が示されている。(P146-147)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 各章の導入や「公民の技」に二次元コードがあり、語句クイズや動画等を活用することができるよう、内容の種類がわかる記号とともに掲載されている。(P41、P69、P177等)</p> <p>イ 各メディアからの情報の入手と活用、AIやSNSとのつきあい方、個人情報保護の重要性等、メディアリテラシーを養うことができるよう工夫されている。(P8-11、P18-19、P94-97等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 各章に関連した今日的な課題をテーマにしたページが各章と結び付けて設定されており、諸課題への意識を高められるよう工夫されている。(P34-35、P70-71、P124-125)</p> <p>イ 地域の在り方を考える課題を示したページが多く設定されており、主権者として社会に参画しようとする意識を高められるよう工夫されている。(P32-33、P84-85、P170-171)</p> <p>ウ 各章のまとめにSDGsの目標との関係性が提示され、持続可能な社会に向けた理解を促すことができるよう工夫されている。(P82、P128、P168等)</p>

教科名 社会	種目名 公民	発行者番号 46	略称 帝国	書名 社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して
--------	--------	----------	-------	------------------------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 「解説」が随所に設けられ、基礎・基本を確実に理解できるよう工夫されている。(P5、P6、P11等)</p> <p>イ 章ごとに基礎的・基本的な知識が身に付くよう、「学習を振り返ろう」が設定されている。(P24、P70、P110等)</p> <p>ウ 必要な技能が身に付くよう、「技能をみがく」が別枠で設定されている。(P23、P65、P85等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「アクティブ公民AL」のページでは、各章の学習を生かして考察し、他者との意見交換を通して学びを深めることができる課題が設定されている。(P22-23、P42-43、P64-65等)</p> <p>イ 「学習を振り返ろう」では、章の問いに対して考察する活動が設定されており、考えを整理する方法として、図で整理したり、思考ツールで考察したりする流れが具体的に示されている。(P70-71、P110-111、P174-176)</p> <p>ウ 終章では、レポート作成の手順が見本を示しながら説明されている。(P216-223)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各章に導入の活動があり、ワークシート等のデジタルコンテンツの活用により、意欲が高まるよう工夫されている。また、各章の問いと振り返りのページが明記されている。(P2-3、P30-31、P74-75等)</p> <p>イ 「アクティブ公民AL」のページが設定され、学習課題に対して主体的に学ぶことができるよう工夫されている。(P42、P64、P98等)</p> <p>ウ 章のまとめの活動に、課題探究学習に向けて探究テーマを考えるページが設定されており、第5部の探究学習に向かいやすくなるよう工夫されている。(P26、P72、P112等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各章の問いが設定されており、見通しを持った学習ができるよう構成されている。(P76、P118、P184等)</p> <p>イ 巻頭には、小・中・高の社会科の学習のつながりが一目でわかるよう示され、特に公民的分野での学習を具体的に示すことで、見通しが持てるよう工夫されている。(巻頭7)</p> <p>ウ 他分野・他教科との関連が確認できるよう工夫されている。(P14、P50、P122等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア すべての生徒に見やすく読みまちがえにくいUDフォントが使用され、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫されている。</p> <p>イ 外国籍の子どもや性の多様性等のコラムが掲載され、多様性への対応や配慮への工夫が見られる。(P9、P49、P73等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 各章と各節の導入に二次元コードが掲載されており、用語の解説や動画のリンク集、巻末法令集、ワークシート等様々なデジタルコンテンツを活用することができるよう工夫されている。(P76、P118、P184等)</p> <p>イ 情報化の概要や社会への影響、人権保障の新しい動き、経済のデジタル化等情報化への対応や今後の社会の在り方を考えられるよう工夫されている。(P6-7、P60-61、P172-173等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 環境教育、防災教育、平和教育等テーマに合わせた特設ページが設定されており、よりよい社会に向けた意識を高められるよう工夫されている。(P27、P52-53、P73)</p> <p>イ 最終章での学習に向けて、各章末に「探究学習への準備」が設定され、SDGsの目標から振り返ることができるよう工夫されている。(P26、P72、P112等)</p>

教科名 社会	種目名 公民	発行者番号 116	略称 日文	書名 中学社会 公民的分野
--------	--------	-----------	-------	---------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 必要な知識を身に付けるために、学習を進める上で難しい語句や内容が丸数字で示され、本文外側において簡潔に説明されている。(P44、P84、P118等)</p> <p>イ 「公民+α」のコラムにおいて、学習事項を掘り下げる内容が取り上げられ、より理解を深められるよう工夫されている。(P11、P101、P133等)</p> <p>ウ 章ごとに基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための「まとめとふり返し」に「語句の意味を確認しよう」が設定されている。(P22、P36、P80等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 単元ごとに、学習課題の解決に向けて手がかりになる「見方・考え方」が示されており、思考力を高められるよう工夫されている。(P8、P10、P12等)</p> <p>イ 各章末ページに、学習した知識を活用できる課題が設定され、多面的・多角的な思考を促すことができるよう工夫されている。(P34-35、P78-79、P124-125等)</p> <p>ウ 「単元のまとめ」では、思考ツールやステップに分けた活動等が提示され、活動の流れが見やすくなるよう工夫されている。(P22-23、P36-37、P80-81等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各章に導入の活動があり、身近な生活と結び付けた漫画を基にどんな学習をするのか見通しを持つことができるよう工夫されている。(P6-7、P24-25、P38-39等)</p> <p>イ 各章末に「まとめとふり返し」があり、デジタルコンテンツにある「ポートフォリオ」を活用して単元を貫く問いに答える活動が設定されている。(P36-37、P126-127、P168-169等)</p> <p>ウ 「明日に向かって 私たちの社会参画」では、まちづくりや裁判員裁判等、社会参画の手がかりとすることができるよう工夫されている。(P110-111、P122-123、P216-217等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 「章の問い」や「節の問い」が設定され、生徒が何を学ぶのか見通しを持てるよう工夫されている。(P7、P129、P189)</p> <p>イ 巻頭には、公民的分野で学習する内容と地理・歴史的分野の学習について記述され、地歴公のつながりが感じられるよう工夫されている。(巻頭3)</p> <p>ウ 各章の導入では、小学校で学習した内容が示されるとともに、導入の活動が設定されている。(P7、P83、P129等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア カラーUD が取り入れられ、グラフを正しく読み取ることができるよう工夫されている。(P93、P113、P181等)</p> <p>イ 「まちのバリアフリーを探そう」では、実際に点字が印刷されており、生徒の関心を高めることができるよう工夫されている。(P56-57)</p> <p>ウ 性の多様性や合理的配慮等についての記述があり、多様性への対応や配慮についての記述がみられる。(P54-55、P158-159、P160-161等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードが掲載され、動画や小テスト等学習への理解を深めたり、学習した内容をポートフォリオとして蓄積したりできるよう工夫されている。</p> <p>イ AI、情報リテラシー等生徒とも関わりが深い情報化に関わる教材が提示され、情報化社会の課題を学ぶことができるよう工夫されている。(P10-11、P64-65、P67等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 社会参画を促す特設ページが設定され、地域の課題を考えたり、自己分析により将来の職業選択について考えたりできるよう工夫されている。(P16-17、P122-123、P160-161等)</p> <p>イ 政治参加の在り方について多面的・多角的に考えることができる問いが提示され、主権者教育に関する工夫が見られる。(P91、P124-125、P184-185)</p> <p>ウ SDGs に関連するまとめのページが設定され、環境問題のページと関連させて学ぶことができるよう工夫されている。(P212-219)</p>

教科名 社会	種目名 公民	発行者番号 225	略称 自由社	書名 新しい公民教科書
--------	--------	-----------	--------	-------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 必要な知識を身に付けるために、難しい用語が数字で示され、具体的に説明されている。(P66、P92、P140等)</p> <p>イ 一単元の時間の学習を整理しやすいように、「ここがポイント」と別枠で提示され、説明されている。(P39、P59、P67等)</p> <p>ウ 章ごとの「学習のまとめ」において、基礎的・基本的な知識が身に付くよう工夫されている。(P64、P120、P164等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 学習内容への理解を深めるために、自分の文章で学習内容をまとめる「アクティブに深めよう」のページが設定されている。(P40-41、P52-53、P160-161等)</p> <p>イ 終章では、ディベート等話し合いの方法が示されたり、議論を行う課題が設定されたりする等、対話的な学びを促すことができるよう工夫されている。(P218-223)</p> <p>ウ 「学習のまとめと発展」では、「学習のまとめ」で整理した知識を基に「学習の発展」で文章化できるよう工夫されている。(P22、P42、P64等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 「アクティブに深めよう」のページがあり、まちづくりや主権者教育について主体的に学ぶことができるよう工夫されている。(P40、P52、P94等)</p> <p>イ 各章末に「学習のまとめと発展」が設置され、主体的に学び、自ら考え、答えていく学習ができるよう工夫されている。(P22、P42、P64等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各章のはじめに考える視点が示され、一単元時間ごとに課題が設定されている。(P23、P43、P65等)</p> <p>イ 巻頭で公民的分野を学ぶ目的や各単元のまとめの取り組み方等が提示されている。(巻頭viii、ix)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア カラーUD が取り入れられており、図やグラフを正しく読み取ることができるよう工夫されている。(P91、P114、P147等)</p> <p>イ 図やグラフの文字が大きく、小さな文字が読み取りにくい生徒への配慮がみられる。(P11、P97、P105等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 情報社会の中で必要な情報リテラシーや情報セキュリティに関する内容のページが設定されている。(P4-5)</p> <p>イ 「報道と真実」というコラムを用いて、メディアリテラシーの大切さについて学習できるよう工夫されている。(P92-93)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 「環境」「人権」「国際・領土」「防災」等に関する問題を扱った特設ページ「もっと知りたい」が設定されており、今日的な課題について思考を促すことができるよう工夫されている。(P14-21、P78-79、P84-85等)</p> <p>イ 「ミニ知識」には今日的な課題を取り扱ったものもあり、課題に気付かせられるよう工夫されている。(P93、P185、P204-205等)</p>

教科名 社会	種目名 公民	発行者番号 227	略称 育鵬社	書名 新しいみんなの公民
--------	--------	-----------	--------	--------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 必要な知識を身に付けるために、基礎的・基本的な内容を確認する「確認」が設定されている。(P65、P113、P179等)</p> <p>イ 各章のはじまりのページに、小学校での学習事項が示されており、振り返りながら中学校の学習に入ることができるよう工夫されている。(P9、P37、P77等)</p> <p>ウ 章ごとに基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための「学習のまとめ」が設定されている。(P36、P116、P170等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 章ごとの学習課題を意識させるために、各章の冒頭に課題と学び方、学ぶ理由等が提示される等、学習意欲を高められるよう工夫されている。(P10-11、P38-39、P78-79等)</p> <p>イ 「やってみよう」が設けられ、学習に関連して個人や班で学習に取り組むことができるよう工夫されている。(P30、P103、P121等)</p> <p>ウ コラムが随所に掲載されていたり、多面的・多角的に考える視点や、話し合い活動を促進する問いが提示されていたりする等発展的に学習に取り組めるよう工夫されている。(P72-73、P148-149、P188-189等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各章の導入部分では、「〇〇の入り口」として学習内容への興味・関心を促すことができるよう工夫されている。(P10、P38、P78等)</p> <p>イ 各章のまとめでは、「〇〇のこれから」として、学習内容をもとに課題解決に向けてグループで議論できるよう工夫されている。(P34、P74、P168等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 巻頭には公民的分野と地理的分野、歴史的分野の概念図が掲載され、なぜ公民を学ぶのかについて詳細に示されている。(巻頭③-P1)</p> <p>イ 見通しを持って学習するために、「節の課題」と本時の「課題」が提示されている。(P40、P56、P144等)</p> <p>ウ 社会科の他分野との関連が確認できるよう工夫されている。(P60、P108、P136等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア カラーUD が取り入れられ、グラフを正しく読み取ることができるよう工夫されている。(P18、P78、P158等)</p> <p>イ 重要語句は太ゴシックが、ルビはゴシック体が用いられ、小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮されている。</p> <p>ウ 男女の本質的平等に基づき、男女が互いに尊重し、助け合うことの重要性が理解できるような資料や事例が紹介されている。(P58-59、P70、P140-141)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 各章のはじめに二次元コードがあり、学習内容に関連するウェブサイトのリンクが掲載されている。(P9、P37、P77等)</p> <p>イ ICT を活用した防災や減災について掲載されている。また、フェイクニュース等情報の適切な活用についても触れられている。(P16-17、P86)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 国や地域の課題についてのコラムが掲載され、多面的・多角的に考察できるよう工夫されている。(P62-63、P142-143、P148-149等)</p> <p>イ 日本固有の領土に関する記述が示され、地理的分野、歴史的分野の学習成果を踏まえて思考できるよう工夫されている。(P186、P192-193)</p> <p>ウ 自分の未来を考える教材として「人生モノサシ」が設定され、視覚的に捉えやすくなるよう工夫されている。(P166-167)</p>

# 地图

教科名 社会	種目名 地図	発行者番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい社会 地図
--------	--------	---------	-------	----------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 地域の外観を比較しながら地理的な知識を習得するために、世界や日本の各地域の自然・人口・産業などの主題図が共通して掲載されている。(P23-24、P39-40、P73-74等)</p> <p>イ 巻頭で地図帳の活用方法が示されており、地図活用の技能を習得するための説明が示されている。(P5-7)</p> <p>ウ 資料を読み取る力や活用する力を高めるために「Bee's eye」コーナーが設定されている。(P9、P24、P90等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 資料を読み深めたり、発展的な学びにつなげたりするため、「Bee's eye」の3種の地図キャラクターにより、「1枚の図を見て取り組む問い」「複数の図を組み合わせる問い」「図をもとに調べたり考えたりする問い」といった質の異なる問いが提示されている。(P28、P60、P110等)</p> <p>イ 様々なテーマの主題図を示すことにより、地域的特色が捉えやすくなるよう工夫されている。(P55-56、P100-102、P145-146等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 「Bee's eye」では、社会の課題にどう取り組むべきかという課題が設定され、自分事として主体的に取り組めるよう工夫されている。(P8、P148、P154等)</p> <p>イ 関連資料の参照ページ「ジャンプ」によって、複数の資料を関連させて考え、より学びを広げ深めることができるよう工夫されている。(P28、P48、P116等)</p> <p>ウ 探究学習における課題設定や情報収集、整理、表現、発信の仕方をサポートするために、二次元コードのコンテンツが準備されている。</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 一貫性を持って学習に取り組めるよう、各州・地方の資料が、「一般図」→「各地域共通資料」→「各地域独自資料」の流れで構成されている。(P33-40、P45-48、P69-74等)</p> <p>イ 地理的分野だけでなく、歴史的分野や公民的分野でも幅広く活用できる資料が掲載されている。(P13-14、P93-94、P107-108等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 文字を読みやすく、視認性を高めるためにUDフォントやカラーUDを取り入れている。</p> <p>イ 漢字を正しく読めるよう地名に振り仮名がつけられている。</p> <p>ウ 多種多様な農産物や工業製品などを表す記号を掲載することで、一目でわかりやすく、興味・関心を高められるよう工夫されている。(P4)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 資料活用能力を高めるため、「デジタル地球儀」「デジタル地図」「統計」など、多様なコンテンツが活用できるよう工夫されている。(P7)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア SDGsをテーマにしたページを設け、17のゴールの一覧を掲載するとともに、関連する写真によって、生徒の興味・関心を高められるよう工夫されている。(P8)</p> <p>イ 防災教育の視点から、東日本大震災をはじめとする様々な自然災害の被害の資料だけでなく、復興が読み取れる資料やハザードマップ、浸水推定図など多様な資料が取り上げられている。(P9、P118、P135-136等)</p>

教科名 社会	種目名 地図	発行者番号 46	略称 帝国	書名 中学校社会科地図
--------	--------	----------	-------	-------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できるよう、地図帳の基本的な使い方や見方が巻頭で示されている。(P5-7)</p> <p>イ 一般図、鳥瞰図、主題図の見方や地図を見るポイント等の解説や資料を見ることができ二次元コードが付されている。(P47、P93、P109等)</p> <p>ウ 自然環境や文化、産業などのイラストを配した鳥瞰図があり、地域的特色を視覚的に捉え、大観できるよう工夫されている。(P29-30、P72、P93-94等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 地図の読み取りや活用の技能の習得や、社会的な見方・考え方を働かせた学習に活用できるよう「地図で発見！」が掲載されている。(P49、P104、P164等)</p> <p>イ 地域的特色を考察するページでは、タイトルの横に「主題学習」が設けられており、テーマを追究する際の着眼点が示されている。(P9-14、P19-22、P155-174等)</p> <p>ウ 視点が異なる主題図の縮尺を統一するなど、比較や考察ができるよう工夫されている。(P31-32、P47-48、P152等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 「地図で発見！」の中には、他の生徒との対話や発表をしたり、調べたり考えたりするような課題が提示されている。(P13、P159、P196等)</p> <p>イ 様々な写真や図、イラストを掲載することにより、生徒が主体的に学習したり、発展的な学習をしたりする際の視点が示されている。(P19-20、P140、P161-162等)</p> <p>ウ 授業以外でも家庭学習や個別学習で自主的に学びを広げられるコンテンツが準備されている。</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 3分野で活用できるよう、「地図で発見！」の中に歴史的分野と公民的分野の学習に関連付けながら学びを深める問いが設定されている。(P57-58、P85、P134等)</p> <p>イ 歴史や公民での学習に活用できる各分野のアイコンや、小学校での地図学習との関連を表すアイコンが掲載されている。(P9、P92、P196等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア UD フォントやカラーUDを導入し、誰もが見やすいよう配慮されている。</p> <p>イ 国際化や英語科との関連を踏まえ、国名や首都名に欧米表記が併記されている。(P41-42、P51-52、P71等)</p> <p>ウ 歴史や文化、観光などに関する主題図には、わかりやすい表現として絵記号が掲載されている。(P65-66、P109-110、P135-136等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 地図帳を補完する資料が収録されている二次元コードによるコンテンツが用意され、基礎的な学習だけでなく、発展的な学習にも活用でき、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。(P45、P49、P61等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 「鳥取砂丘」の主題図が紹介されており、砂丘のつくられ方と様々な利用について学習でき、ふるさとキャリア教育の視点で学びを深めることができる。(P102)</p> <p>イ SDGs に関係が深い資料には、アイコンを付すことにより学習をサポートできるよう工夫されている。(P8-14、P39、P159-162等)</p> <p>ウ 日本の各地方の主題図の中に、「防災」をテーマとする資料が取り上げられており、自然災害、防災への意識が高められるよう工夫されている。(P92、P140、P142等)</p>

# 数学

教科名 数学	種目名 数学	発行者番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい数学 ～MATH CONNECT 数学のつながり～
--------	--------	---------	-------	---------------------------------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 基礎的・基本的な知識及び技能が確実に習得できるよう、「♡マーク」がついた問題を掲載し、個別に対応できる問題構成になっている。(1年P32、2年P21、3年P17等)</p> <p>イ 生徒のつまずきに対応した指導が適切に行えるよう、「まちがい例」では典型的な誤答例を取り上げ、誤りを指摘して正しく直すことで、同じ誤りを繰り返しにくくなるよう工夫されている。(1年P51、2年P20、3年P22等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 日常生活や社会の事象から問題を見だし解決する活動では、数学化や活用・意味付けに当たる発問を設定し、数学的な見方・考え方が働く深い学びが実現できるよう構成されている。(1年P57-58、2年P107-109、3年P33-34等)</p> <p>イ 「章の問題B」では、全国学力・学習状況調査等に対応した「活用の問題」を取り上げ、記述式問題に取り組めるよう設定されている。(1年P90、2年P123、3年P126等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 「数学×仕事」において、実社会や他教科の学習と結びついた題材を取り上げ、数学の学びが将来につながることを実感できるよう工夫されている。(1年P186-187、2年P90-91、3年P162-163等)</p> <p>イ 「学びをふり返ろう」「大切にしたい見方・考え方」「数学の目でふり返ろう」など学習を振り返る機会を設け、それを生活や学習に積極的に活用しようとする態度が養われるよう配慮されている。(1年P123、2年P109、3年P226-227等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 一般から特殊の流れを大切にして、学習内容の系統性を重視する工夫がされている。(1年P29-55、3年P18-31、3年P74-82等)</p> <p>イ 「章の問題」は標準的な問題「A」と応用的な問題「B」の2段階で構成されており、習熟度に応じた扱いが可能となっている。(1年P60-62、2年P32-34、3年P38-40等)</p> <p>ウ 身近な題材や現代的な諸課題に関わる題材を取り上げることによって、生徒の課題意識を高めるとともに、教科等横断的な授業づくりにつながるよう工夫されている。(1年P28、2年P56、3年P126等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 学びやすい紙面とするため、右側を余白とした側注形式とする工夫がなされ、多色の使用を避け、全体の基調が統一されるよう配慮されている。</p> <p>イ 「章とびら」では、日常生活や数学の事象を1コマのイラストで提示し、学習への興味・関心を高められるよう工夫されている。(1年P91、2年P161、3年P167等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 日常生活や社会に関する問題を、データを用いる活動を通して、問題解決できるよう工夫されている。(1年P234-238、2年P186-187、3年P217-219等)</p> <p>イ デジタルコンテンツを活用して、図形を動的に捉えるなどして学習意欲を高め、理解を深められるよう工夫されている。(1年P57-58、2年P49-50、3年P63-65等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 教科書全体で現代的な諸課題である「環境」「福祉」「防災・安全」「伝統・文化の尊重」「人権・多様性の尊重」に関わる題材が取り上げられている。(1年P156、2年P94、3年P67等)</p> <p>イ 「データの活用」領域では、データの傾向を読み取り、批判的に考察する活動の時間が確保されるよう配慮されている。(1年P239-240、2年P185-187、3年P221等)</p>

教科名 数学	種目名 数学	発行者番号 4	略称 大日本	書名 数学の世界
--------	--------	---------	--------	----------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 学習したことと同じように取り組む「たしかめ」や「Q」を補充する「プラス・ワン」、節末の「たしかめよう」など繰り返し学ぶ機会が設けられている。(1年P25、2年P17、3年P25等)</p> <p>イ 「活動」においては、数学的な表現を用いて互いの考えを伝え、理解し合う活動などが設定されている。(1年P15、2年P27、3年P24等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 各章の「利用」のページでは、課題解決の方法に見通しを持ち、論理的に考えられるよう、問題発見・問題解決の流れに沿って取り組む課題が設けられている。(1年P59-60、2年P29-30、3年P36-37等)</p> <p>イ 「Q判断しよう」や「Q伝えよう」を設け、学習した内容を基に判断したり、数学の用語や図などを使って考えを伝えたりすることで、数学的な判断力・表現力を育むことができるよう工夫されている。(1年P30、2年P17、3年P64等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各章の「活動」では、複数の生徒の考え方が提示され、それを読み取って比べることを通して多様な考えを認め、よりよく解決しようとする態度を養えるよう構成されている。(1年P31、2年P106、3年P14等)</p> <p>イ 各学年巻頭のメッセージでは、論理的な考え方に触れ、生徒が数学を学ぶことの楽しさや数学のよさを感じるきっかけとなるよう工夫されている。(各学年口絵)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 本文に「プラス・ワン」、章末に「力をのばそう」「活用・探究」等が示され、生徒一人一人が自主的、自発的に学べるよう配慮され、個別最適な学びが充実するよう工夫されている。(1年P110、2年P107、3年P41-42等)</p> <p>イ 導入課題「考えよう」では、既習内容の確認を重視し、新たな学習内容とのつながりが示されている。また、側注の「思い出そう」を使用して既習事項を振り返ったり、確認したりできるよう工夫されている。(1年P24、2年P14、3年P64等)</p> <p>ウ 「平面の図形」では、「円と直線」「円とおうぎ形」「図形と作図」「図形の移動」の順に構成されている。(1年P172-196)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア UDフォントの使用、カラーUDを踏まえた配色の工夫等、すべての生徒が読みやすいものとなるよう配慮されている。</p> <p>イ 教科書全体に登場する生徒のイラストや写真に、外国にルーツがある人物を含め、異文化理解が促されるよう配慮されている。(1年P13、2年P12、3年P45等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 「ウェブマーク」のついた課題には、学習の理解を深めるためのシミュレーション、動画、資料等のコンテンツが用意されている。(1年P49、2年P39、3年P77等)</p> <p>イ 「データの活用」領域では、実際のデータが多く用いられ、実生活においてデータの活用が役立つことが紹介されている。(1年P250、2年P176、3年P234等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 数学の学習を通してSDGsについて考えられるよう、SDGsと関連した題材が提示されている。(1年P273、2年P60、3年P175等)</p> <p>イ 各領域に設けられたコラム「社会にリンク」では、様々な職業の人物が、自らの職業や社会生活と数学との関連を語るメッセージが掲載され、数学が社会で生かされていることを実感できるよう工夫されている。(1年P65、2年P39、3年P77等)</p>

教科名 数学	種目名 数学	発行者番号 11	略称 学図	書名 中学校 数学
--------	--------	----------	-------	-----------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	ア 「例」では、解法や解答を示すだけでなく、基になる概念や原理・法則が理解できるよう、重要な考え方を「考え方」として明記するとともに、側注で端的に示されている。(1年P116、2年P160、3年P93等) イ すべての節に「確かめよう」のページが設定され、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できているかどうかを確認し、定着を図ることができるよう構成されている。(1年P18、2年P22、3年P30等)
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	ア 章末に「深めよう」のページを設定し、身のまわりの事象について、数学を活用して考えたり判断したりする態度を育てられるよう工夫されている。(1年P64、2年P67、3年P239等) イ 「説明する力をつけよう」では、問題解決の方法を、他者に正確に伝えるためにはどのようにしたらよいか対話を通して考え、簡潔・明瞭・的確に表現する力が高められるよう構成されている。(1年P252、2年P192-193、3年P191-192等)
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	ア 章末の「できるようになったこと」「さらに学んでみたいこと」では、生徒自ら振り返りを行い、もっと学んでみたいという意欲を引き出せるよう構成されている。(1年P60、2年P33、3年P38等) イ 「今の自分を知ろう」では、パフォーマンス課題及びパフォーマンス評価の手法を取り入れ、個に応じた評価ができる場面を設けるとともに、自己評価もできるよう工夫されている。(1年P278-281、2年P220-223、3年P262-265)
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	ア 各章とも身のまわりから問題を発見し、問題を解決していく中で新しい問題を発見していくという学習の流れになっており、学びの連続性が図られている。(1年P10-11、2年P10-11、3年P10-11等) イ 「Q」に数学的な見方・考え方の例を会話表現で表し、問題解決に向けて見通しを立てることができるよう工夫されている。(1年P13、2年P12、3年P14等) ウ 各領域の前に「ふりかえり」のページが設定され、本文中にも適宜示されるなど既習事項がその都度確認できるよう構成されている。(1年P8、2年P59、3年P12等)
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	ア 写真、イラスト、図版、本文の記述など、すべてにおいてカラーUDとなるよう配慮されている。 イ 教科書の上で作業する際の、作図や書き込みのしやすさを踏まえ、できる限り図をページの外側に配置するよう構成されている。(1年P144、2年P94、3年P107等)
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	ア 二次元コードで「パトロール隊」「チャレンジ」「ふりかえり」を配置し、基礎的・基本的な知識及び技能が確実に習得できるよう工夫されている。(1年P48-49、2年P16、3年P24等) イ 「データの活用」「データの分布」「標本調査」の学習では、情報処理が効果的にできるよう、表計算ソフトの使い方が掲載されている。(1年P273-274、2年P216、3年P257)
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	ア 「関連する職業・仕事」が一目でわかるように示されており、興味があるものを生徒自ら調べることで、より学習が深められるよう工夫されている。(1年P63、2年P105、3年P235等) イ 巻末の「表現する力を身につけよう」では、発表の仕方や聞き方について考えることを通して、相手の立場を尊重する態度を養い、道徳的判断力が育成できるよう配慮されている。(1年P282-285、2年P224-227、3年P266-269)

教科名 数学	種目名 数学	発行者番号 17	略称 教出	書名 中学数学
--------	--------	----------	-------	---------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 「例」や「例題」と「問」の間に、類似した問題「たしかめ」を設け、スモールステップで学習が進められるよう構成されている。(1年P18、2年P18、3年P17等)</p> <p>イ 定理や作図のまとめを、図を用いた表現と、動画を用いた動的な表現を組み合わせることで確実に理解することができるよう工夫されている。(1年P186、2年P120、3年P155等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「みんなに説明しよう」では、生徒の誤った考え方を意図的に取り上げ、その誤りを論理的に説明する力が身に付けられるよう場面設定されている。(1年P91、2年P23、3年P18等)</p> <p>イ 「工夫してノートを書こう」では、これまでの学習を振り返ってまとめたノート例や学習者用端末の活用例を示すことで、数学的な思考力や表現力を高められるよう構成されている。(1年P68-69、2年P42-43、3年P46-47等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 実社会や日常生活、先端テクノロジーなどの数学に関わる話題を取り上げ、「LINK!!」でつながりを持たせることで数学を学ぶ必要性を感じられるよう工夫されている。(1年P13とP22、2年P13とP41、3年P13とP41等)</p> <p>イ 「学びのマップ」では、関連する既習内容を振り返って確認したり、「補充問題」で繰り返し練習に取り組んだりして学び直す機会が充実するよう構成されている。(1年P288-311、2年P233-258、3年P264-289)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 章の冒頭では、関連する既習内容を確認し、学習にスムーズに入ることができるよう工夫されている。(1年P12、2年P12、3年P12等)</p> <p>イ 既習の学習で働かせた数学的な見方・考え方のよさを示すことで、学年を超えて系統的にそのよさを感得できるよう構成されている。(各学年P6-9)</p> <p>ウ 「数学の広場」では、数学と他教科や実社会との関連を意識しながら学習できるよう、取り上げる題材が工夫されている。(1年P172-173、2年P99、3年P254-255等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 色分けなどを用いて図説する場合は、色を変えるのではなく、色の濃度に差をつけたり形状を変えたりするなど色が判別できなくても学習に支障をきたすことがないよう配慮されている。(1年P59、2年P161、3年P57等)</p> <p>イ 章の導入などでは、挿し絵や写真を効果的に用いて、ポイントがわかりやすく伝わるよう工夫されている。(1年P23、2年P13、3年P139等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードからリンクしたデジタルコンテンツ「まなびリンク」が設けられ、学習の目的に応じて活用できるよう設定されている。(1年P11、2年P11、3年P11等)</p> <p>イ 「データの活用」の学習では、「統計ツール」を活用しながら実験や操作などを通して概念が形成できるよう工夫されている。(1年P253、2年P213、3年P239-241等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 教科書全体を通して「ESD・SDGs」「防災・安全」に関わる題材が取り上げられており、生徒の課題意識を高められるよう配慮されている。(1年P171、2年P63、3年P252-253等)</p> <p>イ 職業及び生活との関連を重視し、「数学しごと人」では有識者の経験談やアドバイス等を示すことで、数学がより身近に実感できるよう工夫されている。(1年P106-107、2年P146-147、3年P180-181等)</p>

教科名 数学	種目名 数学	発行者番号 61	略称 啓林館	書名 未来へひろがる数学
--------	--------	----------	--------	--------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 基礎・基本の確実な定着を図るため、スモールステップの展開にしたり、計算や式の変形等を丁寧に示したりするなど工夫されている。(1年P68、2年P40、3年P32等)</p> <p>イ 章末問題「学びをたしかめよう」では、その章で学習した内容のうち、基本的な内容を精選し、「学びを身につけよう」では基本的な内容から応用力を問うものまで取り上げられている。(1年P84-87、2年P56-59、3年P64-67等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」では、自分の考えを整理し、まとめて伝えたり、他者と自分の考えを比較して考えたりする場面が設けられている。(1年P73、2年P78、3年P117等)</p> <p>イ 「〇〇の利用」の節の「ステップ方式」の課題では、数学を使って問題を解決した後に、その結果を振り返って考えたり、発展的に考えたりする場面が「ステップ3」として用意され、そのきっかけとなる気付きが「深める例」として示されている。(1年P83、2年P50-51、3年P31-32等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 数学的活動を通して主体的に学習を進められるよう、日常の事象や既習内容を基にした導入課題を節の先頭に設定するとともに、その節の学習の目標も示されている。(1年P58-59、2年P12-13、3年P30等)</p> <p>イ 「〇章のあしあと」では、その章の学習でわかったこと、できるようになったことを振り返って評価し、今後の学習における改善点にも意識が向けられるよう工夫されている。(1年P55、2年P33、3年P37等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 学習内容と関連する既習の内容を「ふりかえり」で示し、適宜学び直しをしながら新しい学習ができるよう構成されている。(1年P52、2年P15、3年P45等)</p> <p>イ 2年の「図形」領域では、論証の意義や証明のしくみが理解できるよう内容の配列が工夫されている。(2年P118-122、2年P130-131)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア UDフォントを使用し、文字の大きさ、字間、行間、改行についても読みやすいよう工夫され、カラーUDを使用し、見分けることが困難な配色を避けるなど配慮されている。</p> <p>イ 「リサイクル」「時差(ことばの壁がない世界へ)」「社会福祉体験」等の題材を取り上げ、多様性や思いやりを尊重する態度が養えるよう工夫されている。(1年P139-141、1年P268-269、2年P36-39等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 問題場面の状況をわかりやすくするための動画、条件を保って図形を変形させ、性質を発見するシミュレーション等ができるよう工夫されている。(1年P52、2年P12、3年P30等)</p> <p>イ 「問」には「補充問題」をデジタルコンテンツで用意し、同じレベルの問題に繰り返し取り組めるよう設定されている。(1年P67、2年P18、3年P137等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 日本各地の「日本一」を紹介したり、「さっさ立て」「曲尺」などの題材を取り扱ったりすることで、郷土を愛し、日本の伝統文化のよさが感じられるよう工夫されている。(1年P12-13、2年P59、3年P262-263等)</p> <p>イ 「食品ロス」「気候変動」「リサイクル」「身体活動量」「災害対策」等の題材を「SDGsマーク」を添えて設定し、自然環境の保全や持続可能な社会について考えることができるよう配慮されている。(1年P272-273、2年P214-217、3年P268-269等)</p>

教科名 数学	種目名 数学	発行者番号 104	略称 数研	書名 これからの 数学
--------	--------	-----------	-------	-------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 基礎・基本の定着に向けて学習内容が丁寧に記述されており、特に反復が必要と考えられる項目の後には、繰り返し練習するための「練習問題」が設けられている。(1年P31、2年P26、3年P23等)</p> <p>イ 数式で表現したり、数式を読み取ったりする機会を設け、数学的に考察し表現する能力の習熟が図れるよう工夫されている。(1年P87、2年P32、3年P37等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 通常の「問」の中に思考力、判断力、表現力等を必要とする問題を適宜配置することで、確かな理解と活用する力が深まるよう構成されている。(1年P56、2年P124、3年P169等)</p> <p>イ 全体を通して対話的な学びを前提とした構成になっており、見いだした事柄・方法・理由を説明する問いかけが設けられている。(1年P41、2年P122、3年P238等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 解決過程を評価・改善しようとする意識が高まるよう、多様な方法で取り組むことができる課題や、既習の解法ではうまくいかなくなるような課題が設定されている。(1年P116、2年P84、3年P36等)</p> <p>イ キャラクターの対話の内容をきっかけにして、批判的な考察ができるよう工夫されている。(1年P65、2年P15、3年P118等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 算数と関連する内容を振り返りながら学びを進められるよう配慮されている。(1年P31、1年P292-299、2年P118等)</p> <p>イ 生徒の理解度に応じて問題を取捨選択でき、習熟度別の編成を行う場合においても活用しやすくなるよう構成されている。(1年P186-188、2年P68-70、3年P77-79)</p> <p>ウ 同じ教材を続けて用いることで、学ぶ内容がつながり、理解が深まるよう工夫されている。(1年P170-171、1年P175、2年P48-54等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 全体的にUDフォント、カラーUDが使われており、鮮明で見分けやすい色使いになるよう配慮されている。</p> <p>イ 誰にとってもわかりやすいノート作りができるよう、注意点等について本文の中で「Note」として具体的に説明されている。(1年P62、2年P51、3年P87等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 「関数」「図形」「データの活用」の各領域において、生徒が実際に操作しながら考察することができるデジタルコンテンツが紹介されている。(1年P239、2年P80、3年P168等)</p> <p>イ 「PPDACサイクル」や「レポートの書き方」に関連して、インターネットを使用する時の注意点について示されている。(1年P256、2年P38、3年P104)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア SDGsに掲げられた種々の目標について、数学の学習と関連付けながら意識させられる内容が取り扱われている。(1年P148、2年P108、3年P256等)</p> <p>イ 教科の枠を超えた学びを通して、豊かな人間育成を見据え、防災・減災教育や道徳教育、主権者教育にも配慮されている。(1年P153、2年P82、3年P264等)</p>

教科名 数学	種目名 数学	発行者番号 116	略称 日文	書名 中学数学
--------	--------	-----------	-------	---------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア タイトルのついた「例」が細かなステップで展開されており、基礎的・基本的な内容を理解し、復習しやすくなるよう工夫されている。(1年P98-99、2年P14-15、3年P144-145等)</p> <p>イ 数学的活動を通じた学習により、事象を数学化したり、数学的に解釈及び表現・処理したりする技能が身に付けられるよう構成されている。(1年P52-53、2年P32-33、3年P155等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 数量や図形などの性質を見だし、統合的・発展的に考察する数学的活動の場面として、「深めよう」が適宜設けられている。(1年P102、2年P43、3年P37等)</p> <p>イ 事柄や事実、方法、理由などを数学的な表現を用いて説明する問題が「説明できるかな?」として出題され、数学的な言語活動や表現に関する内容が扱われている。(1年P55、2年P87、3年P76等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 主体的に学習に取り組む態度が生徒や保護者にも伝わるように、その具体例が示されている。(各学年P6-7)</p> <p>イ 各章に「学びに向かう力を育てよう」が設けられ、その一部には巻末に「ふり返しシート」が用意されている。(1年P86とP303、2年P23とP245、3年P35とP281等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 原則1時間の授業で扱う内容が小節として構成されている。(1年P14-15、2年P40-41、3年P92-93等)</p> <p>イ 「数学研究室」では、個や学級の実態に応じて柔軟に扱う問題や課題が用意されており、個別最適な学びに配慮されている。(1年P252-259、2年P206-213、3年P220-229等)</p> <p>ウ 小節末の「やってみよう」は、省略したり後から扱ったりすることも可能な内容であり、弾力的な指導計画を立てることができるよう配慮されている。(1年P199、2年P108、3年P183等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア カラーUDに配慮した区別しやすい色を使用するとともに、色だけで情報を伝えないように線の種類を変える等工夫されている。(1年P233、2年P203、3年P112等)</p> <p>イ 書き込みをする方眼などの図を、定規をあてにくい本の内側ではなく外側にレイアウトすることで取り組みやすくなるよう配慮されている。(1年P130、2年P82、3年P170等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア デジタルコンテンツのアニメーションは再生速度を4段階で選べ、見直しやすく設定することで個別最適な学びにつながるよう工夫されている。(1年P10、2年P10、3年P10等)</p> <p>イ 各学年に「プログラムと数学」を設け、プログラミング的思考を身に付けることができるよう構成されている。(1年P260-261、2年P214-215、3年P230-231)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 国際社会への理解が深まる内容が扱われ、数学が国内外の数学者の努力によって発展してきたことが理解できる内容が取り上げられている。(1年P184、2年P143、3年P228-229等)</p> <p>イ キャリア教育をテーマとしたコラム「数学を仕事に生かす」を設け、社会で働く人々や日常生活の場面と数学との関連が取り上げられている。(1年P250-251、2年P204-205、3年P218-219)</p>

理科

教科名 理科	種目名 理科	発行者番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい科学
--------	--------	---------	-------	-------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 「例題」「練習」を設定したり、「考え方」で解説を示したりすることで、基礎・基本が押さえられるよう工夫されている。(1年P113、2年P174、3年P149等)</p> <p>イ 公式や重要事項には、「ここがポイント」を設けることで理解を深められるよう工夫されている。(1年P146、2年P173、3年P147等)</p> <p>ウ 章末「学んだことをチェックしよう」、単元末「学習内容の整理」「確かめ問題」により、各章・単元の学習内容を復習することができるよう工夫されている。(1年P181-185、2年P283-287、3年P65-69等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 実験後の「分析解釈」「検討改善」「ふり返り」「活用」の方法を具体的に示すことで、科学的な思考力・判断力・表現力が育成できるよう工夫されている。(1年P88-89、2年P264-266、3年P158-159等)</p> <p>イ 「じっくり探究」を設定し、生徒の対話例や理科の見方・考え方を示すことで、探究の進め方を意識しながら学習できるよう工夫されている。(1年P84-89、2年P128-133、3年P154-159等)</p> <p>ウ 単元の最後に「活用問題」が設定され、様々な課題に対応する力を養うことができるよう工夫されている。(1年P68、2年P164、3年P70等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各章・単元の学習前後で二次元コードの「Before &amp; After」で、生徒が自分の考えの変容や成長を感じられることができるよう工夫されている。(1年P27とP44、2年P87とP161、3年P11とP28等)</p> <p>イ 各節の導入「問題発見 レッツスタート！」で課題に気付き、目的意識を持った主体的な学習が進められるよう工夫されている。(1年P74、2年P56、3年P16等)</p> <p>ウ 巻頭の「科学の本だな」では、自発的に発展的な学習に取り組むことができるよう、学習内容に関連した書籍が紹介されている。(1年P5、2年P5、3年P3)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 単元のはじめに、「プロローグ」や「この単元で学ぶこと」が示されており、単元の全体像が視覚的に理解できるよう工夫されている。(1年P190-192、2年P168-170、3年P190-191等)</p> <p>イ 「〇〇で学ぶこと」として他教科との関連の深い内容を示し、より深い理解につながるよう工夫されている。(1年P62、2年P218、3年P272等)</p> <p>ウ 「まちなか科学」「歴史にアクセス」「なるほどね！」等、学習内容と関連がある資料が掲載されており、興味・関心を高められるよう工夫されている。(1年P79、2年P29、3年P33等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 単元末にある「学習内容の整理」ではすべての漢字にルビが振られている。(1年P132-133、2年P160-161、3年P66-67等)</p> <p>イ 海外にルーツのある人や車いすの人が登場し、多様性に配慮されている。また、男女のバランスも均等になるよう配慮されている。(1年P72、2年P168-169、3年P19等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードで読み取って使うデジタル教材には、動画だけでなく思考ツールやシミュレーションなど、様々なコンテンツが用意されている。(1年P23、2年P43、3年P261等)</p> <p>イ 教科書に記載されている二次元コードすべてに見出しがついており、生徒が目的に合った使い方ができるよう工夫されている。(1年P15、2年P17、3年P11等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 「お仕事図鑑」では、様々な職業と学習内容が関連付けて取り上げられ、生徒の意識が職業に向かうよう配慮されている。(1年P26、2年P29、3年P153等)</p> <p>イ 「私たちのSDGs」では、生徒の興味を引くタイトルとともに環境に関する話題が取り上げられている。(1年P31、2年P113、3年P262等)</p>

教科名 理科	種目名 理科	発行者番号 4	略称 大日本	書名 理科の世界
--------	--------	---------	--------	----------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 「ことば」では理科用語を漢字や英単語の意味と関連付けて覚えることができるよう工夫されている。(1年P37、2年P208、3年P114等)</p> <p>イ 観察・実験では、操作のポイントを「コツ」で示し、基本的な技能が身に付けられるよう配慮されている。(1年P21、2年P47、3年P12等)</p> <p>ウ 「例題」で説明したり、学習の定着を図りたい所に「演習」を掲載したりすることで、理解を深めることができるよう工夫されている。(1年P91、2年P36、3年P57等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 観察・実験に「結果から考えよう」を設置することで、生徒の考察力を養うことができるよう工夫されている。(1年P29、2年P63、3年P37等)</p> <p>イ 「やってみよう」では、個別にできる発展的な課題が提示されている。(1年P159、2年P18、3年P197等)</p> <p>ウ 支援キャラクターや生徒の吹き出しで問いかけやヒントを示すことで、生徒が考えながら探究できるよう工夫されている。(1年P23、2年P19、3年P16等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各単元末に「探究活動」が設定され、既習内容をもとに生徒自ら課題を見つけて、探究を進めることができるよう工夫されている。(1年P64-65、2年P72-73、3年P76-77等)</p> <p>イ 巻末の「自由研究にチャレンジしよう!」や「行ってみよう!科学館・博物館」等では、具体的な例が示され、生徒が主体的に探究を進められるよう工夫されている。(1年P276-281、2年P296-301、3年P334-337)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 単元の導入では「これまでに学習したこと」「これから学習すること」が1ページにまとめられており、つながりを意識した学びができるよう工夫されている。(1年P10-11、2年P8-9、3年P8-9等)</p> <p>イ 「リンクマーク」で、関連する内容が示されており、既習内容の振り返りや発展内容の確認ができるよう工夫されている。(1年P94、2年P25、3年P191等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 登場人物等の吹き出し中の文章が、読みやすい位置で改行されている。(1年P29、2年P19、3年P40等)</p> <p>イ 他国の自然や文化について触れるとともに、地域性の理解につながるよう配慮されている。(1年P235、2年P209、3年P276-277等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア ウェブサイトを活用した学習ができる場面にはマークを付し、二次元コードが配置されている。(1年P20、2年P205、3年P357等)</p> <p>イ インターネットやコンピュータを利用する際のルールや注意を喚起することで、情報を正しく安全に利用できるよう配慮されている。(1年P270、3年P322)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 「理科室のきまり」では、火を扱うときや地震のときの注意について記述されている。(1年P7、2年P303、3年P353)</p> <p>イ 「行ってみよう!科学館・博物館」「ジオパークを見学してみよう!」「生物を見に行こう!」では、山陰海岸等、本物に触れるための博物館や地形の特徴が紹介されている。(1年P278-280、2年P298-301、3年P336-337等)</p> <p>ウ 「日本を知る」では、学習に関連した日本の技術や伝統、文化、ものづくりなどを紹介する資料が掲載されている。(1年P71、2年P49、3年P27等)</p>

教科名 理科	種目名 理科	発行者番号 11	略称 学図	書名 中学校 科学
--------	--------	----------	-------	-----------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 各単元のはじめの「ふり返ろう・つなげよう」で前学年までの学習や知識の確認ができるとともに、「Can-do list」で知識及び技能における身に付けたい目標が紹介されている。(1年P45、2年P65、3年P65等)</p> <p>イ 単元末「学習のまとめ」には、基本的な知識を確認できる問題が配置され、知識の定着が図られるよう工夫されている。(1年P43-44、2年P63-64、3年P63-64等)</p> <p>ウ 巻末「基本操作」に観察・実験の基本的な技能が示されるとともに、安全な操作のための注意点が分かるよう示されている。(1年P204-215、2年P242-249、3年P240-241)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア コラム「理路整然」において、生徒の表現力を育む具体的なポイントが示されている。(1年P12-15、2年P84-85、3年P75等)</p> <p>イ 時間ごとの課題に対して、どのような見方・考え方を働かせていくのかを意識できるように、「この時間の見方」「考え方」として脚注に例が示されている。(1年P16、2年P10、3年P15等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 単元導入の「学びのあしあと」では、学習の前後に自分の考えを書く活動が設けられ、単元を通して自分の成長を確認することができるよう工夫されている。(1年P45、2年P65、3年P115等)</p> <p>イ 巻頭の「なぜ理科を学ぶの」では、探究的な学習の進め方や意義がマンガ形式で記載されており、生徒が意欲的に取り組むことができるよう工夫されている。(各学年巻頭P2-3)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 探究の進め方が一目でわかるように、「気づき」「課題」「仮設」「計画」など思考の流れが示されている。(1年P23-26、2年P11-14、3年P29-32等)</p> <p>イ 登場人物の吹き出しや「つながり」に、他教科との関連が紹介されている。(1年P60、2年P139、3年P19等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 紙面の左側に本文がくるように構成されており、図版には薄い青色の地網を敷き、見やすくなるよう工夫されている。(1年P11、2年P10、3年P10等)</p> <p>イ 登場人物については、男女均等になるように、また、男女の役割を固定しないよう配慮されている。(1年P11、2年P39、3年P200等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードの配置が紙面の上部に統一されており、教科書全ページをウェブページとして再構成した「ミライ教科書」が使用できる。</p> <p>イ インターネット上の情報の活用方法がコラム「理路整然」の「どうする、上手な検索」「どうする、検索結果の妥当性」「どうする、情報の公開」に掲載されている。(1年P199、2年P239、3年P237)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 地域の自然や産業、伝統文化等が、SDGsと関連付けながら資料として紹介されている。(1年P202-203、2年P240-241、3年P238-239)</p> <p>イ 各章のとびらに、学習内容と関連するSDGsのアイコンが示されている。(1年P9、2年P37、3年P67等)</p> <p>ウ 自然の恵みと災害をテーマにした内容が設けられており、防災や減災の面から科学を学ぶ意義を実感できるよう工夫されている。(1年P194-195、2年P234-235、3年P231)</p>

教科名 理科	種目名 理科	発行者番号 17	略称 教出	書名 自然の探究 中学理科
--------	--------	----------	-------	---------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 学習の区切りごとの「要点をチェック」、単元末ごとの「要点と重要用語の整理」「基本問題」「活用問題」、学年末の「学年末総合問題」と、各所で基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図ることができるよう工夫されている。(1年P35、2年P72-76、3年P310-313等)</p> <p>イ 習得すべき基礎的・基本的な知識については、「結論を示す」マークを付して明確に示されている。(1年P81、2年P164、3年P96等)</p> <p>ウ 器具の使い方等を示した「基礎技能」を設けることで、生徒が必要な基礎的・基本的技能を身に付けられるよう工夫されている。(1年P77、2年P82、3年P119等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 登場人物の吹き出しを配置し、生活体験や自然の事物・現象から疑問を見いだす場面が表現されている。(1年P102、2年P42、3年P130等)</p> <p>イ 一人一人が考えを持つことや、生徒一人一人の考えを基に話し合いができるよう、「考えよう」や「話し合おう」が設定されている。(1年P16-17、2年P27、3年P161等)</p> <p>ウ 「疑問から探究してみよう」において、観察や実験を通して、科学的に探究する力を重点的に育成することができるよう工夫されている。(1年P74-81、2年P116-121、3年P265-268等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 「学習前の私」「学習後の私」を設けることで、生徒の科学的な考えの変容や成長が感じられるよう工夫されている。(1年P232-241、2年P80-89、3年P120-131等)</p> <p>イ 「探究を振り返ろう」で、考察したことを検証する場面を設定し、探究の過程を振り返ることができるよう工夫されている。(2年P69、3年P49、P96等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 巻頭の「探究の進め方」で、疑問の見付け方から結論の示し方までが順を追って説明されており、どの単元においても、それに基づいた構成となっている。(各学年巻頭⑤-⑦、1年P151-155、2年P161-164等)</p> <p>イ 他教科との関連について、「ブリッジ〇〇」のマークを付して紹介し、特に算数、数学については巻末の「理科で使う算数・数学」で扱われている。(1年P106、2年P77、3年P328-329等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 重要語句については、オレンジ色の太字で書かれており、すべてにルビが振られている。(1年P16、2年P11、3年P10等)</p> <p>イ 登場人物や写真では、海外にルーツがある生徒が登場し、男女のバランスが均等になるよう配慮されている。(1年P15、2年P118、3年P268等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードを読み取って使うデジタル教材には、動画だけでなく「グラフシート」「原子のモデルカード」「webずかん」などのコンテンツが用意されている。(1年P252、2年P31、3年P78等)</p> <p>イ コンピュータやタブレット端末のカメラの使用や、ウェブサイト検索など、ICT機器の効果的な活用例が示されている。(1年P238-241、2年P183、3年P135等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 「ハローサイエンス」では、環境保全や地球に優しい新技術等の環境教育と関連した話題、発展的な内容が掲載されている。(1年P197、2年P201、3年P271等)</p> <p>イ 巻頭の「科学の扉」で、様々な分野で活躍している専門家を紹介し、メッセージ動画を視聴することができる。(各学年巻頭④)</p>

教科名 理科	種目名 理科	発行者番号 61	略称 啓林館	書名 未来へひろがるサイエンス
--------	--------	----------	--------	-----------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 観察・実験から得られた考察・結論が、「観察(実験)〇から」で始まるまとめの文章で示され、理解しやすくなるよう工夫されている。(1年P149、2年P28、3年P52等)</p> <p>イ 各章末の「Review ふり返ろう」の①や単元末の「学習のまとめ」「力だめし」において、基礎的・基本的な事項の確認や整理ができるよう工夫されている。(1年P35、2年P49、3年P92-96等)</p> <p>ウ 観察・実験のスキルが「観察(実験)のスキル」「サイエンス資料」で示され、定着が図られるよう工夫されている。(1年P10-11、2年P132-135、3年P152等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「考えてみよう」「発表してみよう」「Action-活用してみよう」など、思考したり表現したりする活動場面が設定されている。(1年P38、2年P88-89、3年P259等)</p> <p>イ 「探Q実習(実験)」「みんなで探Qクラブ」では、登場人物の発言などで、理科の見方・考え方を働かせた思考や表現の例が示されている。(1年P15、2年P35、3年P43-44等)</p> <p>ウ 各章末の「Review ふり返ろう」の②では、学習内容を文章で説明する問題が用意され、表現力が育成できるよう工夫されている。(1年P83、2年P49、3年P64等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 単元の導入では学習内容と関連が深い写真や資料が示され、各章のはじめの「はてなスイッチ」の二次元コードでは関連動画を視聴することができ、学習意欲を喚起できるよう工夫されている。(1年P62-65、2年P2-3、3年P104-106等)</p> <p>イ 全学年の巻頭に探究の過程が示され、巻末には探究の流れと振り返りの観点が示されており、生徒が主体的に課題を設定し解決に向かう学習を行うことができるよう配慮されている。(各学年③-④、1年P271、3年P327等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 「つながる学び」で、既習内容を確認したうえで新たな学習に取り組めたり、「つながるページ」で同学年の別単元とのつながりが確認できたりするよう工夫されている。(1年P99、2年P80、3年P25等)</p> <p>イ 他教科に関連する学習内容には「〇〇と関連」と教科名が示され、学びの広がり、深まりが感じられるよう工夫されている。(1年P96、2年P161、3年P317-318等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 安定して読み進められるよう、本文の幅が一定で途中で図や写真をはさまないレイアウトになっている。</p> <p>イ 海外にルーツのある生徒や、ズボンを着用した女子生徒など、多様性に配慮されている。(1年P253、2年P129、3年P297等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードの「webリンク」では、個別に興味を持ったことを調べることができ、学びを広げられるよう工夫されている。(1年P39、2年P10、3年P10等)</p> <p>イ 巻頭の「ICTの活用」や「ICTでトライ」では、インターネットのより良い活用方法について記載されている。(各学年巻頭⑦-⑧、1年P229、2年P156等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア SDGsに関連した題材には「SDGsマーク」が付され、巻末には「地域・環境資料集」としてSDGs目標達成への様々な取組が紹介されている。(各学年巻末⑩-⑪、1年P61、2年P185等)</p> <p>イ 災害の経験から得た知恵を未来に生かす防災・減災教育の考え方に沿って記述され、「防災・減災ラボ」では、学習内容と防災・減災の関連が扱われている。(1年P112-117、2年P119-123、3年P177等)</p>

# 音樂

(一般・器樂合奏)

教科名 音楽	種目名 一般・器楽合奏	発行者番号 17	略称 教出	書名 中学音楽 音楽のおくりもの 中学器楽 音楽のおくりもの
--------	----------------	----------	-------	-----------------------------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 各教材に学習の目標や学習活動が明確に示され、新出記号がページの右下に記載されている。(1年P20-21、2・3年上P24-25、2・3年下P12-13等)</p> <p>イ 「学習MAP」「学習の進め方」「どんな特徴があるかな?」及び楽典事項が見開きでまとめられており、基礎的・基本的な内容の確認が随時できるよう工夫されている。(各学年P8-9、各学年P88-90、1年P62-63等)</p> <p>ウ 写真やイラストを用いて、「ギター&amp;キーボードコード表」が示され、視覚的に理解できるよう工夫されている。(器楽P105-106)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「Active!」では、生徒の思考を深めるために、音楽を形づくっている要素を示したり、交流を促す場面を設定したりしている。(1年P16、2・3年上P14、2・3年下P19等)</p> <p>イ 「比べてみよう」では、比較して学習を進められる教材を示し、既習事項と関連付けたり思考を広げたりできるよう工夫されている。(1年P14-15、2・3年上P18-21、2・3年下P12-17等)</p> <p>ウ 「表現の仕方を調べてみよう」では、楽器のカテゴリーごとに音楽的な見方・考え方を働かせて整理し、対話を通して学びを深められるよう工夫されている。(器楽P30、器楽P55)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 「学習MAP」や「学習の進め方」を示すことで、生徒が1年間の学習を見通し、主体的に取り組むことができるよう工夫されている。(各学年P8-9)</p> <p>イ 歌唱、鑑賞教材では、生徒が進んで学び合うための活動例「Active!」が示されるとともに、楽曲のよさや魅力についてまとめたり、話し合ったりする場面が設定されている。(1年P16、2・3年上P23、2・3年下P19等)</p> <p>ウ 他者と協働して表現する活動を設定するため、「Let's Play!」や「Let's Try!」において多様な楽器の組み合わせによるアンサンブル活動が掲載されている。(器楽P64-97)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各学年の「学習MAP」で領域、分野同士の関連が明確に示され、そこで扱われる教材同士も比較できるよう配置が工夫されている。(各学年P8-9)</p> <p>イ 技術・家庭(技術分野)との教科等横断的な学びを意識した特集が設定されている。(1年P64、2・3年下P64-65)</p> <p>ウ 各領域の題材の数が適正に配置され、相互に関連、対照、対比されながら設定されることで、各学校の実態やカリキュラムに柔軟な対応ができるよう配慮されている。</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 教科書に書き込むことのできるページでは、記入欄の配色やレイアウトが学習のねらいに沿った活動ができるよう記載されている。(1年P60、2・3年上P43、2・3年下P52等)</p> <p>イ 創作のページでは、楽譜、文字、画像が適度な大きさと分量と配色で示されることで、可視化し学習の内容を捉えられるよう配慮されている。(1年P38-39、2・3年上P34-35、2・3年下P30-33)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 思考を深めるために、ワークシートや参考演奏などの資料が閲覧できる二次元コードが用意されており、歌唱共通教材については、視覚的支援として、歌うべき歌詞の箇所が色付けられるなど工夫されている。(1年P22、2・3年上P16、2・3年下P11)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 全学年において著作権について取り上げられている。(1年P39、2・3年上・下P64-65)</p> <p>イ 多文化、多様化社会に対応するため、複数の音楽文化を比較しながら、共通点や違いについて焦点化し、多様な文化の理解につながるよう工夫されている。(1年P58-60、2・3年上P58-61、2・3年下P50-52)</p>

教科名 音楽	種目名 一般・器楽合奏	発行者番号 27	略称 教芸	書名 中学生の音楽 中学生の器楽
--------	----------------	----------	-------	------------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 各教材に学習の目標や具体的な学習の視点、音楽を形づくっている要素が明確に示され、新出記号がページ右上に記載されている。(1年 P18-19、1年 P24-25、2・3年上 P20-21 等)</p> <p>イ 音楽を形づくっている要素については、楽譜やイラストを用いてページ数を提示することで基礎的・基本的な内容を随時確認できるよう工夫されている。(1年 P92-97、2・3年上 P92-97、2・3年下 P96-97)</p> <p>ウ 15の打楽器について、基本的な奏法を習得するのに必要な情報が、楽譜や写真を用いて示されており、視覚的に理解できるよう工夫されている。(器楽 P63-67)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「学びのコンパス」では、知覚・感受したことをもとに思考、判断、表現するための手順が具体的に示されている。(1年 P19、2・3年上 P16、器楽 P55 等)</p> <p>イ 意見交換の内容を吹き出しを用いて、他者と協働し、対話的な活動が展開できるよう工夫されている。(1年 P38-39、2・3年上 P34-35、2・3年下 P30-31 等)</p> <p>ウ 「聴き比べよう」では、世界の音楽を我が国の伝統音楽と比較する際に関連する教材が示され、学びを深められるよう工夫されている。(1年 P64、2・3年上 P70-71、2・3年下 P56-57)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 音楽的な見方・考え方を働かせて学習できるよう、各教材名の横に考えたいポイントが示されている。(1年 P10、2・3年上 P10、2・3年下 P12 等)</p> <p>イ 「学びのコンパス」を通して、主体的な学びにつなげるために参考となる学習の手順や思考・判断の観点が具体的に示されている。(1年 P19、1年 P26、2・3年上 P16 等)</p> <p>ウ 身の回りの様々な音に対する気付きを促すことで、音楽が生活や社会の中で役立つ場面を実感できるような学習が設定されている。(1年 P68-69、2・3年上 P91、2・3年下 P66-67 等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 表現の工夫、歌唱技能、創作における各学年の目標及び内容、さらには発達段階に応じた系統性を意識するために、「My Voice!」「Let's Create!」「My Melody」が各学年に配置されている。(1年 P14-15、2・3年下 P30-31、器楽 P43 等)</p> <p>イ 社会、英語、国語等、教科等横断的な学びが可能になる特集や二次元コードによる web ページへのリンクが配置されている。(1年 P44、2・3年下 P11、2・3年下 P26-27 等)</p> <p>ウ 各教材と学習内容の関連度の大小を明確に示し、取り扱う教材を実態に合わせて選ぶことや、学習活動を弾力的に増減できるよう工夫されている。(各学年 P8-9)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 視覚的・聴覚的に学習内容を捉えるために、マークや色使い、動画等を視聴できる二次元コードが配置されている。(1年 P21、2・3年上 P58、2・3年下 P37 等)</p> <p>イ 全学年で諸外国の音楽を扱うページが配置されており、広い視野で多様な音楽を受容できるよう工夫されている。(1年 P64-65、2・3年上 P70-71、器楽 P4-5 等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 技能を習得するために、多くの合唱曲のパート別音源や奏法を示すための動画、子どもたちが活用できる簡易な音楽創作ツール等が掲載されている。(2・3年上 P35、2・3年下 P23、器楽 P47 等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 著作権について、著作権隣接権にも触れる等、生活や社会へとつながる内容が掲載されている。(1年 P66-67、2・3年下 P64-65)</p> <p>イ 多文化や多様化社会に対応するため、諸外国の音楽文化に対する理解を深めたり、和楽器を合わせた音楽活動を設定したりすることで、多様な文化に対する理解を深められるよう工夫されている。(1年 P58-65、2・3年下 P56-63、器楽 P70 等)</p>

美術

教科名 美術	種目名 美術	発行者番号 9	略称 開隆堂	書名 美術
--------	--------	---------	--------	-------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法 (活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 各題材の学習に必要な知識及び技能が、図版や「美術の用語」で提示されている。(1年P29、2・3年P32、2・3年P90等)</p> <p>イ 各巻末の「学びの資料」に題材横断的な知識及び技能が系統的に整理して示され、多様な題材に効率よく対応できるよう構成されている。(1年P54-71、2・3年P94-123)</p> <p>ウ 表現方法を考える上で実際の作品の詳細なタッチやマチエール(絵肌)が表示され、全体と部分の比較が掲載されている。(2・3年P26-31、2・3年P45、2・3年P55等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 作家の作品とその作品のスタイルからイメージを受けたと思われる生徒作品や歴史的に価値の高い作品と現代作家が作る作品との比較等、表現を考える際に参考となる作品の配置が工夫されている。(2・3年P18-21、2・3年P22-25)</p> <p>イ 掲載作品とあわせて「作者のことば」やアイデアスケッチ等を掲載し、発想や構想、表現方法の手がかりとなるよう配慮されている。(1年P10-12、2・3年P50-51、2・3年P54等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 表紙に特殊加工を施し、手に取った生徒が視覚だけでなく、指先で触りながら作品の質感を想像できるようにすることで、美術の学習により興味・関心を持つことができるよう工夫されている。(1年表紙、2・3年表紙)</p> <p>イ 見たい部分をズームアップした構成が随所に取り上げられている。(1年P52-53、2・3年P45、2・3年P91等)</p> <p>ウ 各学習領域の最初に扉のページが設けられ、それぞれの学習に向かう姿勢を考えることができるよう工夫されている。(1年P8-9、1年P34-35、2・3年P8-9等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 3年間で使用する教科書が2冊にまとめられ、資料的な扱い方や生徒が準備する際にもコンパクトに仕上げられている。</p> <p>イ 美術1の巻頭に「図画工作から美術へ」のページが設定され、中学校の美術の学習の全体構成を俯瞰し、見通しを持って視覚的に捉えることができるよう構成されている。(1年P2-5)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 多くの生徒作品とあわせて「作者のことば」も掲示され、様々な個性や特性があることを学べるよう工夫されている。(1年P10-12、1年P38、2・3年P15等)</p> <p>イ 福祉と美術との関わりを学ぶページが設定されており、インクルーシブ教育に対応できるよう配慮されている。(2・3年P80-81、2・3年P111)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 映像メディアの特徴を生かした表現や鑑賞の学習に取り組む題材が設定されている。(1年P36-39、2・3年P68-71、2・3年P72-75等)</p> <p>イ 各題材に二次元コードが掲載され、インターネットを通じて様々なコンテンツ(参考作品例、ワークシート、導入動画等)を活用できるよう工夫されている。(1年P10、1年P14、2・3年P48-51等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 環境教育、平和教育、ふるさとキャリア教育等複合的に考えることが可能な作品を取り上げ、生徒が多面的に考えられるよう工夫されている。(1年P58-59、2・3年P110-117、2・3年P120-127等)</p> <p>イ コラムにSDGsマークがついており、題材内容と関わる造形的な取組や作品が紹介され、美術の学習とSDGsを具体的に関連付けて学ぶことができるよう配慮されている。(1年P25、1年P53、2・3年P93等)</p> <p>ウ 中学生が身近に感じる美術や美術文化が、現代美術で注目されている新たな美術活動や造形活動を展開する作家やデザイナーの顔写真とともに取り上げられ、これからの社会と美術と自分自身との関わりについて考えられるよう工夫されている。(1年P8-9、2・3年P2-5、2・3年P120-123等)</p>

教科名 美術	種目名 美術	発行者番号 38	略称 光村	書名 美術
--------	--------	----------	-------	-------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア すべての題材で鑑賞の手がかりとなる問いかけがあり、形や色彩、材料について着目すべき「POINT」が示されている。(1年P16、1年P34-35、2・3年P8等)</p> <p>イ 技法の解説や制作過程の動画を二次元コードで読み取って見られるようにし、生徒の表現活動を支援できるよう工夫されている。(1年P28、1年P56-57、2・3年P94-95等)</p> <p>ウ 材料の性質や用具の操作等、創作に関する知識が得られるよう、別冊として資料が設定されている。</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 1年の「発想のしかたはさまざま」や資料「発想・構想のために」で、多様な発想の仕方が紹介されている。(1年P14-15、1年資料P24-25)</p> <p>イ 表現と鑑賞の相互の関係が意識できるようアイコンで示され、一つの題材の中で一体的に学べるよう構成されている。(1年P22-23、1年P28-29、2・3年P20-21等)</p> <p>ウ 発想や構想の手がかりとなるよう、多くの生徒作品を掲載するとともに、「作者の言葉」やアイデアスケッチ等も豊富に掲載されている。(1年P23、1年P24、2・3年P18等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 「みんなの工夫」では、生徒の試行錯誤の様子や制作過程を詳しく示すことで、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。(1年P26、1年P54、2・3年P56-57等)</p> <p>イ 見開きで作品を大きく掲載し、鑑賞の際、細部の表現や色合いを感じられるよう工夫されている。(1年P20-21、2・3年P12-13、2・3年P32-33等)</p> <p>ウ 日本美術の鑑賞ページを和紙のような風合いのある用紙とすることで、興味・関心を高めることができるよう工夫されている。(2・3年P27-42)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 2・3年を1冊にまとめ、豊富な題材を学校の実態に合わせて柔軟に選択できるよう配慮されている。</p> <p>イ 題材の最初のページの脚注に、関連する特別の教科 道徳の内容項目が示され、特に他教科との関わりが深い題材には「他教科とのつながり」を示すコラムが設けられている。(1年P56、2・3年P15、2・3年P91等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 世界の様々な国や地域の作品が取り上げられるとともに、写真に写る生徒や登場するキャラクターに性別の偏りがないよう配慮されている。(1年P15、1年P46-47、2・3年P79等)</p> <p>イ いじめ防止や差別撤廃等、人権をテーマにした作品が積極的に掲載されている。(2・3年P73、2・3年P75、2・3年P76等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 「体感ミュージアム」として設定されている題材では、二次元コードにより書き込みツールや動画、360°写真等の資料が豊富に設定されている。(1年P20-21、1年P36-43、2・3年P12-15等)</p> <p>イ タブレット端末を使った制作過程や作品が掲載されるとともに、1年資料で端末の活用方法が解説されている。(1年P54、1年資料P20-23、2・3年P77等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 「防災のデザイン」という題材が設けられ、デザインが防災へ果たす役割について考えられるよう工夫されている。(2・3年P82-83)</p> <p>イ 生徒が職業や勤労について考えることができるよう、身近な製品を鑑賞する題材が設定されたり、作家やデザイナー等、社会で活躍するつくり手の活動や言葉が示されたりしている。(1年P19、2・3年P59、2・3年P68-69等)</p> <p>ウ SDGs との関連を意識して学べるよう、関連する題材のページ下に17の目標番号が示されている。(1年P32、2・3年P46、2・3年P66等)</p>

教科名 美術	種目名 美術	発行者番号 116	略称 日文	書名 美術
--------	--------	-----------	-------	-------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア すべての題材で、着目させたい造形的な視点や考えさせたい効果等が吹き出しで提示されている。(1年P13、2・3年上P11、2・3年下P15等)</p> <p>イ 折って鑑賞することで見え方が変わる「屏風」、巧みな彫りや摺りが味わえる「高精細印刷の浮世絵」、細かい描写が実感できる「原寸大図版」等、知識を実感的に理解できるよう工夫されている。(1年P24-29、2・3年上P26-27、2・3年下P25等)</p> <p>ウ 材料や用具の取り扱い等について「学びを支える資料」として各巻末にまとめられ、写真やイラスト、二次元コードによる動画で説明されている。(1年P62-69、2・3年上P57、2・3年下P52等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 表現と鑑賞を関連して考えられるよう、各題材に「鑑賞の入り口」と「造形的な視点」が示されている。(1年P12-13、2・3年上P12-13、2・3年下P14-15等)</p> <p>イ 掲載されている生徒作品の多くに「作者の言葉」があり、同じ中学生がどのように発想し、制作したのかが分かるよう工夫されている。(1年P23、2・3年上P21、2・3年下P47等)</p> <p>ウ 発想や構想の手立てとして、きっかけから発想、表現へつながるプロセスの紹介や表現する際のテクニックの紹介等が掲載されている。(1年P58-61、2・3年上P56、2・3年下P54-55等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各巻のオリエンテーションページにおいて、どんなことを学ぶのかわかりやすい言葉と図版で示し、中学校技術の学びに向かう心や力を養うことができるよう工夫されている。(1年P2-7、2・3年上P2-7、2・3年下P2-7)</p> <p>イ 美術での学びを生かしている人の言葉やアーティストの考え方が掲載され、多様な考え方を手がかりに考えることを促すよう工夫されている。(1年P58-59、2・3年上P50-51、2・3年下P44-45等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 1年、2・3年上下の3冊で構成され、小学校図画工作からの連続性と中学校3年間の発達を考慮した題材配列の工夫が見られる。</p> <p>イ 他教科や総合的な学習の時間や特別活動(進路指導、修学旅行等)と美術科の活動を関連させた事例が掲載されている。(1年P40-43、2・3年上P24-35、2・3年下P56-57)</p> <p>ウ ページ番号の横に参照ページや道徳との関連について表記されている。(1年P24、2・3年上P18、2・3年下P14等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 外国の生徒作品やアール・ブリュットの作品等が取り上げられ、多様性を尊重しながら学ぶことができるよう工夫されている。(1年P18、2・3年下P12、2・3年下P50-51等)</p> <p>イ 平和や人権に関わる作家、作品やポスターが取り上げられている。(2・3年上P42、2・3年上P59、2・3年下P24-29等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 映像作品やトリックを使った作品等、デジタル機器を使用した作品制作の例がICTのマークを提示して複数取り上げられ、科学技術の活用や今後の可能性に触れることができるよう工夫されている。(1年P39、2・3年下P19、2・3年下P42-43等)</p> <p>イ 発想・構想の手立て、作品完了までのプロセスやプログラミング的思考に関連する内容が示されている。(1年P58-59、2・3年上P42-43、2・3年下P52-53等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 商品の魅力を伝えるパッケージデザインを考える等、生活と結びつく題材が掲載されている。(1年P38-39、2・3年上P46-47、2・3年下P40-41等)</p> <p>イ 日本文化が昔から現代に至るまで紹介されており、作品の魅力はもとよりそれを生み出す巧みな技術についても触れられ、表現する職業や企画を考える仕事等幅広い知見につながるよう工夫されている。(1年P24-31、2・3年上P22-35、2・3年下P32-33等)</p> <p>ウ SDGs等生徒が現代的な諸問題について美術との関わりを通して考えを深められるよう、題材が工夫されている。(1年P20-21、2・3年上P46-47、2・3年下P46-47等)</p>

# 保健体育

教科名 保健体育	種目名 保健体育	発行者番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい保健体育
----------	----------	---------	-------	---------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 各章末に確認問題などをまとめたDマークコンテンツにアクセスできる二次元コードがあり、基礎的、基本的な知識の習得状況が確認できるよう工夫されている。(P26、P54、P65等)</p> <p>イ 「巻末スキルブック」には、保健分野の技能をはじめ、命や健康を守るために必要なスキルを確認できるイラストや写真、二次元コードが示されている。(P177-194)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 各単元の活動「見つける」「学習課題」「課題の解決」「活用する」「広げる」で課題の合理的な解決に向けて考え、判断し、それを表現することができるよう配慮されている。(P16-17、P18-19、P20-21等)</p> <p>イ インターネットを活用した学習をサポートし、生徒の思考、判断、表現を助けるDマークコンテンツが掲載されている。(P15、P19、P21等)</p> <p>ウ 学習の課題解決につながるヒントがキャラクターの発言で提示されている。(P14、P72、P125等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 巻頭に「この教科書の使い方」「保健体育の授業方法」が掲載されており、学習に主体的に取り組むことができるよう配慮されている。(P6-7、P10-11)</p> <p>イ 各単元の「広げる」は、学習したことを自他の生活に当てはめて考える課題が設けられ、さらなる学びにつながるよう工夫されている。(P17、P31、P59等)</p> <p>ウ 各章末の「学習のまとめ」には二次元コード(ワークシート)を設け、生徒が自主的に学んだことを生活や社会につなげて考えられるよう工夫されている。(P26、P54、P65等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 1単元が1単位時間2ページ構成となっており、見通しを持って学習できるよう配慮されている。</p> <p>イ 各章扉では、小学校で学習したこと、高等学校で学習することを明示し、系統性のある指導ができるよう配慮されている。(P13、P27、P67等)</p> <p>ウ 本文側注欄において、専用マークで体育分野と保健分野との関連や他教科との関連が示されている。(P18、P79、P135等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 共生の視点を重視した資料、写真、挿絵が掲載されている。(口絵1、P39、P81等)</p> <p>イ 左利きの人、眼鏡をかけている人、障がいのある人、外国にルーツがある人など、多様な人物のイラストや写真が示されている。(P10-11、P40、P164等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 知識、技能の動画、思考ツールなど二次元コードが用意されている。(P26、P54、P177-194等)</p> <p>イ 性情報や健康情報などを正しく利用するために、本文・口絵、資料で明記されるとともに、「インターネットと依存症」や「インターネットによるコミュニケーションとトラブル」について具体的に掲載されている。(口絵3、P107、P187)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 年齢や性別、障がいの有無などを超えた共生社会について考えられるイラストや写真、読み物が掲載されている。(P42、P81、P161等)</p> <p>イ 性の多様性について、誰もが自分事として考えられるよう章末資料に掲載されている。(P51)</p> <p>ウ スポーツとの多様な関わり方を知ることができる内容が章末資料や巻末スキルブックに掲載されている。(P62-63、P117-118、P192-193等)</p>

教科名 保健体育	種目名 保健体育	発行者番号 4	略称 大日本	書名 中学校保健体育
----------	----------	---------	--------	------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 各単元の学習内容を振り返り、知識の定着が図られるよう「キーワード」や「学習のまとめ」、知識の整理に役立つ「まとめの問題」などが掲載されている。(P17、P28、P53等)</p> <p>イ 二次元コードにアクセスし、メニューから「中学校保健体育WEBプラス」を活用することで、CBT形式を用いたテストにより効率的に知識の定着が図られるよう工夫されている。(口絵16)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 各単元で「つかもう」「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」「活用して深めよう」など、様々な活動が設定され、思考力、判断力、表現力等が総合的に育成されるよう配慮されている。(P4-5、P6-7、P8-9等)</p> <p>イ 各章末の「学びを活かそう」で、学習内容をより深く理解し、生活にも生かすことができる課題が設定され、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。(P13、P27、P52等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 本文ページと資料ページが分けられており、学習内容が確認できるようになっている。(P16-17、P72-73、P132-133等)</p> <p>イ 導入の活動「つかもう」では、生徒の身近な題材や自分の生活について取り上げることで、主体的に学習に取り組む態度を育むことができるよう工夫されている。(P4、P16、P30等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各章扉で小学校から高等学校まで学習する内容が示され、校種間の学習の系統性が確認できるよう配慮されている。(P15、P29、P89等)</p> <p>イ 題材に関連する教科が一目で分かるようマークで示されている。(P20、P30、P32等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 国際的なスポーツ大会の写真やエピソード、外国発祥のスポーツが紹介され、外国の文化に対する興味を深められるよう工夫されている。(口絵3-4、口絵7-8、P10-12等)</p> <p>イ 性別に関わりなく個性や能力を大切にする社会の実現に向けた内容が掲載されたり、外国にルーツがある生徒を登場させたりするなど、多様性について配慮されている。(P38-39、P43、P127等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア スマートフォンやインターネットを安全に正しく利用するための資料や二次元コードが掲載されている。(口絵13-14、P39、P97)</p> <p>イ 「ストレスへの対処」や「心肺蘇生法」などについて二次元コードから動画を視聴できるようになっている。(P47、P107-109、P111等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア SDGs と関連の深い話題を扱うことにより、持続可能な社会の創り手を育成することができるよう工夫されている。(P126-127、P144-146、P163-165等)</p> <p>イ 口絵や章末資料にオリンピックやパラリンピック等の内容が図解や写真で掲載されており、興味・関心を高められるよう工夫されている。(口絵7-10、P122-125、P130)</p>

教科名 保健体育	種目名 保健体育	発行者番号 50	略称 大修館	書名 最新 中学校保健体育
----------	----------	----------	--------	---------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 知識及び技能の定着が図られ、学習内容の確実な習得に役立てられるよう、重要語句を「キーワード」として明示したり、各章末「章のまとめ」に確認問題を設けたりしている。(P7、P14-15、P39)</p> <p>イ ストレス対処と応急手当の技能について、リラクゼーションの方法や心肺蘇生法の実習が紹介されるとともに、映像で確認することができるよう二次元コードが設けられている。(P56-57、P116-119)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 各単元の「課題をつかむ」では、多様な導入活動が提示され、気付きや思考を促すことができるよう工夫されている。(P20、P80、P128等)</p> <p>イ 各単元の「学習のまとめ」では、自分の生活を振り返ったり、多様な考えを理解したりできるよう配慮されている。(P53、P87、P141等)</p> <p>ウ 「章のまとめ」では、これまで学習したことをもとに筋道を立てて説明する表現活動が設定されている。(P15、P29、P61等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各章のとびらに中学生の日常生活を中心に写真を配置し、学習の課題を自分のこととして捉えられるよう構成されている。(P4-5、P16-17、P30-31等)</p> <p>イ 各章末に「特集資料」を設け、既習事項と自身の社会や生活との関わりを実感することで、学びの意欲の向上につなげられるよう工夫されている。(P26-27、P42-43、P58-59等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各章や各学習項目が「課題をつかむ」→「身につける・考える」→「まとめる・振り返る」の3ステップで構成されている。(口絵9-P1)</p> <p>イ 保健・体育両分野に関連する内容の掲載ページが「関連」マークで示され、他教科と関連する内容については、「他教科」マークで示されている。(P20、P32、P166等)</p> <p>ウ いじめや社会性など、社会問題を取り上げた内容が掲載されている。(P43、P59、P65等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 資料が罫線で囲まれ、本文と区別できるよう紙面レイアウトが工夫されている。(P6、P8、P19等)</p> <p>イ 男女比率や役割に偏りが無いよう工夫するとともに、高齢者や障がいのある人、外国にルーツがある人との関わりを写真やイラストで示すなど、多様な他者との共生や協働の大切さを感じられるよう配慮されている。(口絵5-6、P45、P139等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 動画や調べ学習に役立つサイトなど、インターネットを活用した授業が展開できるよう工夫されている。(P3、P8、P21等)</p> <p>イ SNSの利用やインターネット犯罪など、情報モラルへの配慮等についての題材が取り上げられている。(P41、P96、P109等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 様々な視点から「性の多様性」について記載されており、個性の尊重に配慮した内容が掲載されている。(P42-43)</p> <p>イ 心の健康やがん教育との関連が図られた内容が掲載されている。(P58-59、P84-87)</p>

教科名 保健体育	種目名 保健体育	発行者番号 224	略称 学研	書名 新・中学保健体育
----------	----------	-----------	-------	-------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 各章の「章のまとめ」で、「生かそう」「生活への活用」を設け、学習した内容の振り返りができるよう工夫されている。(P41、P68-69、P83等)</p> <p>イ 身に付けるべき技能がある内容については「技能」のマークが付けられ、動画視聴や実習を通して学習できるよう工夫されている。(P64、P124-126、P128-129)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 各単元の「エクササイズ」「学びを生かす」で、正解が一つに定まらないような課題を設けることで、話し合いを通して思考力、判断力、表現力等を育成できるよう工夫されている。(P32-33、P117、P141等)</p> <p>イ キャラクターを用い、学習内容の確認や追発問、説明などを語りかける形で学習を広げたり、深めたりできるよう工夫されている。(P7、P31、P50等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各時間の冒頭に「ウォームアップ」を設け、学習課題を自ら発見し、主体的な学びにつなげられるよう工夫されている。(P16、P28、P74等)</p> <p>イ 「章のまとめ」の「生活への活用」で、さらに学習したいこと、自身の生活に生かせること等が記述できるよう設定されている。(P25、P41、P69等)</p> <p>ウ 各時間の右下に「とりくめーター」が設けられ、学習への主体的な取り組み具合が自己評価できるよう工夫されている。(P17、P19、P21等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 原則1時間の授業で扱う内容が見開き2ページで構成され、「ウォームアップ」「学習の課題」「キーワード」「エクササイズ」「学びを生かす」の流れで見通しを持って学習を進められるよう工夫されている。(P16-17、P18-19、P20-21等)</p> <p>イ 「関連」を付して、運動領域や各教科等との関連を図ることができるよう工夫されている。(P19、P50、P109等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア グラフでは線種を変えたり色数を少なくしたりするなど、色覚特性に配慮されている。(P45、P110-111、P157等)</p> <p>イ 多様な性の在り方に配慮し、「相手」という言葉を用いて記述してあり、LGBTQやSOGIに触れるとともに、イラスト等の男女比率や役割のバランスをとるなど、多様性や共生の視点が身に付けられるよう配慮されている。(P52-53、P66、P141等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 学習内容に関わる動画や資料の二次元コード、関連したウェブサイトが閲覧できるリンクが掲載されている。(P64、P87、P125等)</p> <p>イ 性情報に関連した情報モラルやインターネットの安全な利用について取り上げられている。また、自然災害時には正しい情報を入手する必要があることにも触れられている。(P53、P119、P130)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 自然災害や避難の情報、健康・安全に関わる気象情報が地域の公的なサービスで入手できることが取り上げられている。(P116-121、P171)</p> <p>イ 「よりよく生きる」「よりよく生きる世界をつくる」や、「ひと・もの・こと」のコラムで、中学校生活とウェルビーイングとの関わりにつながる資料等が掲載されている。(P12、P27、P151等)</p>

# 技術・家庭

## (技術分野)

教科名 技術・家庭	種目名 技術・家庭 (技術分野)	発行者番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい技術・家庭 技術分野
-----------	---------------------	---------	-------	---------------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 知識及び技能の習得・定着のために、「まとめよう」「振り返ろう」で各節の振り返りを行うことで、章末の「学習のまとめ」において確かめ問題に取り組めるよう工夫されている。(P55、P67、P84-85等)</p> <p>イ 身に付けるべき基礎的な技能が「TECH Lab (テックラボ)」のページにまとめられており、生徒自身の課題に応じて習得したい技能を適切に選択できるよう工夫されている。(P40-41、P114-115、P180-181)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 各編において生徒自身の問題解決を導くために、「問題の発見、課題の設定」「設計・計画」「製作、制作、育成」「評価、改善・修正」「新たな問題の発見」の流れが統一して示されている。(P20-21、P76-77、P186-187等)</p> <p>イ 「問題解決例」で終わらず、身の回りの問題解決につながるよう「新たな問題の発見」「もっと問題解決」等が設定されており、生徒一人一人が問題発見できるよう工夫されている。(P122-123、P184-185、P268-269等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各節の脚注には、「技術の工夫」として身近な技術や製品等のルーツ等が紹介されており、身の回りの技術についての興味・関心を持つことができるよう工夫されている。(P28、P90、P138等)</p> <p>イ 自分の問題解決の過程を振り返り、粘り強く取り組んだ内容や新たな問題解決に向けての課題を確認できるように、「振り返ろう」が設定されている。(P71、P231、P249等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 見開き左ページの上部に「キーワード」があげられ、技術分野における問題解決のプロセスを意識しながら学習に取り組むことができるよう工夫されている。(P28、P90、P140等)</p> <p>イ 各単元の「学習のまとめ」が三観点ごとに設定されていることに加え、各観点に沿った設問が示されることで、身に付いた資質・能力を確認できるよう工夫されている。(P84-85、P132-133、P194-195等)</p> <p>ウ 「リンクマーク」が用いられ、他の単元や小学校、他教科との連携がとれるよう配慮されている。(P28、P34、P140等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 各節において、「目標」「レッツスタート」「学習課題」等がすべて同じ位置に配置されている。(P28-29、P90-91、P138-139等)</p> <p>イ 男女が協力して作業する姿が写真やイラストで示されるとともに、男女比や役割に偏りがないよう配慮されている。(P6-9、P68-69、P189等)</p> <p>ウ 人権や福祉に関わる技術の役割が学習内容として紹介されている。(P135、P224、P275等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 制作の手順が写真で段階的に示され、二次元コードによる動画で、主体的に学ぶことができるよう工夫されている。(P73、P125、P185等)</p> <p>イ 「すごいぞ！技術」では、各内容に関連する最先端の技術についての専門家が紹介され、学習内容が未来の技術につながっていることを実感できるよう工夫されている。(P86-87、P134-135、P196-197等)</p> <p>ウ 情報モラルについて、適宜「情報モラル」マークを付して注意を促すよう工夫されている。(P208、P212)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 「SDGs と Technology」をはじめ、持続可能な開発目標について技術が果たしている重要な役割が紹介されており、持続可能な社会の構築に参画する態度の涵養について解説されている。(P10-11、P81-82、P106等)</p> <p>イ 「技術の匠」で、製品の開発者や技術者からのメッセージが紹介され、職業観や勤労観を育むことができるよう工夫されている。(P81、P105、P165等)</p>

教科名 技術・家庭	種目名 技術・家庭 (技術分野)	発行者番号 6	略称 教図	書名 新 技術・家庭 技術分野
-----------	---------------------	---------	-------	-----------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 各編の終末に「編のまとめ」が設けられ、確かめ問題に取り組むことで知識及び技能の習得・定着を図ることができるよう工夫されている。(P69、P111、P171 等)</p> <p>イ 「プチ問題解決にチャレンジ！」で身に付けた技能を確認するとともに、別冊「スキルアシスト」も活用することで、より確かな技能を身に付けられるよう工夫されている。(P38-41、P88-89、P140-143 等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 問題解決の手順が示されることで、技術を生かした問題解決能力を育成できるよう工夫されている。(P8-9、P36-37、P86-87 等)</p> <p>イ 各編の終末に「未来をつくろう」が設定され、「技術のプラス面とマイナス面」を考えることで、社会とのつながりについて考えられるよう工夫されている。(P66-67、P168-169、P242-243 等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各節のはじめに「めあて」や「キーワード」が示され、学習の見通しが持てるよう配慮されている。(P30、P86、P184 等)</p> <p>イ 各編に「やってみよう」が設けられており、ワークシートを活用して自ら学んだり、グループで考えられるような問いかけをすることで学び合えたりできるよう工夫されている。(P33、P100、P162 等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 「見つける・学ぶ・ふり返る」を基本配列として、「見つける」で学習意欲を喚起し、「学ぶ」で自主的に学習し、「ふり返る」で学習理解の確認ができるよう工夫されている。(P16-17、P72-73、P174-175 等)</p> <p>イ 学習の関連を表すマークが示され、小学校や他教科との学習の連携がとれるよう配慮されている。(P72、P114、P174 等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア タイトルや重要語句のフォントが、UD フォントで統一されており、重要語句については、視認性を上げるために青太文字で示されている。(P16、P75、P118 等)</p> <p>イ 問題を解決する流れが捉えやすくなるよう見開きページのイラストで示されている。(P138-139、P196-197、P222-223 等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 教科書や別冊「スキルアシスト」の写真や二次元コードにより、動画等を閲覧して知識及び技能を確認したり、学習を深めたりできるよう工夫されている。(P21、P125、スキルアシスト P23 等)</p> <p>イ 最終編「夢をかなえる技術」において、最先端技術を用いた産業の紹介があり、学習したことが様々な場面で活用されていることを知ることができ、新たな問題解決への意欲付けとなるよう工夫されている。(P247、P249、P253 等)</p> <p>ウ 情報モラルや情報リテラシーが取り扱われ、知的財産の創造や保護等倫理観の育成について配慮されている。(P184-187)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 持続可能な開発目標 (SDGs) の 17 の目標アイコンが、関連する学習内容に位置付けられており、日本や世界で起こっている諸問題を自分に関わる課題として捉えられるよう工夫されている。(P67、P107、P169 等)</p> <p>イ 「先輩に聞いてみよう」では、技術に関する大会等に参加した中学生等が紹介されており、生徒の技術に対する興味・関心や進路への意識を引き出す等、キャリア教育を意識して記載されている。(P61、P101、P163 等)</p>

教科名 技術・家庭	種目名 技術・家庭 (技術分野)	発行者番号 9	略称 開隆堂	書名 技術・家庭 技術分野
-----------	---------------------	---------	--------	---------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法 (活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 「学習課題」を設けて問題意識を持たせるとともに、脚注に「CHECK」が設定されることで、学習内容を自分で振り返ることができるよう工夫されている。(P28-29、P128-129、P160-161等)</p> <p>イ 実習を行う際、製作や育成の手順において、必要な技能を用いることができるよう工夫されている。(P62-73、P136-147、P194-201等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 各内容において、既存の製品や機器の工夫を読み解くページが設定されており、生徒の問題解決につなげられるよう工夫されている。(P48-49、P186-187、P246-247等)</p> <p>イ 「実習例」において、問題解決の流れとそれに合わせた改善の例が示されることで、見通しを持ちながら思考・判断・表現できるよう工夫されている。(P62-63、P194-195、P256-257等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各内容の最終節に、学習を振り返る内容のページが設けられており、これまで学習したことと社会とのつながりについて考えられるよう工夫されている。(P98-103、P150-155、P204-209等)</p> <p>イ 各内容の終末には、「やってみよう」と題して、これからの技術について考えさせるような話題が取り上げられ、技術に対する関心や課題意識を持つことができるよう工夫されている。(P101、P153、P207等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各単元・領域のはじめに、「学習の流れ」「小学校や他教科とのつながり」が掲載され、見通しを持って学習に取り組めるよう工夫されている。(P27、P107、P159等)</p> <p>イ 小学校や他教科とのつながりのある箇所にマークが付され、学年・教科等横断的なカリキュラムが立てやすくなるよう工夫されている。(P114、P120、P131等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 見開きページの右上に、学習内容に関連した工具や部品の名前、写真等が掲載されている。(P31、P177、P233等)</p> <p>イ 製作や実習の内容において、注意喚起を促すために、学習場面と関連付けて随所に「安全」マークが示されている。(P79、P82、P177等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 各内容において、二次元コードで動画やワークシート等が掲載されており、個別最適な学びを実現できるよう工夫されている。(P9、P11、P13等)</p> <p>イ アニメと現実とを照合し、身の回りで実現されている機器等から科学技術の発展を考えることができるよう工夫されている。(巻頭②-④)</p> <p>ウ デジタルシティズンシップについてふれ、「情報の技術」の学習内容でセキュリティやモラルの知識を高められるよう配慮されている。(P20-23、P230-239)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 防災教育に関する技術についてマークを活用して適切な箇所に掲載させることで、実生活と技術とをつなげられるよう工夫されている。(P157、P194、P259等)</p> <p>イ 各内容の終末では、「～と私たちの未来」と題して、これからの技術について考える話題が取り上げられており、将来的に技術に対する関心や課題意識を持てるよう工夫されている。(P100-101、P152-153、P206-207等)</p>

# 技術・家庭 (家庭分野)

教科名 技術・家庭	種目名 技術・家庭 (家庭分野)	発行者番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい技術・家庭 家庭分野
-----------	---------------------	---------	-------	---------------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法 (活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 各節の最初に「目標」、最後に目標に対応した「まとめよう」「生活に生かそう」とまとめの活動が設けられ、学んだことを振り返り、知識の定着が図られるよう工夫されている。(P30-31、P32-33、P34-35等)</p> <p>イ 「いつも確かめよう」で習得すべき基礎的な知識及び技能が示され、それらを確実に習得するために二次元コードでデジタルコンテンツが見られるよう工夫されている。(P64-73、P127-129、P134-137等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 物事を考えたり意見を整理したりする際に有効な思考ツールが随所に取り入れられ、その活用を通して、問題解決能力を高めることができるよう工夫されている。(P6-7、P25、P138等)</p> <p>イ 「生活の課題と実践」では、問題解決のプロセスに沿って実践できるよう、2編から5編の学習に係る実践例が問題解決の流れで示されている。(P271-281)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 1編「未来につながる家庭分野」では、3年間の見通しが持てるガイダンスのページや、学習前後の変化が視覚的に分かる「自分の生活チェック」のページが設けられている。(P14-15、P16-17)</p> <p>イ 各編のはじめの見開きで、学習への疑問から、自分の課題設定ができるようになっており、各編末の「学習のまとめ」で学んだことを確かめ、自己調整しながらこれからの生活に生かすことができるよう工夫されている。(P28-29とP110-111、P116-117とP164-165、P166-167とP188-189等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各編の流れが、自立から共生へとつながる単元配列になっている。(③-P1)</p> <p>イ 中学校卒業後の自分について考えられるよう、家族や幼児、高齢者、地域の人々との関わりについての学習が最終編に配置されている。(P220-270)</p> <p>ウ 関連する他のページや他教科、小学校の学習内容が「リンクマーク」で示され、二次元コードで画像が見られるものもある。(P30、P32、P35等)</p> <p>エ 小学校と中学校の学習内容が見開きで提示されており、小学校の学習内容のうえに中学校の学習内容が積み重なっていることが分かるよう示されている。(P14-15)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 左利きの作業例が写真や二次元コードの動画で示されている。(P68、P129)</p> <p>イ 男女共同参画社会やダイバーシティ等共生の視点を入れたイラストが使われている。(P12-15、P222-223、P270等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 奇数ページの右上に二次元コードが配置され、多数のデジタルコンテンツによって、様々な学習活動に対応できるよう工夫されている。(P11、P13、P15等)</p> <p>イ デジタルコンテンツの使い方が詳しく説明されており、情報機器の扱いに慣れていない生徒の不安を軽減できるよう工夫されている。(P4-5)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 内容ごとに「持続可能な〇〇生活」の章を設け、サステナブルクッキング、衣服のリフォーム・リメイク等が取り上げられ、持続可能な社会や環境について考えることができるよう配慮されている。(P104-109、P162-163、P210-215等)</p> <p>イ 食物アレルギーや食中毒についての学習から、自分の生命や体を守る大切さについて考えることができるよう工夫されているとともに、材料の食品に「衛生」マークや注意を促すマークが付され、調理実習を行う際に配慮できるよう工夫されている。(P56-61、P76-77、P86-87等)</p> <p>ウ 防災・減災に関する内容が随所に取り上げられ、「防災」マークを付して、生徒の意識を高められるよう工夫されている。(P154-155、P182-185、P264-265等)</p>

教科名	技術・家庭	種目名	技術・家庭 (家庭分野)	発行者番号	6	略称	教図	書名	新 技術・家庭 家庭分野
-----	-------	-----	-----------------	-------	---	----	----	----	--------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 小題材ごとに「めあて」が示され、「振り返る」で知識及び技能が身に付いたか確認できるよう構成されている。(P40-43、P50-55、P92-93)</p> <p>イ 二次元コードで動画が用意されており、基礎的・基本的な技能の定着に結び付けられるよう工夫されている。(P13、P103、P105等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 統一された「記録レポート」の様式が用意されており、流れに沿って学習を繰り返すことで課題を解決する力を身に付けられるよう工夫されている。(P67、P149、P195等)</p> <p>イ 「考えてみよう」「話し合ってみよう」等で個人の価値観を問うコーナーがあり、思考力、判断力を養うことができるよう構成されている。(P21、P41、P73等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 章末のまとめ「学習の振り返り」では、「自分の言葉でまとめよう」が設定されており、学びを生活に生かすことができるよう工夫されている。(P68、P150、P220等)</p> <p>イ 各学習の前に「見つめてみよう」で興味を持って学べるようにするとともに、学習後は「私の学び」に自分の言葉で表現できるよう工夫されている。(P46-47、P56-57、P90-91等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 学習指導要領に示されている順に単元が配置され、巻末の選択「生活の課題と実践」では、学んだ内容を相互的に組み合わせる学習できるよう工夫されている。(口絵1-2、P266-275)</p> <p>イ 「ガイダンス」では、「つなぐ、つながる」をテーマに、小学校から中学校卒業後の学習や、家庭、社会での生活とのつながり等を意識できるよう工夫されている。(口絵11-P7)</p> <p>ウ 小学校の学習内容や、他教科との関連が分かるよう「関連」マークが掲載されている。(P14、P74、P80等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 中学校以降で学ぶ漢字には、初出でルビをふり、学習に取り組みやすくなるよう配慮されている。</p> <p>イ カラーUDの視点から、重要語句が青色の太字で示されている。</p> <p>ウ 男女共同参画に関するコラムの掲載や、イラストや写真で男女の役割や服装が偏らないようにする等配慮されている。(P18-19、P152)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードにより、基本的な知識及び技能の習得を補うワークや動画、資料等が掲載されており、その左には活用しやすくなるようコードの内容が示されている。(P19、P107、P223等)</p> <p>イ 消費生活における情報リテラシーに関する内容について取り扱われている。(P233、P238-241)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 持続可能な社会の構築のために、SDGsの目標のアイコンや様々なマークが示され、生活との関わりに気付けるよう工夫されている。(P8、P19、P23等)</p> <p>イ 生活に関わる日本の伝統文化を取り上げることで、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮されている。(口絵3-8、P142-143、P198-199等)</p> <p>ウ 防災に関して、食生活、衣生活、住生活の中で、幅広い情報が掲載され、生徒が防災への意識を高められるよう配慮されている。(P12、P28、P139等)</p>

教科名 技術・家庭	種目名 技術・家庭 (家庭分野)	発行者番号 9	略称 開隆堂	書名 技術・家庭 家庭分野
-----------	---------------------	---------	--------	---------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 調理や製作の手順が写真や絵を用いて横流れに示されており、基礎的な知識及び技能の定着を図ることができるよう工夫されている。(P121、P128-129、P218等)</p> <p>イ 基礎的な知識及び技能の習得に向けて、写真やイラストだけでなく、二次元コードで動画等も見ることができるようになっている。(P121、P129、P137等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「考えてみよう」や「話し合ってみよう」等、思考する活動や話し合いの活動、意見を述べる活動等が多く設定され、生徒同士や家族、身近な人たちとの会話等を通して、生徒自らの考えを広げて深めることができるよう工夫されている。(P19、P23、P24等)</p> <p>イ 節のはじめに身近なところから考えられる課題が設定されており、課題を通して気付いたり考えたり理解したりすることができるよう構成されている。(P52、P90、P190等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア ガイダンスで「家庭分野の学び方と身につけたい力」が示され、学習のイメージができるようになっている。(P6-7)</p> <p>イ 各内容A～Cの冒頭に興味・関心や学習の見通し、小学校での学びが確認でき、終末の「学習のまとめ」で振り返ったり、これからにつなげたりできるよう工夫されている。(P16とP86-87、P88とP176-177、P182とP260-261等)</p> <p>ウ 「生活の課題と実践」では、自分で課題解決に向けて実践できるようになるために、一人一人が自分の興味・関心に応じた課題に取り組む実践例が学習の流れとともに掲載されている。(P292-303)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア ガイダンスが冒頭のページに設けられ、小学校や他教科との関連に気付き、3年間の学習の見通しが持てるようになっている。(P2-15)</p> <p>イ 小学校の学習内容や他教科・他分野と関連するところにマークが示され、高等学校での学習内容との関連には「発展」として掲載されている。(P23、P25、P50等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 中学校で学習する漢字については、見開きページごとの初出箇所にルビが振られている。</p> <p>イ 他者理解についてロールプレイを通して学ぶことができるよう工夫されている。(P34-35)</p> <p>ウ 多様な人々が掲載され、多様性を認め合いながら共生の視点に気付くことができるよう工夫されている。(P26-27、P76-83、P205等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードにより、教科書の内容について学びを深めることができるような資料が用意されている。(P29、P33、P35等)</p> <p>イ 消費者教育を通してメディアリテラシー、情報化社会の問題等について学ぶことができるよう工夫されている。(P269、P273、P278)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 「世界に視野を広げて」では、異文化理解や暮らしの中のマーク、環境問題についての資料が示され、今日的な課題に目を向けることができるよう工夫されている。(P304-309)</p> <p>イ 内容ごとに「持続可能な○○」の単元を設け、家庭分野の学習がSDGsとつながっていることが示されている。(P82-85、P172-175、P256-259等)</p> <p>ウ 防災について、本文での記述に加えて、「わたしたちの防災」という特設ページを設け、「平常時からの備え」や「災害発生時の対応」等、豊富な情報が提供されている。(P248-255)</p>

英語

教科名 外国語	種目名 英語	発行者番号 2	略称 東書	書名 NEW HORIZON
---------	--------	---------	-------	----------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 各単元の「Read and Think」で、本文を複数回読みながら通読から精読につなげる読み方を身に付けられるよう工夫されている。(1年P76-77、2年P72-73、3年P24-25等)</p> <p>イ 話すことの技能習得に向けて、二次元コードで示される動画を活用して即興で自分の考えや気持ちを伝え合う練習ができるよう工夫されている。(1年P157、2年P145、3年P145等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「Real Life English」では、「目的・場面・状況」が明確に示された題材が提示され、生徒が「Key Expressions」に示されるモデル文を使って幅広く自分の考えなどを表現することができるよう工夫されている。(1年P79、2年P37、3年P85等)</p> <p>イ 「Unit Activity」では、生徒が各題材に対して、自分の意見を持ち、お互いの意見を交流させながら話したり書いたりする力を身に付けることができるよう工夫されている。(1年P88、2年P66、3年P84等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 生徒が見通しを持って学習に取り組んだり、振り返りによって自己調整したりできるよう、学年や内容のまとまりごとの学習到達目標が示されており、1年では小学校、3年では高等学校と、他校種との繋がりも示されている。(各学年巻末)</p> <p>イ 「Stage Activity」では、生徒が主体的に考えや気持ちを表現したり、伝え合ったりする場面が設定されている。(1年P54-55、2年P80-81、3年P42-43等)</p> <p>ウ 長期休業中に生徒自身が学びを進められる単元が設けられている。(1年P57-60)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 2・3年では、単元のタイトルが単元を貫く問いとして英語の疑問文で示され、関連した言語活動が単元末に設定されている。(2年P9とP16、3年P19とP26、3年P61とP68等)</p> <p>イ 小学校で扱った語と中学校での新出語のうち、発信語彙を800語に厳選し、3年間を通してスパイラルに学習し、身に付けられるよう工夫されている。(1年P6、2年P113-128、3年P105-126等)</p> <p>ウ 小学校の国語で扱った物語や、他教科を英語で学ぶページが設けられる等、教科等横断的な題材が扱われている。(1年P126-128、2年P38、3年P40等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 入門期の1年では、視認性や書きやすさに配慮された書体が採用され、前半のUnit4までは回答欄に4線が使用されている。(1年P13、1年P33、1年P50等)</p> <p>イ 多様な世界の国々や地域から題材が設定され、二次元コードで様々な国の文化等を紹介する等、異文化や人種に対する理解を深めることができるよう工夫されている。(1年P53、2年裏見返し「Digital Map」、3年P61-67等)</p> <p>ウ 登場人物について様々な出身地や個性が設定され、「ダイバーシティメモ」が設けられる等、多様性が重視されている。(1年P6-7、2年P65、3年P104等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 対話練習ができる動画や言語活動の導入となるカナダの生徒からのビデオレター等を視聴したり、思考ツールを活用したりできる二次元コードが掲載されている。(1年P157、2年P41、3年P16等)</p> <p>イ コミュニケーションツールとしてICT機器を使用している場面が扱われている。(1年P84、2年P56、3年P20等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 平和、環境、人権、共生、伝統文化、異文化理解や防災教育等、幅広い話題が扱われ、3年ではSDGsを意識した題材構成となっている。(1年P91-98、2年P104-108、3年裏見返し等)</p> <p>イ キャリア教育につながる職業観を育む読み物が掲載されている。(2年P29-37)</p>

教科名 外国語	種目名 英語	発行者番号 9	略称 開隆堂	書名 Sunshine
---------	--------	---------	--------	-------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 単元前半に「Scenes for Basic Dialogs」が設定され、単元で扱う主な文法事項が、具体的な場面・状況を使用した音声とアニメーションで掲載され、リスニング、自己表現の順で学習できるよう構成されている。(1年P100-101、2年P76-77、3年P56-57等)</p> <p>イ 本文ページの下部に「Today's Expression」として、本文中の新出言語を含んだ英文が示されている。(1年P104、2年P69、3年P33等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「Power-Up」「Our Project」等では、各単元のゴールとして単元で扱った言語材料を活用して取り組み、言語活動が評価できるよう設定されている。(1年P108、2年P41-45、3年P75等)</p> <p>イ 各単元の「Tuning in」では、友達とやり取りをする言語活動を通して、既習表現の復習をしたり新出言語材料を運用したりできるよう工夫されている。(1年P102、2年P68、3年P82等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 生徒自身が自らの学びを振り返り自己調整ができるよう、教科書の巻末に学年や単元のCAN-DOリスト及び到達度を振り返ることができるシートが掲載されている。(1年P168-170、2年P160-162、3年P160-162)</p> <p>イ 話題についての生徒の興味・関心を喚起し、主体的な学びを促進するため、単元冒頭に題材に関連した写真やクイズなどが掲載されている。(1年P64、2年P87、3年P98等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 単元のはじめに「Scenes for Basic Dialogs」で新出の言語材料を学習し、本文の内容理解等に取り組み、単元末の「Action」では単元で学んだ内容を生かした表現の領域の言語活動が設定され、学習の成果が確認できるよう構成されている。(1年P22-23とP26、2年P32-33とP39、3年P18-19とP25等)</p> <p>イ 他教科等との横断的な指導ができるよう、社会科や技術・家庭、道徳などのテーマが取り扱われている。(1年P112、2年P78、3年P121等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 英語部分が1年前半では小学校と同じ手書き書体、1年後半では書き写しやすい活字書体、2・3年では一般的な書体と発達段階に応じた書体を採用する配慮が見られる。</p> <p>イ 2・3年では多様性を理解し、人権を尊重する態度及び道徳性を培う題材や学習活動が取り上げられている。(2年P92-95、3年P55-63、3年P95-103等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 英語の音声や海外文化を紹介する動画を視聴できる二次元コードが掲載されている。(1年P65、2年P35、2年P55等)</p> <p>イ コミュニケーションツールとしてICT機器を使用している場面や、AI等が題材として扱われている。(1年P57、2年P17、3年P95-102等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 平和、環境、人権、共生、伝統文化、異文化理解や防災教育等、幅広い話題が扱われ、各学年目次のページに関連するSDGsが示されている。(各学年P2-3、2年P107、3年P79等)</p> <p>イ 2・3年ではキャリア教育につながる職業観を育む読み物が掲載されている。(2年P65-73、3年P126)</p>

教科名 外国語	種目名 英語	発行者番号 15	略称 三省堂	書名 NEW CROWN
---------	--------	----------	--------	--------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 各単元が、聞く、読む、話す・書く、という構成になっており、言語習得の自然な流れで段階的に知識及び技能が身に付けられるよう構成されている。(1年P68-69、2年P88-89、3年P56-57等)</p> <p>イ 「Take Action!」では、ペアで話したり読んだりする言語活動を通して力を付けられるよう工夫されている。(1年P63、2年P26、3年P26等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 内容のまとめりごとに設定された「Project」では、具体的な場面設定のもと、それまでの単元で学習した言語材料や既習事項を活用し、生徒同士で伝え合いや学び合いができるよう工夫されている。(1年P100-101、2年P38-39、3年P36-37等)</p> <p>イ 各単元末に設定された「Goal Activity」では、生徒の身近な話題等についての読み物が示され、自分の考えの発信(書く・話す)につなげる領域統合の構成となっている。(1年P96-97、2年P34-35、3年P50-51等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各学年のCAN-DOリストと1年間の学びを振り返るチェックリストが示されるとともに、各単元で行う言語活動ごとに相手意識を持って活動に取り組みたか確認できる「振り返り」が記載されている。(1年資料P50-51、2年P81、3年P37等)</p> <p>イ 生徒が主体的、協働的に学び、多角的に考えることができるペアやグループなどの活動が設定されている。(1年P64-65、2年P64-65、3年P36-37等)</p> <p>ウ 「For Self-study」において、様々な英語の学び方が紹介されている。(1年P6、2年P44、3年P42等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 単元前半では、新出言語材料の導入と本文の内容理解が1単位時間で指導でき、後半の「Goal Activity」では様々な言語活動を通して学んだことを活用することができる構成となっている。(1年P68-76、2年P16-23、3年P16-23等)</p> <p>イ 「Reading Lesson」等、他教科等とのつながりを感じられる題材が設定されている。(1年P91-97、2年P110-113、3年P78-81等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 1年では手書きに近いUD系の書体を使用するなど、書体や色の組み合わせへの配慮がある。</p> <p>イ 同世代の多様な人種を登場人物として設定し、様々な価値観や人権意識を高められる題材が取り上げられている。(1年P25-31、2年P38-39、3年P43-49等)</p> <p>ウ 国際社会に対応できる資質・能力と豊かな人間性を育成する題材が設定されている。(1年P91-97、2年P45-53、3年P67-73等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 異文化理解の動画や発表方法を学ぶモデル動画を視聴したり、自分の発音を録音して確認したりできる二次元コードが掲載されている。(1年裏見返し、2年P38-39、3年P106-107等)</p> <p>イ コミュニケーションツールとしてICT機器を使用している場面が示されている。(1年P36-38、2年P80、3年P20等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 異文化理解、平和、日本の伝統文化、防災・安全、環境問題、生命尊重などの題材テーマが取り扱われている。(1年P117-123、2年P45-53、3年P27-33等)</p> <p>イ 2・3年ではキャリア教育につなげられるよう、職業と関連した内容や自分の将来の夢を語る活動が設定されている。(2年P27-35、2年P38-39、3年P106-107)</p>

教科名 外国語	種目名 英語	発行者番号 17	略称 教出	書名 ONE WORLD
---------	--------	----------	-------	--------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 「話すこと(発表)」の学習活動の支援として、様々な種類の思考ツールが掲載されており、生徒が英語でアウトプットする際に、情報を整理したり順序立ててまとめたりしやすい工夫がある。(1年P143、2年P96-97、3年P88-89等)</p> <p>イ 内容のまとめりに「Activities Plus」で相手の質問に2文以上で答える練習を行う活動が設定され、基礎的な技能を身に付けられるよう工夫されている。(1年P45、2年P42、3年P102等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 各単元に新出文法を用いて即興でやり取りをする「Think &amp; Try!」が設定され、状況や場面に応じて工夫して伝えることに挑戦できる構成になっている。(1年P91、2年P37、3年P67等)</p> <p>イ 各単元の本文の冒頭に「Check」とし、「～はどんな考えをもっているだろう」「～はどう感じただろう」など、概要等を捉える読み方や聞き方を身に付けられるよう工夫されている。(1年P120、2年P54、3年P66等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各学年の巻頭に生徒が自らの1年間の目標を記述する欄が設けられるとともに、巻末に「CAN-DO 自己チェックリスト」で学習到達目標が掲載されている。(各学年巻頭②、各学年巻末⑤-⑥)</p> <p>イ 生徒が主体的に考えや気持ちを表現したり、伝え合ったりする場面が設定されている。(1年P70-71、2年P44-45、3年P46-47等)</p> <p>ウ 英語学習法を示した「効果的な英語学習法」が掲載されている。(1年P152、3年P134)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各単元前半で本文の内容理解を通して新出言語材料を扱い、最後に「Task」として学んだことを活用し表現の領域の言語活動を行う構成になっている。(1年P47-55、2年P11-18、3年P35-42等)</p> <p>イ 小学校での既習事項がLesson3までに扱われ、小学校での学習を定着させ、中学校での学習にスムーズに移行できるよう工夫されている。(1年P2-3)</p> <p>ウ 日本語の文や語順との対比など国語をはじめとする他教科や学校生活の内容と関連する内容が取り上げられている。(1年P30-31、2年P23-30、3年P63-69等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 手書き文字に近く判読しやすいフォントが開発されており、各ページの学習に取り組みやすいよう工夫されている。(1年Lesson3まで)</p> <p>イ 社会の多様性を踏まえ、人種を尊重しジェンダーに配慮した資料や題材が掲載されている。(1年P154、2年P129、3年P116-121等)</p> <p>ウ 外国の生活や文化についての題材が取り上げられ、その背景にある文化への理解が深められるよう配慮されている。(1年P87-93、2年P85-91、3年P11-17等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア 二次元コードからアクセスできる「まなびリンク」には、音声、学習した表現を使ったやり取り見本動画や言語活動を手助けする活動用ワークシートなどが掲載されている。(1年P66-67、2年P40、3年P44-45等)</p> <p>イ コミュニケーションツールとしてICT機器を使用している場面が示されている。(1年P50、2年P16、3年P16等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 日本の伝統文化、生命、環境、福祉、平和、人権、異文化理解などの題材が取り上げられており、各学年目次のページに関連するSDGsが示されている。(1年P129-136、2年P117-124、3年P91-100)</p> <p>イ 2・3年ではキャリア教育につなげられるよう、職業観を育む内容や、自分の将来の進路を語る活動などが設定されている。(2年P51-59、3年P63-71)</p>

教科名 外国語	種目名 英語	発行者番号 38	略称 光村	書名 Here We Go!
---------	--------	----------	-------	----------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 視覚的にわかりやすいアイコンで活動の領域を示し、各Partでバランスのとれた力を養うことができるよう、左ページの本文で「聞く・読む」活動、右ページの言語活動で「聞く・話す・書く」活動となるよう構成されている。(1年P28-29、2年P32-33、3年P20-21等)</p> <p>イ 巻末に各単元の「Story Retelling」のページが設定され、見開き1ページのイラストで話全体を俯瞰しながらリテリングに取り組めるよう工夫されている。(1年P132-139、2年P122-129、3年P114-120)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 各単元末の「Goal」で、理解したことを基に自分の考えを表現し、生徒同士の意見交流に発展させられるよう構成されている。(1年P68-69、2年P78-79、3年P90-91等)</p> <p>イ 「You Can Do It!」では、設定された目的・場面・状況に応じて英語を理解し、それをもとに自分の考えを話したり書いたりする4技能統合の言語活動が設定されている。(1年P128-129、2年P86-87、3年P44-45等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 生徒が1年間の学習を見通すことができる「CAN-DO List」とチェックリストが掲載されている。各単元の扉のページに単元目標、単元最後のページには目標の達成度の振り返りができる「Goal」が示されている。(各学年巻末①③、1年P73、1年P81等)</p> <p>イ 生徒が主体的に考えや気持ちを表現したり、伝え合ったりする場面が設定されている。(1年P58-59、2年P86-87、3年P44-45等)</p> <p>ウ 自律的な学習者を育成するため、技能ごとの学び方等を示した「英語の学び方ガイド」が掲載されている。(1年P145-153、2年P137-145、3年P129-137)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 単元全体を通じて目的、場面、状況が設定されたストーリーとなっており、登場人物の会話や物語の理解を通して、新出言語材料を扱っている。また、短時間で行うことができる帯教材「Let's Talk!」が併せて示され、単元末の言語活動につながるよう構成されている。(1年P48-54、2年P8-17、2年とじ込み帯教材②-③等)</p> <p>イ 主に国語で学習する思考法や思考ツール、美術の鑑賞と関連した題材が扱われている。(2年P88-89、3年巻末④⑤)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 英語の書体は発達段階に配慮し、1~3年に進むにつれて手書き体、ブロック体、セリフ体へと移行している。日本語表記はUDフォントが使用されている。</p> <p>イ 性の在り方、国籍や民族等のルーツ、病気や障がいの有無等個人の価値を尊重し、人権を大切にすることを育てられるような題材が取り上げられている。(1年P72-81、2年P49-57、3年56-59等)</p> <p>ウ 「World Tour」で、世界中の様々な国や地域の中学生が学校生活を紹介する題材が取り扱われている。(1年P45、2年P48、3年P84等)</p>
	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア モデル動画や画面を通じて対話練習ができる動画や、世界の文化や生活習慣、社会的課題を紹介する動画を視聴できるよう二次元コードが掲載されている。(1年P45、2年P90、3年P46等)</p> <p>イ コミュニケーションツールとしてICT機器を使用している場面が示されている。(1年P74、2年P38-39、3年P44等)</p>
その他	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 2・3年では道徳的な内容、平和、人権、防災・安全等の題材が扱われている。(2年P59-67、3年P29-37、3年P82-83等)</p> <p>イ 3年では将来の職業生活について意識できるようキャリア教育につながる題材が設定されている。(3年P61-69)</p>

教科名 外国語	種目名 英語	発行者番号 61	略称 啓林館	書名 BLUE SKY
---------	--------	----------	--------	-------------

項目		特徴
内容の扱い・学習方法(活動)	①「知識及び技能」を習得するための工夫	<p>ア 各単元が、本文、聞く、読む、話す・書く、という構成になっており、言語習得の自然な流れで段階的に知識及び技能を身に付けられる構成となっている。(1年P55-61、2年P76-81、3年P52-57等)</p> <p>イ 「Focus on Form」では、英文の構造や品詞、文法などが系統的にまとめられている。(1年P30-31、2年P86-87、3年P43等)</p>
	②「思考力、判断力、表現力等」を育成するための工夫	<p>ア 「Read/Listen &amp; Think」「Think &amp; Speak」では、各単元で扱った話題に関して生徒が自分の考えを表現したり生徒同士で考えを伝え合ったりしながら、学び合えるよう工夫されている。(1年P18、2年P102-104、3年P38-40等)</p> <p>イ 「Let's Talk」には、日常的な場面が設定され、「Tool Box」に実用的な表現を示すことで表現力を養うことができるよう工夫されている。(1年P51、2年P60-61、3年P41等)</p>
	③「学びに向かう力、人間性等」の涵養に向けた工夫	<p>ア 各単元の最初の「とびら」のページに、理解の領域と表現の領域の目標がそれぞれ「Input」「Output」として示され、単元末に目標の到達度を確認する「Check」が設けられている。巻末に1年間の学習の見通しを持ち、振り返るための「CAN-DO List」が掲載されている。(1年P11、1年P18、各学年巻末等)</p> <p>イ 生徒が主体的に考えや気持ちを表現したり伝え合ったりする場面が設定されている。(1年P52-53、2年P44-45、3年P44-45等)</p> <p>ウ 自律的な学習者を育成するため、辞書の活用の仕方や技能ごとの英語の学習方法を示した「英語の学び方」が設けられている。(1年P29、2年P4、3年P30等)</p>
内容の構成・配列への配慮と工夫等	④単元の内容・構成、系統性の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各単元が part ごとに本文の内容理解と新出言語材料を並行して扱い、短時間でできる言語活動を繰り返しながら、単元末の言語活動につながる構成となっている。(1年P44-50、2年P20-28、3年P32-40等)</p> <p>イ 段階的に扱う英文分量を増やすことで、「聞くこと、読むこと」の力がつくよう工夫されている。(1年P14、2年P114、3年P82等)</p> <p>ウ 社会、音楽、理科など教科等横断的な学習ができるよう工夫されている。(1年P55-61、2年P75-78、3年P70-71等)</p>
	⑤配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 1年の英語部分にはUDフォント、2年からはセリフ体に少しずつ慣れていけるようCentury Schoolbook 書体がそれぞれ使用されるとともに、判別しにくい配色を避け、シンプルなイラストを扱う等配慮されている。</p> <p>イ 登場する人物の人種、性別、身体的特徴など極端な偏りがないよう配慮されており、多様性を認める題材が取り上げられている。(1年P33-39、2年P40、3年P54等)</p>
その他	⑥デジタル化、情報化等への対応や配慮	<p>ア モデル会話のアニメーション映像「Let's Talk」やUnitの「Read/Listen &amp; Think」「Read」の内容をイラストや画像のスライドショーで視聴できるよう二次元コードが掲載されている。(1年P63、2年P102、3年P24等)</p> <p>イ コミュニケーションツールとしてICT機器を使用している場面が示されている。(1年P56、2年P6、3年P27等)</p>
	⑦今日的な課題への対応や配慮等	<p>ア 平和、環境、人権、共生、異文化理解等、幅広い話題が扱われている。(1年P113-118、2年P40-41、3年P24-26等)</p> <p>イ 2・3年ではキャリア教育につなげられるよう、職業と関連した活動や自分の将来の夢を語る活動が設定されている。(2年P63-72、3年P77-87)</p>

# 道德

特別の教科 道徳	道徳	発行者番号 2	略称 東書	書名 新編 新しい道徳
----------	----	---------	-------	-------------

項 目		特 徴
学習方法	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 各学年のはじめに「道徳科とは」「道徳科の授業はこんな時間に」「学習の流れ」が設けられ、具体的な学び方が絵や吹き出しで表現されている。(各学年P4-5、各学年P12)</p> <p>イ 教材の冒頭にねらいとなる内容項目に関わるテーマが示されている。(1年P8、2年P8、3年P8等)</p> <p>ウ 教材で学習した内容を広げられるよう、「Plus」が掲載されている。(1年P13、2年P13、3年P40等)</p>
内容の構成・配列	②学習内容の構成・配列の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各学年、いじめ問題と生命の尊さについて、複数の教材を組み合わせたユニット構成になっており、いじめや生命に対して多面的・多角的に向き合えるよう工夫されている。(全学年目次)</p> <p>イ 全学年、いじめ問題が「いじめのない世界へ」として4、5月に、生命の尊さが「いのちを考える」として夏休み明けの9月に配置されている。(1年P21-33、1年P63-76、2年P23-33等)</p> <p>ウ 各学年末に他教科等の関連が表に示されている。(1年P190、2年P198、3年P198)</p>
道徳科の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 生徒が教材や道徳的価値と向き合う手助けとなるよう、「つぶやき」を直接書き込める欄が配置されている。(1年P10、2年P10、3年P10等)</p> <p>イ 教材名とともに学習テーマが明示され、これから話し合う道徳的諸価値に意識が向けられるよう工夫されている。(1年P8、2年P8、3年P8等)</p> <p>ウ 「Plus」として対話や体験的な学習を通して道徳的諸価値に迫ることができるようなコラムが設けられている。(1年P106、2年P40-41、3年P142-143)</p>
	④物事を(広い視野から)多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 教材の最後に「考えよう」「見つめよう」の設問が示されている。(1年P11、2年P11、3年P11等)</p> <p>イ 教材末に発問を設け、教科書に記述できるよう工夫されている。(1年P27、2年P52、3年P35等)</p> <p>ウ 新聞の投書欄を教材化し、様々な人の意見をもとに考えられるよう構成されている。(1年P107-109、3年P107-109)</p>
	⑤自己の(人間としての)生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 人物の生き方や考え方から学ぶ教材が掲載されている。(1年P8-11、2年P8-11、3年P8-11等)</p> <p>イ 教材末に自己の生き方について考えを深められるよう「ぐっと深める」が設けられている。(1年P11、2年P11、3年P11等)</p> <p>ウ 学期末に自分の学びを振り返ることができるよう「自分の学びをふり返ろう」が設けられている。(1年P193-197、2年P201-205、3年P201-205等)</p>
その他	⑥配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 「感動、畏敬の念」を扱う教材は写真を大きく掲載し、人智を超えたものを感じることができるよう配慮されている。(1年P146-147、2年P166-167、3年P167等)</p> <p>イ 様々な視点からの多様性に関する教材が配置されている。(1年P80-83、2年P108-112、3年P186-190等)</p> <p>ウ 巻末の「心情円」を活用することで、話し合いが苦手な生徒も参加しやすくなるよう配慮されている。(1年P40、2年P58、3年P24等)</p>
	⑦デジタル化、今日的な課題への対応や配慮など	<p>ア 二次元コードから朗読を聴いたり教材と同じ内容の映像を視聴したりできる。(1年P120、2年P144、3年P46等)</p> <p>イ 誰もが平等に参加できる社会の実現について考えることができるよう、パラリンピックや分身ロボット、児童労働問題などが教材や「Plus」で取り上げられている。(1年P80-84、2年P13、3年P102-106等)</p>

特別の教科 道徳	道徳	発行者番号 17	略称 教出	書名 中学道徳 とびだそう未来へ
----------	----	----------	-------	------------------

項 目		特 徴
学習方法	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 各学年のはじめに「さあ、道徳を始めよう！」を設け、道徳科ではどのように学ぶかや話し合いのポイントが示されている。(各学年P4-6)</p> <p>イ 各教材の冒頭にねらいとする道徳的諸価値や学習テーマを意識付ける問いが示されている。(1年P8、2年P8、3年P8等)</p> <p>ウ 生徒が主体的に考え判断することができるよう、登場人物が判断を迫られる場面が中心となっている教材が掲載されている。(1年P28-31、2年P28-33、3年P136-139等)</p>
内容の構成・配列	②学習内容の構成・配列の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各学年で「いじめをなくそう」「つながり合って生きる」「いのちをかがやかせる」をテーマに、複数の教材と「ひろば」を組み合わせたユニット構成となっている。(全学年目次)</p> <p>イ 三年間を通して、同一の内容項目について考えを深めるシリーズ教材が2種類設けられている。(1年P82-87と2年P154-159と3年P154-159、1年P134-137と2年P120-123と3年P86-91)</p> <p>ウ より身近な問題として考えられるよう、生徒作文が教材として掲載されている。(1年P88-90、2年P22-25、2年P150-153)</p>
道徳科の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 各教材名とともに理解を深める手助けとなる問いが明示されている。(1年P8、2年P8、3年P8等)</p> <p>イ 教材末に「学びの道しるべ」を設け、3つの問いを通して段階的に道徳的諸価値の理解を深め、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てることができるよう工夫されている。(1年P11、2年P11、3年P13等)</p>
	④物事を(広い視野から)多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 「やってみよう」のページでは、自分の考えやグループでの交流などを設定し、さらに掘り下げて考え記述できるよう工夫されている。(1年P63、2年P17、3年P107等)</p> <p>イ 各学年のはじめに、多様な考えを交流し話し合って考えを深めていく学習過程を示し、多面的・多角的に考えていくことができるよう工夫されている。(各学年P5)</p>
	⑤自己の(人間としての)生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 人物の生き方や考え方から学ぶ教材が掲載されている。(1年P16-21、2年P38-45、3年P14-17等)</p> <p>イ 「一年間の道徳科の学びをもとに考えよう」において、「よりよく生きる」ということについて考えたり学びを振り返ったりすることができるよう工夫されている。(1年P196-197、2年P188-189、3年P188-189)</p> <p>ウ 働くことの価値や尊さについて考えたり、道を切り拓いてきた人の生き方や考え方から学んだりすることを通して、社会人として自立していく力を育むことができる教材が掲載されている。(1年P16-18、2年P76-81、3年P46-49等)</p>
その他	⑥配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 本文には5行ごとに行番号を付け、教材の内容が把握しやすくなるよう配慮されている。(1年P12、2年P12、3年P8等)</p> <p>イ 複数の登場人物による会話文では、イラストを付し、話し手が判別しやすくなるよう工夫されている。(1年P22-23、1年P28-31、1年P118-123等)</p> <p>ウ 教材の登場人物やイラスト、写真について性別等による偏りがないう工夫されている。(1年P68、2年P158、3年P119等)</p>
	⑦デジタル化、今日的な課題への対応や配慮など	<p>ア 教材の冒頭や末尾に設けた二次元コードを通じて、教材の理解を助けるために、解説や補足資料を見ることができる。(1年P12、2年P8、3年P8等)</p> <p>イ 「情報モラル」や「持続可能な社会」について、教材に加え「ひろば」でも取り扱うことで、学びを深めることができるよう配慮されている。(1年P68-69、2年P92-93、3年P75等)</p>

特別の教科 道徳	道徳	発行者番号 38	略称 光村	書名 中学道徳 きみがいちばんひかるとき
----------	----	----------	-------	----------------------

項 目		特 徴
学習方法	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 各学年の巻頭のオリエンテーション教材「道徳の学習を始めよう」において、道徳科の学習で何をどう学んでいくかが示されている。(各学年P6-11)</p> <p>イ 各学年の第2教材では、「問う」という観点で整理した道徳の学び方が示されており、道徳の学びに向かう姿勢を意識することができるよう配慮されている。(1年P15、2年P15、3年P15)</p> <p>ウ 各教材の冒頭にねらいとなる内容項目がマークで示されている。(各学年P2、1年P12、2年P12等)</p>
内容の構成・配列	②学習内容の構成・配列の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア いくつかの教材が関わりながら、「いじめ」「情報モラル」などのテーマについて考えられるようユニット形式で構成されている。(各学年目次)</p> <p>イ 各教材の終わりに付されているマークで、他教科の学習との関わりが示されている。(1年P27、2年P19、3年P39等)</p> <p>ウ 入学後間もない生徒が小学校生活との違いについて考えることのできる教材が設けられている。(1年P16-18)</p>
道徳科の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 教材末の「考えよう」では、その教材で考えたいテーマが明示され、道徳的諸価値に迫ることができるよう工夫されている。(1年P22、2年P19、3年P23等)</p> <p>イ 「つなげよう」では、学習した内容に関わる書籍や他の教材が紹介され、学びを深めることができるよう工夫されている。(1年P59、2年P61、3年P39等)</p>
	④物事を(広い視野から)多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 「見方を変えて」では、「考えよう」での発問とは切り口を変えた問いが示されている。(1年P18、2年P19、3年P23等)</p> <p>イ 「やってみよう」「チャレンジ」では、話し合いや役割演技など様々な学習活動が設定されている。(1年P32-33、2年P24、3年P24-25等)</p> <p>ウ 「コラム」「まなびをプラス」「なんだろうなんだろう」を通して多様な知識や考えに触れ、本質について考えることができるよう工夫されている。(1年P80-81、2年P43-45、3年P84-85等)</p>
	⑤自己の(人間としての)生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 実在する人物の生き方や考え方から学ぶ教材が掲載されている。(1年P60-65、2年P16-19、3年P16-20等)</p> <p>イ 「まなびの道具箱」では、問いに対する考えを整理したり、話し合いを活性化したりするのに役立つ思考ツールが紹介されている。(1年P180-181、2年P188-189、3年P188-189等)</p> <p>ウ 「まなびの記録」において日々の学びを記録し、これまでの学習を振り返ることができるよう工夫されている。(各学年巻末)</p>
その他	⑥配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 各学年のコラム「人権 持続可能な社会のために」において、人権について、身のまわりの人権課題について、人権が守られる社会と、系統立てて掲載されている。(1年P134-135、2年P132-133、3年P138-139)</p> <p>イ 教材内容の理解を助け、イメージを豊かに広げる絵や写真が配置され、中心的な発問の場面に必ず挿絵が配置されている。(1年P14、2年P14、3年P14等)</p>
	⑦デジタル化、今日的な課題への対応や配慮など	<p>ア 教材冒頭の二次元コードで、教材の理解を助ける動画や資料を視聴することができる。(1年P23、2年P16、3年P16等)</p> <p>イ 各学年で情報モラルについて考える教材が配置されている。(1年P85-90、2年P85-92、3年P87-93等)</p> <p>ウ SDGs の関連教材がどの学年にも配置されており、つながりを意識した学習ができるよう工夫されている。(1年P76-79、2年P70-73、3年P60-63等)</p>

特別の教科 道徳	道徳	発行者番号 116	略称 日文	書名 中学道徳 あすを生きる
----------	----	-----------	-------	----------------

項 目		特 徴
学習方法	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 各学年の巻頭に、道徳科で学ぶ内容や、学び方について説明する「道徳科での学びを始めよう！」が設けられている。(各学年P4-7)</p> <p>イ 各教材の冒頭にあるテーマの色とマークで、内容項目の4つの視点が判別できるよう示されている。(1年P5、1年P8、1年P12等)</p>
内容の構成・配列	②学習内容の構成・配列の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各学年にユニット教材として「いじめと向き合う」「よりよい社会を考える」が配置され、集中的に考えられるよう工夫されている。(1年P28-41、1年P72-81、1年P104-115等)</p> <p>イ 本冊と別冊「道徳ノート」で構成され、道徳ノートは発問欄を空欄とすることで、より自由に活用できるよう工夫されている。</p> <p>ウ 各学年の巻末に他教科との関連が表に示されている。(各学年巻末)</p>
道徳科の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 思考ツール、話し合い活動を用いて他者理解を深めることができるよう工夫されている。(1年P89、2年P37、3年P41等)</p> <p>イ 発展的に道徳的諸価値を深めることができるよう「視野を広げて」が配置されている。(1年P34-35、2年P22-23、3年P32-33等)</p>
	④物事を(広い視野から)多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 各教材の最後の「考えてみよう」で、ねらいに迫るための中心発問例が示されている。(1年P11、2年P11、3年P11等)</p> <p>イ 「学びを深めよう」では、役割演技や話し合い等を通してより深く考えることができるよう工夫されている。(1年P26-27、2年P37、3年P40-41等)</p> <p>ウ 他教科や他活動などをつなぎ、視野を広げるためのコラムが掲載されている。(1年P40-41、2年P22-23、3年P66-67等)</p>
	⑤自己の(人間としての)生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 実在する人物の生き方や考え方から学ぶ教材が掲載されている。(1年P8-11、2年P8-11、3年P8-11等)</p> <p>イ 別冊「道徳ノート」には「自分に+1」欄が設けられ、自分の考えを継続的に書くことができるよう工夫されている。</p> <p>ウ 教材の著者から生徒に向けて送られた「あすへのメッセージ」が掲載され、自分の生き方を見つめ直すことができるよう工夫されている。(1年P11、2年P11、3年P11等)</p>
その他	⑥配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 本文ではUDフォントが、振り仮名には小さくても読み取りやすいゴシック体が使用されている。</p> <p>イ 登場人物は、男女偏りなく、性別による服装や職業などの固定化がないようイラストが配置されている。(1年P99、2年P42-43、3年P21等)</p> <p>ウ 国内外の文化的多様性に触れる教材が取り上げられている。(1年P94-97、1年P106-109、2年P40-43等)</p>
	⑦デジタル化、今日的な課題への対応や配慮など	<p>ア 二次元コードからフリーワークシート、心情メーター、シンキングツール、動画などのデジタル教材にアクセスすることができる。(1年P41、2年P39、3年P33等)</p> <p>イ 多様性を尊重し合う社会のために「向上心、個性の伸長」「相互理解、寛容」の項目が重点的に取り上げられている。(1年P42-47、2年P64-69、3年P60-65等)</p> <p>ウ 「自立と共生」「環境と未来」という2つのテーマに関わる教材、コラムがユニット化され、よりよい社会の実現に向けて集中的かつ多面的、多角的に考えられるよう工夫されている。(1年P104-115、2年P12-23、3年P118-131等)</p>

特別の教科 道徳	道徳	発行者番号 224	略称 学研	書名 新版 中学生の道徳 明日への扉
----------	----	-----------	-------	--------------------

項 目		特 徴
学習方法	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 各学年の巻頭の「道徳科で学ぶこと考えること」「考えを深めるためのステップ」において、考える方法やSNSの活用方法等が紹介されている。(各学年P8-9)</p> <p>イ 教材名とともにマークとテーマに関わる短い言葉が明示され、これから話し合う道徳的諸価値に意識が向けられるよう工夫されている。(1年P10、2年P10、3年P10等)</p>
内容の構成・配列	②学習内容の構成・配列の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各学年「SDGs」「多様性」「キャリア」の3つのテーマについて、複数の教材で連続して学ぶことで、考えを深められるユニット構成となっている。(各学年目次)</p> <p>イ 様々な分野の道徳性につながる教材が掲載され、関連性を考慮しながら学習に取り組めるよう配慮されている。(1年P56-61、2年P156-161、3年P26-29等)</p>
道徳科の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 「考えよう」として、ヒントとなる視点が2つ示されている。(1年P12、2年P70、3年P60等)</p> <p>イ 教材の最後に「深めよう」が配置され、道徳的諸価値を発展的に深められるよう工夫されている。(1年P13、2年P13、3年P13等)</p>
	④物事を(広い視野から)多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 教材の後に「深めよう」のページがあり、役割演技等でさらに考えを広げる発問や振り返りを記述する欄が設けられている。(1年P13、2年P71、3年P61等)</p> <p>イ 「クローズアップ」のページでは、学習内容の関連情報やさらに考えを深める内容が掲載されている。(1年P17、2年P19、3年P29等)</p>
	⑤自己の(人間としての)生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 人物の生き方や考え方から学ぶ教材が掲載されている。(1年P56-59、2年P32-37、3年P10-13等)</p> <p>イ 各学年の「深めよう」の中に4つのステップで「生き方につなげよう」の欄が設けられている。(1年P13、2年P13、3年P13等)</p> <p>ウ 巻末には、学期ごとに記述する「学びの記録」「学びのメモ」が配置され、切り取りシートで手元に置いておけるよう工夫されている。(各学年巻末)</p>
その他	⑥配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 現代社会の多様性に即して、人権に配慮した構成となっている。(1年P22-25、2年P24-27、3年P18-21等)</p> <p>イ 各学年、多様な人や価値観に触れ、共に生きていくことの大切さについて考え「自分が自分であること」を再認識していくユニットが配置されている。(1年P108-123、2年P72-87、3年P80-95等)</p>
	⑦デジタル化、今日的な課題への対応や配慮など	<p>ア ワークシートや写真、動画など関連するデジタル教材にアクセスすることができる二次元コードが教材のタイトル下に記載されている。(1年P26、2年P28、3年P134等)</p> <p>イ 現代的な課題とともに、自分自身を見つめることができるページが巻頭に配置されている。(各学年P2-3)</p> <p>ウ 時代に合った、生徒の関心が深い人物が取り上げられている。(1年P56-61、2年P10-13、3年P10-12等)</p>

特別の教科 道徳	道徳	発行者番号 232	略称 あか図	書名 中学生の道徳
----------	----	-----------	--------	-----------

項 目		特 徴
学習方法	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 各学年1つ目の教材を「道徳 はじまりの時間」として、道徳について考える教材が配置されている。(1年P6-11、2年P6-11、3年P6-9等)</p> <p>イ 各教材の冒頭に内容項目の4つの視点をマークで判別できるように示すに留め、テーマなどを明示しないことで自らの道徳的諸価値への理解をもとに考えたり話し合ったりできるよう配慮されている。(各学年目次)</p> <p>ウ 教材の終末に考えの道すじが吹き出しによって明示されている。(1年P13、2年P15、3年P18等)</p>
内容の構成・配列	②学習内容の構成・配列の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 1年では「いじめを考える」「情報モラル」「キャリア」、2・3年では「いじめを考える」「情報モラル」「共に生きる社会」「キャリア」の4つのテーマが重点的に考えたい課題としてユニット化されている。(各学年目次)</p> <p>イ 各学年巻末に他教科との関連等が表で示されている。(各学年P184)</p>
道徳科の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 「マイプラス」として話し合い活動やロールプレイング等多様な学習活動が配置されており、道徳的諸価値を深めることができるよう工夫されている。(1年P92-93、2年P46-47、3年P12-13等)</p> <p>イ 各教材末に「自分との対話」という発問や「Thinking」という発展的教材があり、発展的に道徳的諸価値を深められるよう工夫されている。(1年P11、2年P58、3年P19等)</p>
	④物事を(広い視野から)多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 道徳的諸価値に照らしてさらなる思考や対話を促す「考えを深める」という発問が設定されている。(1年P66、2年P57、3年P30等)</p> <p>イ 物事を広い視野から多面的・多角的に考えることに重点を置いた発問「いろいろな見方で考える」が示されている。(1年P27、2年P15、3年P30等)</p>
	⑤自己の(人間としての)生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 人物の生き方や考え方から学び、考えを深められる教材が掲載されている。(1年P18-22、2年P12-15、3年P10-13等)</p> <p>イ 教科書に学習の記録を記述するページが設けられている。(各学年巻末)</p> <p>ウ 「自分との対話」の発問について考えることで、自らの生き方を問い直すことができるよう工夫されている。(1年P62、2年P15、3年P22等)</p>
その他	⑥配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア UD フォントを使用し、読みやすさに配慮した書体や文字の大きさとなるよう工夫されている。</p> <p>イ 多様な性の在り方について考えることができるよう「LGBTQ+」「SOGI」が取り上げられている。(2年P142)</p> <p>ウ 各学年の目次に登場する人物のイラストは、性別を意識させないよう配慮されている。(各学年目次)</p>
	⑦デジタル化、今日的な課題への対応や配慮など	<p>ア 教材のタイトルの下に写真や動画、参考となる外部ページにつながる二次元コードが配置されている。(1年P156、2年P38、3年P114等)</p> <p>イ 「ふるさとに学びを伝えよう」として、国際交流や持続可能な社会づくり、世界文化遺産などが取り上げられ、3年では日南町の活動が掲載されている。(1年P182-183、2年P182-183、3年P182-183)</p> <p>ウ 実話をもとにした現代的な課題と向き合える教材が設定されている。(1年P100-103、2年P166-171、3年P114-119等)</p>

特別の教科 道徳	道徳	発行者番号 233	略称 日科	書名 道徳 中学校
----------	----	-----------	-------	-----------

項 目		特 徴
学習方法	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 各学年の巻頭に「クラスのみならず『道徳授業』を創り出そう」が配置され、道徳の授業の進め方が示されるとともに、生徒どうしの議論をサポートする「ウェルビーイングカード」の使い方が示されている。(各学年P4-6)</p> <p>イ 各教材冒頭の「ウェルビーイングカード」の色とデザインがあることで、内容項目の4つの視点が判別できるよう示されている。(1年P8、2年P8、3年P34等)</p>
内容の構成・配列	②学習内容の構成・配列の工夫、カリキュラム・マネジメントへの対応	<p>ア 各学年の教材は内容項目順に配置されている。(各学年目次)</p> <p>イ 三年間を通して学校生活を舞台にした友情、異性への関心を描くシリーズ教材が掲載されている。(1年P52-57、2年P51-56、3年P66-70)</p> <p>ウ 教材の冒頭に二次元コードが示され、学習に関する情報を見ることができるよう工夫されている。(1年P8、2年P16、3年P8等)</p>
道徳科の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 「ウェルビーイングカード」を利用し、道徳的諸価値について考えを深めることができるよう工夫されている。(各学年P6)</p> <p>イ 四コマ漫画を利用し、登場人物が人間の弱さやうまく理解し合えないことについて投げかけ、人間理解につなげられるよう工夫されている。(1年P7、2年P7、3年P7等)</p> <p>ウ 教材のテーマに係る格言等を利用し考えたことを直接書き込むスペースがあり、道徳的諸価値について考えを深められるよう工夫されている。(1年P36-40、2年P34-38、3年P44-48等)</p>
	④物事を(広い視野から)多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 各教材の最後には、「考えよう」「深めよう」の視点が示され、自分の考えを深めたり他の人の考えを聞いたりすることで、多面的・多角的に捉えられるよう配慮されている。(1年P11、2年P11、3年P11等)</p> <p>イ 「ウェルビーイングカード」が巻末付録にあり、授業のテーマに合わせて活用し、カードを手がかりに授業ができるよう工夫されている。(1年P8、2年P40、3年P8等)</p>
	⑤自己の(人間としての)生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 人物の生き方や考え方から学ぶ教材が掲載されている。(1年P28-31、2年P30-33、3年P34-39等)</p> <p>イ 国内各地の自然・文化・人の紹介、郷土の資料が記載されている。(1年P153、2年P157、3年P161等)</p>
その他	⑥配慮を要する児童生徒、外国人児童生徒等日本語指導が必要な児童生徒、多様性への対応や配慮	<p>ア 本文ではUDフォントが使用され、全ページにわたり配色とデザインが視認性のよいものとなるよう工夫されている。</p> <p>イ 漫画教材が各学年に配置されており、考えるための課題がわかりやすく提示されている。(1年P78-81、2年P107-110、3年P133-134)</p> <p>ウ 自分の考えを言葉にする際に活用できる「ウェルビーイングカード」が巻末付録に掲載され、裏面は英語表記になっている。(各学年巻末)</p>
	⑦デジタル化、今日的な課題への対応や配慮など	<p>ア より知識を深めるための写真や年表、プロフィール等の情報にアクセスできる二次元コードが教材タイトル下に配置されている。(1年P22、2年P80、3年P16等)</p> <p>イ ネットトラブルからどう身を守るかを喫緊の課題と捉え、情報リテラシーの重要性を問う教材が取り上げられている。(1年P32-35、2年P60-64、3年P84-87)</p> <p>ウ 自分の個性や適性を捉え、社会で生き抜く力を育てるため、発達段階を考慮した教材が取り扱われている。(1年P96-99、2年P96-99、3年P100-105)</p>

令和7年度に使用する特別支援学校及び  
特別支援学級における教科用図書を選定に必要な資料

令和6年度作成  
鳥取県教科用図書選定審議会

<留意点>

※本資料で扱う教科は、特別支援学校学習指導要領の知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科である。

【発行年・出版年】

発行年・出版年が古いものについては、当時の価値観で書かれており、取扱いには配慮が必要な場合がある。

【印刷・製本】

紙の厚み表記について下記を参照



発行者コード	発行所	書名	初版年・出版年	図書コード	内容の特徴	内容の程度	印刷・製本	教科	教科の内容の段階	学習形態
2	東書	せいかつ☆	2024年初版	C-121	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校学習指導要領の生活科の内容(ア 基本的な生活習慣、イ 安全、(中略)、シ ものの仕組みと働き)に沿った構成になっている。</li> <li>・必要な情報を最小限に焦点化したイラストを中心に、子どもにわかりやすく構成されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語とイラストを手がかりに指導者と一緒に考えながら、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴に関心を持つことができる。</li> <li>・次の段階へつなげられるよう、生命・自然、ものの仕組みと働きについて、実物の写真で提示してある。</li> <li>・単元構成に合わせ、学習の導入やまとめ等、効果的に使用することで、身の回りの生活(学校や家庭等)において必要な基本的な習慣や技能を身に付けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・25.7cm×18.3cm</li> <li>・103ページ</li> <li>・表紙はケント紙、本文は中厚口</li> <li>・文字20～30ポイント</li> <li>・見出しはHGS創英角ゴシック、本文はHGS教科書体</li> <li>・全ページカラー</li> <li>・ひらがな表記、カタカナにひらがなルビ</li> </ul>	生活	小学部1段階	個別学習 一斉学習
2	東書	せいかつ☆☆	2024年初版	C-122	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校学習指導要領の生活科の内容(ア 基本的な生活習慣、イ 安全、(中略)、シ ものの仕組みと働き)に沿った構成になっている。</li> <li>・必要な情報や場面等を焦点化したイラストと一部写真で子どもにわかりやすく構成されている。</li> <li>・二次元コード(QRコード)を読み込み、歌に合わせてスライドショーを見ながら手洗いの仕方を学習できる参考資料あり。(P11)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語・短文を添えたイラストや写真を手がかりに指導者や友達と一緒に考えながら、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴や変化に気付くことができる。</li> <li>・単元構成に合わせ、学習の導入やまとめ等、効果的に使用することで、身近な生活(近所等)において必要な基本的な習慣や技能を身に付けることができる。</li> <li>・使用の場合は、イラストに配慮が必要な箇所がある。(P13)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・25.7cm×18.3cm</li> <li>・103ページ</li> <li>・表紙はケント紙、本文は中厚口</li> <li>・文字12～30ポイント</li> <li>・見出しはHGS創英角ゴシック、本文はHGS教科書体</li> <li>・全ページカラー</li> <li>・ひらがな表記、カタカナにひらがなルビ</li> </ul>	生活	小学部2段階	一斉学習 個別学習
2	東書	せいかつ☆☆☆	2024年初版	C-123	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校学習指導要領の生活科の内容(ア 基本的な生活習慣、イ 安全、(中略)、シ ものの仕組みと働き)に沿った構成になっている。</li> <li>・内容や場面に合わせたシンプルな写真と一部イラストで子どもにわかりやすく構成されている。</li> <li>・二次元コード(QRコード)を読み込み、動画を見ながら雑巾の絞りを学習できる参考資料あり。(P10)</li> <li>・がんばりカード(P6等)やおてつだいカード(P67)を活用して、自分で目標をたてて取り組めるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真やイラストを手がかりに、問いかけ文を読み、自分で考えながら、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わりに気付くことができる。</li> <li>・単元構成に合わせ、学習の導入やまとめ等、効果的に使用することで、生活(地域等)において必要な基本的な習慣や技能を身に付けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・25.7cm×18.3cm</li> <li>・131ページ</li> <li>・表紙はケント紙、本文は中厚口</li> <li>・文字12～30ポイント</li> <li>・見出しはHGS創英角ゴシック、本文はHGS教科書体</li> <li>・全ページカラー</li> <li>・ひらがな、カタカナ、漢字(ルビつき)、アルファベット表記</li> </ul>	生活	小学部3段階	一斉学習 個別学習

発行者コード	発行所	書名	初版年・出版年	図書コード	内容の特徴	内容の程度	印刷・製本	教科	教科の内容の段階	学習形態
20-5	同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」3 (6～9のたし算、ひき算、位取り)	1991年初版	C03	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部2段階の「A 数と計算」の内容を繰り返し学習することができる。</li> <li>・10までの数の概念の定着を図るために、6以上の数を「5といくつ」で表し、数を合成する感覚を持てるようにしている。</li> <li>・大きな文字とイラストが使われており読みやすい。</li> <li>・数字や数式を見たとき、すぐに具体的なものに結びつけてイメージできるように、身近な果物や文房具などのイラストを使用している。</li> <li>・「指導の展開」に指導者が配慮すべき事項と授業展開例が簡潔に示されている。</li> <li>・「ことばをゆたかに」で、数に関係のある単語を挙げ、日常生活の中で使用できるように学ぶ機会が設定されている。(P72)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6から2桁までの数の数え方や表し方、構成について学ぶことができる。</li> <li>・1桁の数の足し算、引き算や時計の読み方について学ぶことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・25.7cm×18.2cm</li> <li>・72ページ</li> <li>・表紙はケント紙、本文は厚口</li> <li>・文字はHG正楷書体12～60ポイント</li> <li>・数字は丸ゴシック体12～100ポイント</li> <li>・一部カラー印刷</li> </ul>	算数	小学部2段階	個別学習
20-5	同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」4 (くり上がり、くり下がり、2けたの数の計算)	1991年初版	C04	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部3段階の「A 数と計算」の内容を繰り返し学習することができる。</li> <li>・計算の学習は、筆算のページが多い。</li> <li>・「指導の展開」に指導者が配慮すべき事項と授業展開例が簡潔に示されている。</li> <li>・「ことばをゆたかに」で三角定規やコンパス等、数に関係のある道具のイラストを挙げ、日常生活の中で使用できるように学ぶ機会が設定されている。(P80)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り上がりのある足し算、繰り下がりのある引き算を中心に2桁の数の足し算、引き算について学ぶことができる。</li> <li>・重さや長さなど、様々な単位について学ぶことができる。</li> <li>・問題と式が合っているか考えたり、説明したりする場面を設けることで、計算の意味や計算の仕方について、理解を深めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・25.7cm×18.2cm</li> <li>・80ページ</li> <li>・表紙はケント紙、本文は厚口</li> <li>・文字はHG正楷書体12～48ポイント</li> <li>・数字は丸ゴシック体10～80ポイント</li> <li>・一部カラー印刷</li> </ul>	算数	小学部3段階	個別学習
20-5	同成社	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」5 (3けたの数の計算、かけ算、わり算)	1991年初版	C05	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3桁の数とその計算はタイルを操作する手順がイラストで示されており、数の概念を理解させ、計算の仕方を見いだせるよう工夫されている。</li> <li>・「指導の展開」に指導者が配慮すべき事項と授業展開例が簡潔に示されている。</li> <li>・「ことばをゆたかに」で、数に関係のある単語を挙げ、日常生活の中で使用できるように学ぶ機会が設定されている。(P42、P80)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3桁の数とその計算、お金の計算、かけ算、わり算の入門、長さ・重さ・かさの単位の換算、いろいろな図形等を学ぶことができる。</li> <li>・買い物やおやつに分け方など身近な事柄が例題として取り上げられ、興味関心を持って学ぶことができる。</li> <li>・出版年が古いため、使用の場合は、イラストや表現に配慮が必要な箇所がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・25.7cm×18.2cm</li> <li>・80ページ</li> <li>・表紙はケント紙、本文は厚口</li> <li>・文字はHG正楷書体20～48ポイント</li> <li>・数字は丸ゴシック体数字8～48ポイント</li> <li>・一部カラー印刷</li> </ul>	数学	中学部1段階 中学部2段階	個別学習

発行者コード	発行所	書名	初版年・出版年	図書コード	内容の特徴	内容の程度	印刷・製本	教科	教科の内容の段階	学習形態
20-7	東洋館	改訂新版くらしに役立つ数学	2024年初版	003	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「基礎編」(数と計算、図形、測定、変化と関係・データの活用)と「生活編」(自分の身の周りのこと、毎日の生活、楽しむ(余暇)、生活を豊かに、将来の生活に向けて)で構成されている。</li> <li>・単元の「学習しよう」で見通しをもち、「ふり返ろう」で、学んだことを自分で振り返ることができるよう分かりやすくまとめられている。</li> <li>・二次元コード(QRコード)から気温、求人票などの動画や資料をダウンロードできる。(P4)</li> <li>・ICカードやスマートフォン等の利用をふまえた内容構成となっている。(P81～86等)</li> <li>・電卓を使って学習を進めるようになっている。(P18、P89～90等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学についての「見方・考え方」を働かせながら、日常生活で使う数量や図形などを学べ、生活に生かせる内容となっている。</li> <li>・「基礎編」で、数と計算(大きい数、小数、分数、正の数・負の数、3桁以上の計算、かけ算・わり算、およその数)、図形(図形の基本・多角形、円と球、立方体・立体、面積、図形の性質)、測定(長さ、重さ、単位の読み方、容積、時刻と時間)、変化と関係・データの活用(表とグラフ、比例、速さ、平均)を確認することができる。</li> <li>・「生活編」で、実際の生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・25.7cm×18.2cm</li> <li>・146ページ</li> <li>・表紙はケント紙、本文は厚口</li> <li>・本文はUDデジタル教科書体12～14ポイント</li> <li>・見出しはHG丸ゴシック体24ポイント</li> <li>・全ページカラー</li> <li>・一部の漢字にルビあり</li> </ul>	数学	高等部1段階	一斉学習